

平成25年度

美濃加茂市
一般会計・特別会計
決算実績報告書



美濃加茂市制60周年

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２３３条第５項の規定に基づき、平成２５年度における各部門の主要な施策の成果及び予算執行の実績の概要を次のとおり報告します。

美濃加茂市長職務代理者
美濃加茂市副市長 海老 和允

目 次

○一般会計及び特別会計の歳入歳出決算額	1
○一般会計	3
・歳入款別内訳	3
・歳出目的別内訳	4
・歳出性質別内訳	5
・歳入の決算状況	6
・歳出の決算状況	1 8
1 議会費	1 8
2 総務費	1 9
3 民生費	5 0
4 衛生費	6 5
5 農林業費	7 8
6 商工費	8 3
7 土木費	8 6
8 消防費	9 6
9 教育費	9 8
10 災害復旧費	1 2 2
11 公債費	1 2 3
12 予備費	1 2 3
○国民健康保険会計	1 2 5
○介護保険会計	1 3 2
○後期高齢者医療会計	1 3 7
○介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計	1 3 8
○古井財産区会計	1 4 1
○山之上財産区会計	1 4 3

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算額

会 計 名		当初予算額	補 正 予						
			1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号
一 般 会 計		17,820,000 (*) 558,704	501,792	8,302	18,061	10,000	685,255	1,210	87,222
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 会 計	5,373,885					4,255		△ 5,910
	介 護 保 険 会 計	保 険 事 業 勘 定	3,196,411				118,799		2,311
		介 護 サービス 事 業 勘 定	11,358						
	後 期 高 齢 者 医 療 会 計	464,882					293		
	介 護 認 定 ・ 障 が い 者 自 立 支 援 認 定 審 査 会 会 計	36,504							
	古 井 財 産 区 会 計	1,214						2,830	
	山 之 上 財 産 区 会 計	1,679							
	小 計	9,074,575					123,347	2,830	△ 3,599
合 計		26,894,575 (*) 558,704	501,792	8,302	18,061	10,000	808,602	4,040	83,623
議(専)決日		3月21日 議 決	4月1日 専 決	5月10日 専 決	6月28日 議 決	6月28日 議 決	9月26日 議 決	10月18日 議 決	12月20日 議 決

(*)当初予算額の下段は、平成24年度からの明許繰越額(外数)

主な補正内容

- 一 般 会 計
 - 1号 起業支援型地域雇用創造事業
 - 2号 市議会議員補欠選挙費
 - 3号 タボ市視察旅費等、母子生活支援施設入所措置費、子ども子育て会議委員報酬等、生活保護システム改修、一般道路改修事業、道路施設補修等
 - 4号 かわまちづくり整備事業
 - 5号 財政調整基金積立金、庁舎建設基金積立金、消費生活事業、自立支援介護給付費国庫負担金等過年度返還金、自立支援医療費国庫負担金過年度返還金、後期高齢者医療会計繰出金、緊急雇用創出事業(ごみ収集事業、平成公園未利用地森林整備事業、生徒指導支援員配置事業)、元気な農業産地構造改革支援事業費補助金、森林整備支援事業、みのかも健康の森維持管理費、中山道会館保存樹保護調査、中山道太田宿修景事業補助金、双葉中学校通学路整備、河川堤防除草、建築物耐震化促進事業、可茂消防事務組合特別負担金、資料調査整理事業、文化財保護管理事業、文化の森施設管理事業
 - 6号 地域の文化遺産活用事業
 - 7号 人件費補正、公金クレジット収納システム構築、国民健康保険会計繰出金、介護保険会計繰出金、自立支援費介護給付、自立支援訓練等給付、母子生活支援施設入所措置費、子ども子育て支援事業計画策定、保育士等処遇改善臨時特例事業補助金、子ども子育て支援新制度管理システム構築等、医療扶助費、環境基本計画推進事業、住宅用太陽光発電システム設置費補助金、小学校用備品購入等、小学校プールろ過機取替等、中学校用備品購入等、美術品収集基金買戻し等、ぎふ清流国体1周年記念事業、公共施設予約システム改修
 - 8号 繰越明許費補正(総合医療センター用地造成事業)
 - 9号 総合医療センター用地購入、長良川鉄道経営安定対策費補助金、介護保険会計繰出金、自立支援給付システム改修、入用意検診用備品購入、分別収集用ネット購入、環境フェア事業、昭和村イベント補助金、中学校合唱用楽器購入、小学校耐震補強及び大規模改造事業(古井小)、小学校空調整備事業(古井小、伊深小、三和小)、準要保護児童就学援助、展示用資料購入、人物顕彰事業、体育用備品購入、前平繰上償還元金
 - 11号 財政調整基金積立金、減債基金積立金、庁舎建設基金積立金、土地開発基金積立金、国際交流基金積立金、福祉基金積立金、ふるさと水基金積立金、高額療養費貸付基金繰出金、ふるさと文庫基金繰出金、美術品等収集基金繰出金、総合医療センター用地造成事業、総合医療センター関連事業、一般道路改修事業、消防施設整備事業
- 国 民 健 康 保 険 会 計
 - 1号 口座振替契約サービス導入
 - 2号 人件費補正
 - 3号 療養給付等負担金過年度返還金
 - 4号 財政調整基金積立金
- 介 護 保 険 会 計
 - 1号 介護給付費準備積立金、保険料還付金、国庫負担金等返還金、一般会計繰出金
 - 2号 人件費補正
 - 3号 介護保険システム改修
 - 4号 介護給付費準備基金積立金
- 後期高齢者医療会計
 - 1号 広域連合保健事業負担金
- 古井財産区会計
 - 1号 井戸新設

(単位:千円)

算				予算現額	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越額	実質収支
8号	9号	10号	11号					
0	△ 70,049	91,264	34,001	19,745,762	19,509,678	17,927,556	226,823	1,355,299
	34,165		1,126	5,407,521	5,319,480	5,144,345		175,135
	2,520		473	3,320,514	3,291,348	3,193,635	2,549	95,164
				11,358	11,079	11,079		0
				465,175	491,663	455,735		35,928
				36,504	34,881	32,013		2,868
				4,044	4,606	3,771		835
				1,679	1,705	1,267		438
	36,685		1,599	9,246,795	9,154,762	8,841,845	2,549	310,368
0	△ 33,364	91,264	34,001	28,992,557	28,664,440	26,769,401	229,372	1,665,667
1月16日 議 決	3月24日 議 決	3月25日 専 決	3月27日 専 決	* 千円未満を端数処理したことにより、一部計算の合わないところがあります。				

○ 翌年度繰越額の内訳

(単位:千円)

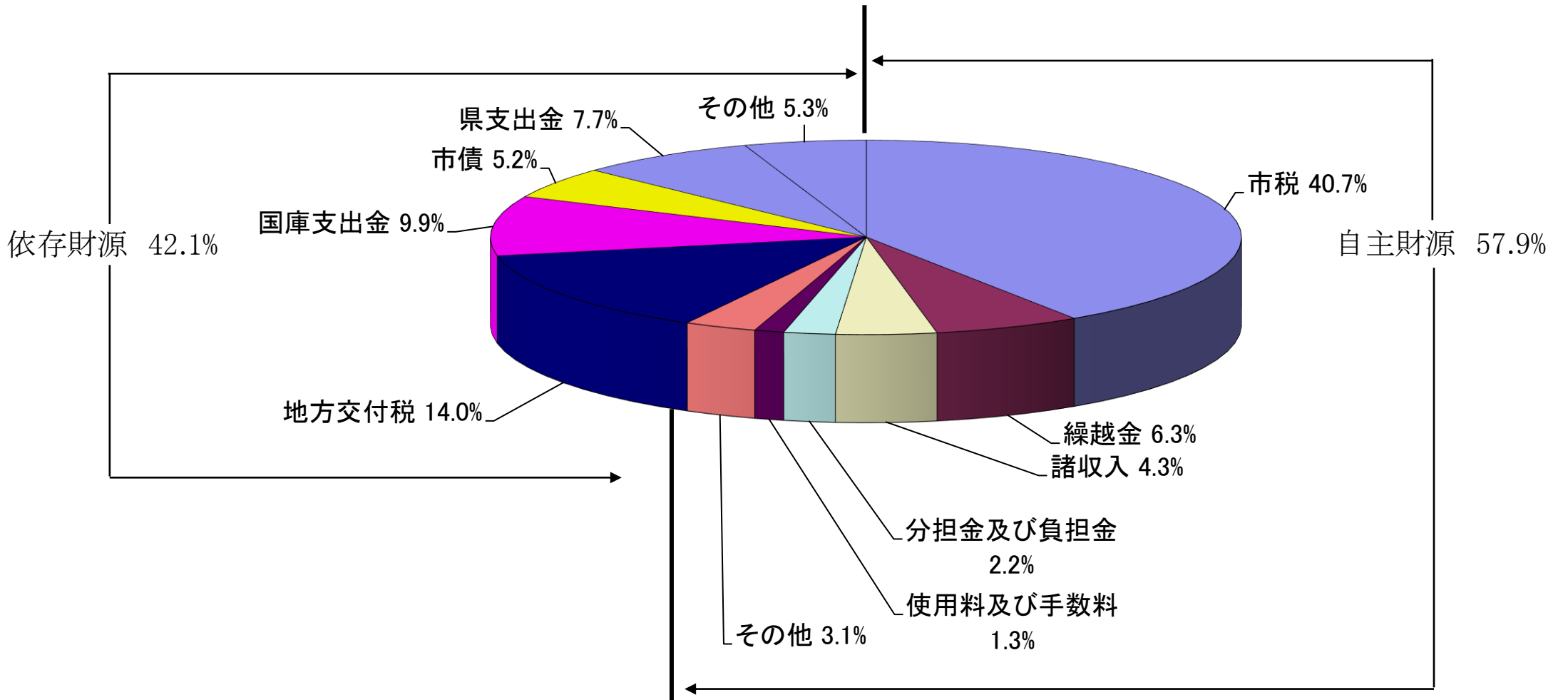
	歳 出		財 源 内 訳	
一般会計 (繰越明許費)	総 務 費	205,039	既収特財	205,782
	民 生 費	9,709	未収特財	445,728
	商 工 費	1,700	国県支出金	88,528
	土 木 費	42,606	起債	357,200
	教 育 費	413,497	一般財源	21,041
	計	672,551	計	672,551

一般会計

歳入款別内訳

(単位:千円、%)

区 分	平成25年度					平成24年度		
	予算現額	決算額	構成比	前年度比増減額	増減率	決算額	構成比	増減率
市税	7,265,000	7,939,509	40.7	212,698	2.8	7,726,811	41.5	△ 4.5
地方譲与税	226,000	227,746	1.2	9,373	4.3	218,373	1.2	△ 11.4
利子割交付金	20,000	19,715	0.1	1,022	5.5	18,693	0.1	△ 31.8
配当割交付金	12,400	26,835	0.1	12,853	91.9	13,982	0.1	6.1
株式等譲渡所得割交付金	2,900	43,007	0.2	39,711	1,204.8	3,296	0.0	12.9
地方消費税交付金	540,000	536,114	2.7	△ 4,608	△ 0.9	540,722	2.9	1.8
ゴルフ場利用税交付金	40,000	43,814	0.2	△ 750	△ 1.7	44,564	0.2	△ 4.1
自動車取得税交付金	59,000	71,950	0.4	△ 1,855	△ 2.5	73,805	0.4	33.5
地方特例交付金	46,000	47,274	0.3	401	0.9	46,873	0.2	△ 51.4
地方交付税	2,100,000	2,735,218	14.0	190,243	7.5	2,544,975	13.7	2.4
交通安全対策特別交付金	9,000	8,023	0.1	△ 458	△ 5.4	8,481	0.0	△ 1.1
分担金及び負担金	411,045	431,320	2.2	△ 5,140	△ 1.2	436,460	2.3	2.5
使用料及び手数料	241,959	247,609	1.3	5,585	2.3	242,024	1.3	△ 1.0
国庫支出金	2,102,660	1,939,062	9.9	259,791	15.5	1,679,271	9.0	△ 19.6
県支出金	1,681,341	1,495,146	7.7	460,131	44.5	1,035,015	5.6	6.8
財産収入	265,109	220,940	1.1	129,327	141.2	91,613	0.5	△ 7.0
寄附金	2,754	2,747	0.0	△ 244	△ 8.2	2,991	0.0	△ 67.3
繰入金	1,217,250	380,588	2.0	205,105	116.9	175,483	0.9	△ 73.9
繰越金	624,924	1,228,560	6.3	△ 462,323	△ 27.3	1,690,883	9.1	29.2
諸収入	895,620	841,901	4.3	△ 28,497	△ 3.3	870,398	4.7	△ 1.3
市債	1,982,800	1,022,600	5.2	△ 149,900	△ 12.8	1,172,500	6.3	△ 22.8
計	19,745,762	19,509,678	100.0	872,465	4.7	18,637,213	100.0	△ 6.0

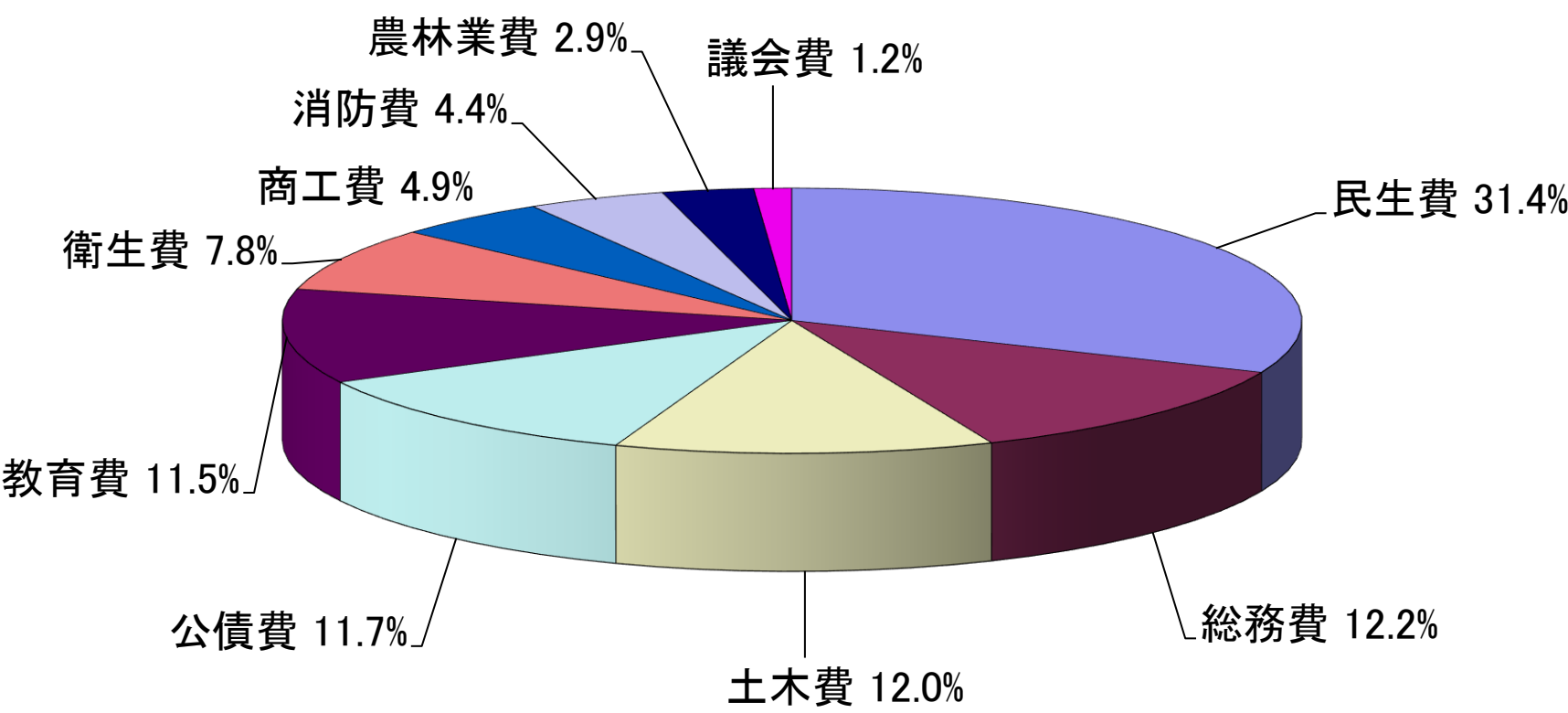


歳出目的別内訳

(単位:千円、%)

区 分	平成25年度					平成24年度		
	予算現額	決算額	構成比	前年度比増減額	増減率	決算額	構成比	増減率
議 会 費	224,839	210,723	1.2	13,814	7.0	196,909	1.1	△ 10.2
総 務 費	2,575,987	2,186,011	12.2	△ 12,411	△ 0.6	2,198,422	12.6	△ 15.8
民 生 費	5,826,976	5,630,120	31.4	150,081	2.7	5,480,039	31.5	0.7
衛 生 費	1,455,562	1,393,621	7.8	△ 4,305	△ 0.3	1,397,926	8.0	△ 2.5
農 林 業 費	568,076	520,972	2.9	32,241	6.6	488,731	2.8	19.8
商 工 費	1,183,198	888,058	4.9	214,700	31.9	673,358	3.9	3.7
土 木 費	2,251,358	2,144,685	12.0	△ 541	△ 0.0	2,145,226	12.3	△ 6.9
消 防 費	799,526	792,129	4.4	191,794	31.9	600,335	3.5	4.5
教 育 費	2,724,902	2,064,440	11.5	69,614	3.5	1,994,826	11.5	△ 14.3
災 害 復 旧 費	1,330	0	－	△ 1,973	△ 100.0	1,973	0.0	△ 82.2
公 債 費	2,125,777	2,096,797	11.7	△ 134,111	△ 6.0	2,230,908	12.8	3.8
予 備 費	8,231	0	－	0	－	0	－	－
計	19,745,762	17,927,556	100.0	518,903	3.0	17,408,653	100.0	△ 4.0

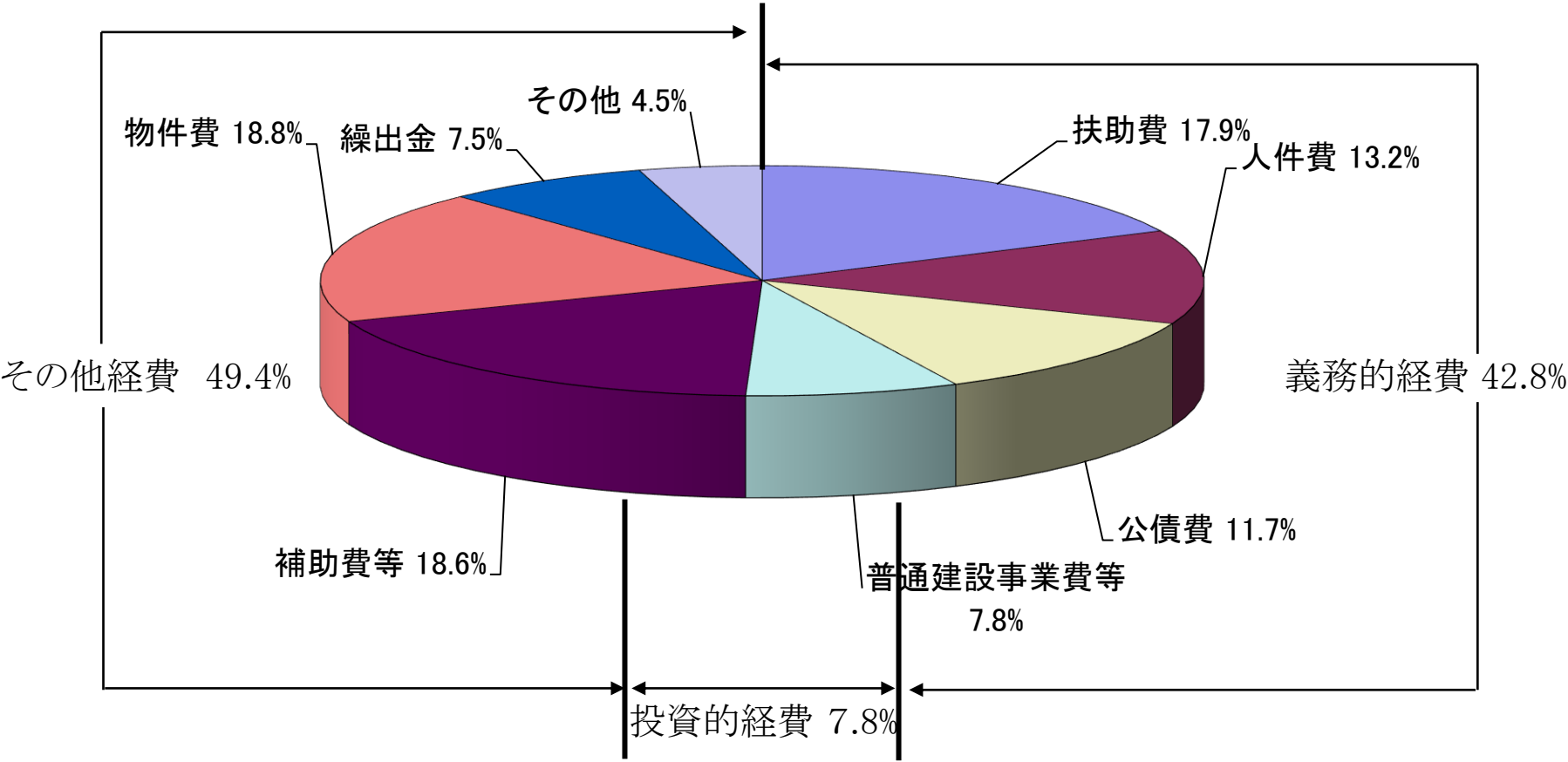
※平成25年度決算額のうち前年度からの繰越額は、総務費34,508千円、農林業費74,461千円、商工費29,936千円、土木費220,063千円、教育費199,736千円、計558,704千円である。



歳出性質別内訳

(単位:千円、%)

区 分	平成25年度				平成24年度		
	決算額	構成比	前年度比増減額	増減率	決算額	構成比	増減率
人件費	2,369,432	13.2	△ 81,870	△ 3.3	2,451,302	14.1	△ 3.1
物件費	3,374,640	18.8	865,671	34.5	2,508,969	14.4	△ 1.1
維持補修費	60,568	0.3	13,674	29.2	46,894	0.3	8.8
扶助費	3,205,194	17.9	△ 3,374	△ 0.1	3,208,568	18.4	2.5
補助費等	3,336,612	18.6	1,287,631	62.8	2,048,981	11.8	3.3
投資的経費	1,398,130	7.8	△ 269,251	△ 16.1	1,667,381	9.6	△ 21.2
普通建設事業費	1,398,130	7.8	△ 267,228	△ 16.0	1,665,358	9.6	△ 20.9
(うち支弁人件費)	30,667	0.2	△ 7,013	△ 18.6	37,680	0.2	△ 15.7
災害復旧費	0	－	△ 2,023	△ 100.0	2,023	0.0	－
公債費	2,096,797	11.7	△ 134,111	△ 6.0	2,230,908	12.8	3.8
積立金	459,899	2.6	54,986	13.6	404,913	2.3	△ 53.0
投資及び出資金・貸付金	293,148	1.6	△ 67,900	△ 18.8	361,048	2.1	13.9
繰出金	1,335,259	7.5	△ 1,144,430	△ 46.2	2,479,689	14.2	0.5
計	17,929,679	100.0	521,026	3.0	17,408,653	100.0	△ 4.0



歳入の決算状況

款 01. 市税 7,939,509 千円

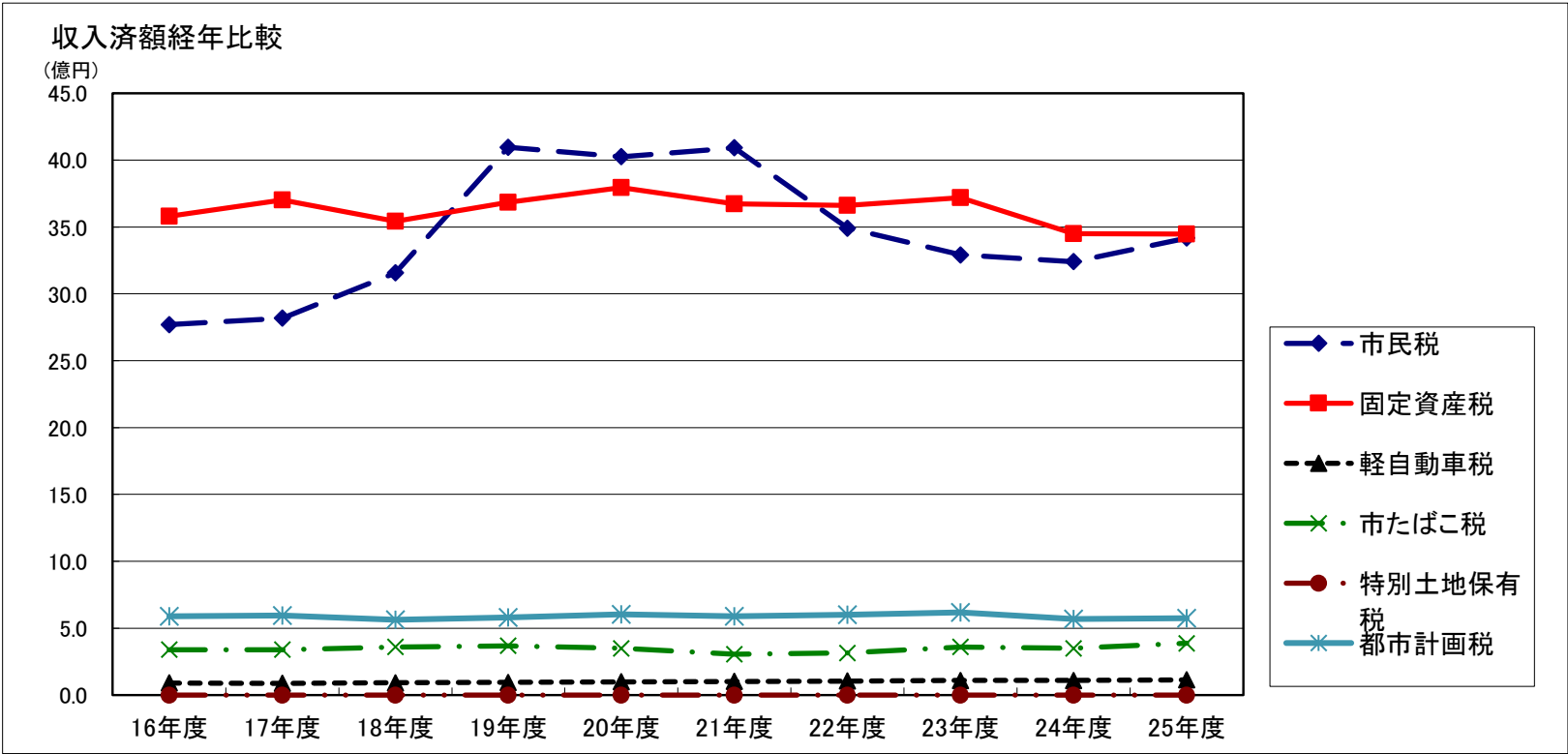
科目別収入状況

科 目	平成25年度					平成24年度		平成23年度	
	調定額	収入済額	対前年度伸率	収納率	収入済額の内訳	収入済額	対前年度伸率	収入済額	対前年度伸率
市 民 税	3,660,511	3,417,367	5.6	93.4	個 人 2,657,113 (うち滞納繰越分 68,187) 法 人 760,254 (うち滞納繰越分 1,206)	3,237,551	△ 1.6	3,291,040	△ 5.7
固 定 資 産 税	3,722,477	3,446,041	△ 0.2	92.6	固定資産税 3,442,719 (うち滞納繰越分 59,855) 国有資産等所在 市町村交付金 3,322	3,452,892	△ 7.1	3,717,988	1.6
軽 自 動 車 税	122,963	113,509	1.8	92.3	(うち滞納繰越分 1,834)	111,546	2.5	108,814	3.7
市 た ば こ 税	387,883	387,883	10.1	100.0		352,376	△ 2.0	359,671	14.1
特別土地保有税	0	0	0.0	0.0		0	0.0	0	0.0
都 市 計 画 税	620,243	574,709	0.4	92.7	(うち滞納繰越分 9,825)	572,446	△ 7.2	616,791	2.7
合 計	8,514,077	7,939,509	2.8	93.3		7,726,811	△ 4.5	8,094,304	△ 1.0

(参考) 都市計画税の主な使途

事 業 名	事 業 費	財 源 内 訳			
		国 ・ 県	市 債	その他	都市計画税等 一般財源
産業集積地区開発事業	18,331				18,331
公共下水道事業会計繰出金	932,606				932,606
都市計画事業充当市債償還費	106,872				106,872
合 計	1,057,809	0	0	0	1,057,809

都市計画税決算額 574,709



款 02.地方譲与税 ～ 款 11.交通安全対策特別交付金

(単位:千円)

款	項	予算現額	決算額	主	な	内	容
02.	地 方 譲 与 税	226,000	227,746				
	1. 地方揮発油譲与税	66,000	69,568				
	2. 自動車重量譲与税	160,000	158,178				
03.	利 子 割 交 付 金	20,000	19,715				
04.	配 当 割 交 付 金	12,400	26,835				
05.	株式等譲渡所得割交付金	2,900	43,007				
06.	地 方 消 費 税 交 付 金	540,000	536,114				
07.	ゴルフ場利用税交付金	40,000	43,814				
08.	自動車取得税交付金	59,000	71,950				
09.	地 方 特 例 交 付 金	46,000	47,274				
10.	地 方 交 付 税	2,100,000	2,735,218	普通交付税			2,193,179
				特別交付税			542,039
11.	交 通 安 全 特 別 交 付 金	9,000	8,023				

款 12.分担金及び負担金

431,320 千円

項 01.分担金

62 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主	な	内	容
災 害 復 旧 費 分 担 金	51	0				
農 林 業 費 分 担 金	0	62	かんがい排水事業			分担金

項 02.負担金

431,258 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主	な	内	容
総 務 費 負 担 金	29,944	31,483	定住自立圏構想推進他町負担金			5,154
			男女共同参画・人材交流(定住)負担金			95
			合同職員研修開催(定住)負担金			962
			公共交通連携(定住)負担金			4,350
			みのかもつながる力創造(定住)負担金			5,863
			外国人地域定住化促進(定住)負担金			637
			システム共同利用(定住)負担金			120
			あい愛バス(富加町)負担金			2,139
			広域消費生活相談(定住)負担金			1,180
			人件費他町負担金			10,983
民 生 費 負 担 金	333,811	353,542	老人保護措置費自己負担金			739
			スキルアップ支援事業(定住)負担金			1,244

			エリアサービスマップ(定住)負担金	234
			公立保育園運営費自己負担金	202,128
			公立保育園一時保育自己負担金	3,743
			私立保育園運営費自己負担金	140,791
			公立保育園措置費自己負担金(過年)	1,808
			私立保育園措置費自己負担金(過年)	1,969
			ファミ・サポ(定住)負担金	340
			幼児療養支援(定住)負担金	466
			母子生活支援施設自己負担金	80
衛 生 費 負 担 金	12	0		
土 木 費 負 担 金	11,183	11,520	舗装事業等負担金	7,940
			太田橋維持管理負担金	583
			双葉中学校通学路富加町負担金	2,997
教 育 費 負 担 金	36,044	34,713	教育講演会負担金	100
			生涯学習ホームページ構築事業(定住)負担金	149
			図書システム広域利用(定住)負担金	2,472
			地域まるごと博物館(定住)負担金	474
			加茂の古代風景展(定住)負担金	556
			生涯学習情報共同事業(定住)負担金	705
			加茂の祈り展(定住)負担金	240
			給食センター運営費負担金(富加町)	15,726
			給食センター運営費負担金(特別支援学校)	14,291

款 13.使用料及び手数料

247,609 千円

項 01.使用料

144,597 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 内 容
総 務 使 用 料	1,900	1,526	市有地使用料
民 生 使 用 料	1	0	
衛 生 使 用 料	1,440	980	墓地永代使用料
農 林 使 用 料	71	72	さくらの森鉄塔敷地占用料
商 工 使 用 料	14,090	13,059	シティプラザ使用料
			駐車場占用料
土 木 使 用 料	93,121	94,829	道路占用使用料
			道路占用使用料(過年)
			河川占用使用料
			河川占用使用料(過年)

			駅前広場駐車場等使用料	838
			都市公園占用使用料	289
			市営住宅使用料	61,283
			市営住宅駐車場使用料	6,085
			市営住宅使用料(過年)	1,834
			市営住宅駐車場使用料(過年)	16
教 育 使 用 料	32,977	34,131	学校施設使用料	42
			生涯学習センター使用料	5,043
			文化会館使用料	6,079
			交流センター使用料	5,619
			東図書館多目的ホール使用料	416
			文化の森施設使用料	1,829
			市民プール使用料	414
			総合グラウンド等使用料	6,257
			学校開放施設使用料	2,521
			体育館使用料	5,911

項 02.手数料

103,012 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
総 務 手 数 料	27,337	29,218	自動車臨時運行許可申請手数料等 848 徴税督促手数料 1,789 税務証明手数料 4,770 広域交付税務証明手数料 30 戸籍・住民票・印鑑等証明手数料 21,781
民 生 手 数 料	50	78	保育料督促手数料等
衛 生 手 数 料	66,970	70,770	畜犬登録手数料 722 狂犬病予防等手数料 1,655 ごみ処理手数料 67,619 ガレキ処分手数料等 774
土 木 手 数 料	4,002	2,946	屋外広告物許可等手数料 2,913 市営住宅使用料督促手数料 33

款 14.国庫支出金

1,939,062 千円

項 01.国庫負担金

1,421,711 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
民 生 費 国 庫 負 担 金	1,438,366	1,420,451	特別障害者手当等給付費負担金 14,512

			補装具費負担金	6,450
			自立支援医療(更生医療・育成医療)負担金	6,582
			介護給付費負担金	222,125
			訓練等給付費負担金	63,463
			私立保育園運営費負担金	110,710
			母子寮入所措置費負担金	3,961
			児童扶養手当給付費負担金	60,347
			児童手当給付費負担金	755,203
			生活保護費負担金	161,652
			国保事業保険基盤安定事業負担金	15,446
衛生費国庫負担金	2,102	1,260	療育医療負担金	
災害復旧費国庫負担金	3	0		

項 02.国庫補助金

504,212 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 内 容	
総務費国庫補助金	3,800	9,023	社会資本整備総合交付金(連絡所等耐震)	3,173
			地籍整備推進調査費補助金	5,850
民生費国庫補助金	44,266	20,051	自立支援費補助金	14,174
			母子家庭自立支援給付金事業	2,940
			生活保護費補助金	2,937
衛生費国庫補助金	6,729	3,302	がん検診推進事業補助金	2,510
			合併処理浄化槽設置整備事業補助金	792
農林業費国庫補助金	1,954	2,100	農業再生支援事業	
土木費国庫補助金	294,121	262,962	社会資本整備総合交付金(橋りょう補修)	1,155
			社会資本整備総合交付金(バリアフリー)	21,924
			防災・安全交付金(地下道冠水情報システム整備)	25,121
			防災・安全交付金(道路施設舗装点検)	33,729
			元気交付金(総合医療センター関連)	105,403
			元気交付金(一般道路改修)	20,000
			耐震診断補助金	1,327
			社会資本整備総合交付金(かわまちづくり)	20,133
			元気交付金(かわまちづくり)	24,170
			先導的官民連携支援事業補助金(かわまちづくり)	10,000
教育費国庫補助金	262,356	169,274	特別支援教育就学児童奨励費	490
			理科教育設備整備費補助金	371
			学校施設環境改善交付金(空調整備)	5,598

			学校施設環境改善交付金(防災機能強化)	58,616
			元氣交付金(小学校空調)	85,284
			社会資本整備総合交付金(住宅ストック)	1,295
			特別支援教育就学生徒奨励費	181
			理科教育設備整備費補助金	239
			学校施設環境改善交付金(西中空調)	3,832
			要保護生徒援助費	54
			幼稚園就園奨励費	13,314
商 工 費 国 庫 補 助 金	20,176	20,175	小規模地方公共団体対策技術率先導入補助金	20,175
消 防 費 国 庫 補 助 金	17,325	17,325	元氣交付金(消防施設整備)	

項 03.委託金

13,139 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 内 容
総 務 費 国 庫 委 託 金	1,914	1,130	自衛官募集事務委託金 15
			中長期在留者住居地届出等事務委託金 1,115
民 生 費 国 庫 委 託 金	9,261	9,555	基礎年金等事務費交付金 8,548
			年金事務協力委託金 857
			特別児童扶養手当事務費交付金 150
土 木 費 国 庫 委 託 金	287	2,454	加茂川排水機場管理委託金

款 15.県支出金

1,495,146 千円

項 01.県負担金

556,668 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主	な	内	容
民 生 費 県 負 担 金	543,167	537,207	補装具費負担金			3,255
			自立支援医療(更生医療・育成医療)負担金			3,291
			介護給付費負担金			111,269
			訓練等給付費負担金			31,790
			私立保育園運営費負担金			55,355
			母子生活支援施設入所措置費負担金			1,980
			児童手当給付費負担金			163,478
			生活保護費負担金			6,129
			国保事業保険基盤安定事業費負担金			109,331
			後期高齢保険基盤安定事業費負担金			51,329
衛 生 費 県 負 担 金	3,996	3,596	予防接種事故対策費負担金			2,546
			養育医療負担金			1,050
県 移 譲 事 務 交 付 金	3,963	3,764	県移譲事務交付金等			

土 木 費 県 負 担 金	0	12,101	地籍調査費負担金
---------------	---	--------	----------

項 02.県補助金

816,119 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
総 務 費 県 補 助 金	76,102	78,434	市町村自主運行バス総合補助金 2,893 消費者行政活性化基金事業補助金 3,839 緊急雇用創出事業補助金(国際交流員配置、地域情報化、英語版ガイドマップ等) 71,616
民 生 費 県 補 助 金	266,960	263,179	老人クラブ活動事業補助金 943 自立支援費補助金 7,087 重度心身障害者医療費補助金 113,645 乳幼児医療費補助金 54,293 母子・父子家庭医療費補助金 16,111 福祉医療費助成事業運営費補助金 7,037 放課後児童対策事業補助金 17,700 病児・病後児保育補助金 3,084 低年齢児保育促進事業補助金 2,616 民間保育園延長保育促進事業補助金 9,738 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金 11,326 安心子ども基金事業 1,455 地域子ども・子育て支援事業費補助金 10,359 住まい対策拡充等支援事業補助金 6,641
衛 生 費 県 補 助 金	7,086	7,412	妊婦健康診査臨時特例交付金 1,819 健康増進事業補助金 2,015 自殺予防緊急対策事業費補助金 431 合併処理浄化槽設置整備事業補助金 2,348
農 林 業 費 県 補 助 金	89,662	73,311	農業委員会交付金 2,503 学校給食地産地消推進事業補助金 288 農地制度実施円滑化事業補助金 250 中山間地域等直接支払交付金 948 県単農道舗装事業補助金 2,118 青年就農給付金 3,750 緊急雇用創出事業(農業用施設事業) 21,104 元気な農業産地構造改革支援事業費補助金 1,435 森林整備地域活動支援事業補助金 563 鳥獣被害防止総合対策事業補助金 308

			有害鳥獣捕獲対策事業補助金	306
			集落環境保全整備事業補助金	1,666
			緊急雇用創出事業補助金 (平成公園未利用地整備)	20,237
			清流の国ぎふ森林・環境基金事業補助金	17,668
商 工 費 県 補 助 金	506,603	344,894	緊急雇用創出事業(起業支援型地域雇用)	344,894
土 木 費 県 補 助 金	19,387	12,281	耐震化促進事業補助金	881
			急傾斜地崩壊対策事業	11,400
教 育 費 県 補 助 金	35,175	31,901	緊急雇用創出事業(生活指導支援員等配置)	24,828
			緊急雇用創出事業(文化の森森林整備事業)	2,125
			県指定文化財保護事業補助金	325
			市町村振興補助金(生涯学習センター改修工事)	2,000
			市町村振興補助金(文化の森機器修繕)	1,000
			外国人児童生徒日本語指導支援事業補助金	1,000
			スポーツのまちづくり支援補助金	623
電源立地地域対策交付金	4,600	4,707	電源立地地域対策交付金	

項 03.委託金

122,359 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
総 務 費 県 委 託 金	107,598	109,113	くらしと県政配布費 170 県税徴収取扱費 91,003 参議院議員選挙委託費 14,277 工業統計調査費 386 住宅・土地統計調査 3,063
衛 生 費 県 委 託 金	210	210	大気環境測定局管理委託金
土 木 費 県 委 託 金	16,830	13,036	地下道清掃委託金 1,421 県道用地取得業務委託金 467 県道除草委託金 818 河川等除草委託金 4,179 牧野ふれあい広場管理事務委託金 6,100

款 16.財産収入

220,940 千円

項 01.財産運用収入

43,884 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
財 産 貸 付 収 入	29,892	33,342	公民館敷地等貸付収入 146 駐車場等貸付収入 3,901 土地貸付収入 5,279

			商業ビル土地建物貸付収入	14,511
			文化の森貸付収入	288
			自動販売機設置場所貸付収入	8,831
			公共サイン設置場所貸付収入	378
利 子 及 び 配 当 金	10,492	10,542	基金利子及び配当金	

項 02.財産売払収入

177,056 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
不 動 産 売 払 収 入	48,759	1,092	普通財産売払収入
物 品 売 払 収 入	106	104	ふるさと文庫基金物品売払収入
出 資 金 等 返 還 金	175,860	175,860	可茂ふるさと基金出資金返還金

款 17.寄附金

2,747 千円

項 01.寄附金

2,747 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
民 生 費 寄 附 金	162	161	保育園備品購入 ふるさと納税 161
教 育 費 寄 附 金	1,743	1,740	文化の森所蔵美術品購入 座馬 井邨 氏 300 人物顕彰事業 (公財)せきしん地域振興協力基金 100 小学校備品購入 ふるさと納税 100 文化の森備品購入 ふるさと納税 120 体育備品購入 ふるさと納税 120 前平総合運動場改修 東濃信用金庫 1,000
衛 生 費 寄 附 金	647	646	乳幼児健診用備品 ふるさと納税 130 分別収集用ネット購入 ふるさと納税 90 環境基本計画推進事業 ユニー(株)アピタ美濃加茂店 136 ふるさと納税 90 環境フェア事業 (公財)とうしん地域振興協力基金 200
商 工 費 寄 附 金	200	200	地域産業振興イベント補助事業 (公財)とうしん地域振興協力基金 200

款 18.繰入金

380,589 千円

項 01.基金繰入金

332,152 千円

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
土 地 開 発 基 金 繰 入 金	315,644	328,983	

国際交流基金繰入金	3,169	3,169	
-----------	-------	-------	--

項 02.特別会計繰入金 48,437 千円

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
介護保険会計繰入金	48,437	48,437	

款 19.繰越金 1,228,560 千円

項 01.繰越金 1,228,560 千円 (単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
繰越金	624,924	1,228,560	繰越金 1,057,602 明許繰越金 170,958

款 20.諸収入 841,901 千円

項 01.延滞金及び加算金 15,419 千円 (単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
延滞金	2,101	15,419	

項 02.市預金利子 1,251 千円 (単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
市預金利子	701	1,251	

項 03.貸付金元利収入 293,117 千円 (単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
中小企業者貸付金元利	410,000	293,100	中小企業季節短期融資銀行預託金回収金 100,000 勤労者生活資金預託金 10,000 小口融資預託金 85,000 中小企業震災等支援経済対策預託金回収金 88,100 生活安定資金融資預託金回収金 10,000
緊急小口貸付金元金	0	17	

項 04.雑入 530,904 千円 (単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
弁償費	1	1	
過年度収入	301	16,063	国庫支出金過年度収入 12,677 県支出金過年度収入 3,385
納付金	2,470	2,352	日本スポーツ振興センター納付金

学 校 給 食 事 業 収 入	329,125	309,971	小学校給食費	191,319
			中学校給食費	95,210
			その他給食費	22,469
			過年度給食費	973
雑 入	149,710	202,517	生命保険取扱手数料	2,210
			一部事務組合事務費	1,250
			職員駐車場使用料	6,823
			分庁舎管理経費	2,000
			市町村振興宝くじ収益金交付金	28,774
			市有物件共済災害共済金	4,026
			岐阜県市町村振興協会助成金	1,606
			高額療養費返納金	14,061
			保育園職員等給食代	8,563
			放課後児童クラブ利用料	23,780
			総合福祉会館利用光熱水費	2,688
			ふれあいサロンさわやか利用料	3,492
			前年度後期高齢者医療返還金	21,936
			児童デイサービス支援費	28,933
			定住外国人就学支援委託金	17,757
			がん検診等受診料	6,143
			容器包装市町村拠出金	1,460
			健診等受託金	1,528
			つくばウエルネス事業参加料	2,053
			消防団員退職報償金	5,104
			生涯学習講座受講料	1,631
			文化会館自主事業収入	2,440
			中体クラブ教室参加料	2,166

項 05.受託事業収入

1,210 千円

(単位:千円)

目	予算現額	決算額	主 な 内 容
教 育 費 受 託 事 業 収 入	1,210	1,210	社会教育活性化支援プログラム受託金

款 21.市債

1,022,600 千円

項 01.市債

1,022,600 千円

(単位:千円)

目	決算額	主 な 内 容	利率	借入先
農 林 業 債	5,400	県営一般農道整備事業負担金	0.349	岐阜信用金庫

土 木 債	28,800	橋りょう補修事業	800	0.349	岐阜信用金庫
		バリアフリー事業	5,600	0.349	岐阜信用金庫
		バリアフリー事業(H24繰越)	5,600	0.349	岐阜信用金庫
		地下道冠水通報システム整備事業(H24繰越)	10,800	0.349	岐阜信用金庫
		かわまちづくり整備事業(H24繰越)	6,000	0.349	岐阜信用金庫
教 育 債	35,000	小学校防災機能強化(H24繰越)	12,000	0.400	財政融資
		小学校空調整備事業(H24繰越)	15,000	0.400	財政融資
		中学校防災機能強化(H24繰越)	8,000	0.400	財政融資
総 務 債	3,400	鉄道施設総合安全対策事業	3,400	0.349	地方公共団体金融機構
臨 時 財 政 対 策 債	950,000	臨時財政対策債	490,300	0.600	財政融資
		//	459,700	0.600	地方公共団体金融機構

歳出の決算状況

款	01	議会費	210,723千円
項	01	議会費	210,723千円
目	01	議会費	210,723千円

○ 主な事業内容と成果

- ・ 定例会4回及び臨時会3回を開催し、108案件を処理した。
- ・ 議会だより及びホームページを活用し、議会活動情報の提供を行った。
- ・ 議場の音響システム更新と玄関ロビーや委員会室等への画像配信に伴う整備を行った。

○ 本会議の状況

(単位：日、件)

区 分	本会議 日数	条 例	予 算	決 算	人 事	専 決	選 挙	意 見 書	請 願	そ の 他	合 計
H25第2回定例会 6/14～6/28	5	2	2			9	3	1	1	4	22
第3回定例会 9/3～9/26	5	2	4	9	6					3	24
第1回臨時会 10/18	1	1	2				3			6	12
第4回定例会 12/3～12/20	5	4	3		1					3	11
H26第1回臨時会 1/16	1	1	1							1	3
第2回臨時会 2/12	1									1	1
第1回定例会 3/4～3/24	5	15	13		1			1	2	3	35
計	23	25	25	9	8	9	6	2	3	21	108

○ 委員会の状況

委 員 会 名	委員会日数	協議会日数
文教民生常任委員会	5日	1日
企画建設常任委員会	5日	1日
議会運営委員会	24日	5日
議会行政改革特別委員会	4日	0日
産業活性化特別委員会	4日	0日
決算審査特別委員会	2日	0日
計	44日	7日

○ 主な事業の執行状況

- ・ 議場・委員会室音響システム等整備委託 25,200千円
- ・ 議会だよりの発行（年4回 発行部数：13,200部/1回） 773千円
- ・ 会議録収録テープ反訳業務委託 679千円
- ・ 会議録検索システムデータ入力業務委託 247千円
- ・ 会議録検索システムリース料 567千円
- ・ 議員報酬 105,024千円

○ 主な不用額

- ・ 報酬 5,194千円
議員2名の辞職があったため（ただし、補選により新たに1名が議員となっている）
- ・ 共済費（議員費） 4,433千円
予算は概算値で要求したが、市議会議員共済会からの請求が見込みを下回ったため
- ・ 委託料 1,982千円
議場・委員会室音響システム等整備委託のプロポーザルにおいて差金が発生したため

款	02	総務費	2, 1 8 6, 0 1 1千円
項	01	総務管理費	1, 7 9 2, 8 6 0千円
目	01	一般管理費	7 2 1, 6 4 5千円

【人事】

- 人事院勧告（報告）に基づき適正な給与の支払いに努めた。
- 時間外勤務の縮減を図り、人件費の抑制に努めた。
- 定員適正化計画に基づく職員採用を行った。
- 主な事業の執行状況

・ 給料（特別職 2 人、一般職 7 2 人）	2 8 1, 2 4 2 千円
・ 職員手当等（同上）	2 0 5, 0 3 2 千円
・ 共済費（同上）	1 7 5, 8 2 0 千円
・ 賃金	2 5, 5 5 8 千円

- 主な事業内容と成果

1 職員の動き

（単位：人）

期 日	H24. 4. 1 現在	H24 年度 中退職者	H24 年度 中採用者	H25. 4. 1 採用者	H25. 4. 1 現在	H25 年度 中退職者	H26. 4. 1 採用者	H26. 4. 1 現在
職員数	3 3 4	2 2	5	1 4	3 3 1	1 0	1 6	3 3 7

人事異動方針（平成 2 5 年 4 月 1 日付）

- （1）第 5 次総合計画と行財政改革を継続推進し、一層の市民サービス向上を図る体制の確立

- ・ 第 5 次総合計画の事業推進・管理のため、市長部局の部長級に次長を置く。
- ・ 第 1 次産業から第 3 次産業の総括的な振興を図るため、農政課と商工観光課を統合し、産業振興課とする。
- ・ 文化会館事業を生涯学習の一環として捉え、事業を推進するため、文化会館の所管を文化振興課から生涯学習課に移す。
- ・ 健康増進業務の効率的な推進を図るため、健康課に総務係を置く。
- ・ 市管理施設の建築及び維持管理のため、総務課に建設係を置く。
- ・ 行政改革の一環として、総合福祉会館に指定管理者制度を導入する。
- ・ 事業終了によって国体推進室を廃止する。
- ・ 幼児期から小学校までの低年齢期における児童の発達支援を強化するため、教育委員会に言語訓練指導員を置く。
- ・ 退職者の不補充により、職員 3 名を削減する。

- （2）職員派遣

- ・ 東日本大震災被災自治体の復興支援のため、宮城県東松島市へ、引き続き職員（技術職）1 名を派遣する。
- ・ 同じく復興支援のため、岐阜県市長会を通じ、岩手県釜石市へ職員（保健師）2 名を各 1 月ずつ派遣する。
- ・ 美濃加茂市に係わる水資源の開発及び利用促進のため、職員（技術職）1 名を独立行政法人水資源機構へ派遣する。
- ・ 徴税業務を県と市が共同で取り組むため、職員（事務職）1 名を岐阜県総務部税務課へ引き続き派遣する。
- ・ 定住自立圏構想を推進するために、川辺町職員（保育士）1 名を引き続き受け入れるとともに、川辺町へ市職員（保育士）1 名を引き続き派遣する。

(3) 管理職の退職等に伴う職員配置

- ・部長職3名、課長職2名の退職及び組織機構の改編に伴う職員の配置
- ・部長職、次長職、課長職及び係長職への昇任にあたっては、人事評価、内部評価をもとに昇任昇格審査会において決定（部長職1名・次長職2名（課長職兼務）・課長職2名・係長職7名）

2 職員数（平成25年4月1日現在 単位：人）

特別職	3	市民協働部	55
一般職員	331	健康福祉部	113
		産業建設部	56
	※出向職員を除く	総務部	55
		経営企画部	30
		教育委員会事務局	11
		議会事務局	4
		会計課	4
		農業委員会	2
		監査委員事務局	1
		選挙管理委員会	0（兼務）

出向職員 可茂消防事務組合 1

職員定数別職員数推移（各年4月1日現在）

単位：人

	定数	H21職員数	H22職員数	H23職員数	H24職員数	H25職員数
議会	5	4	4	4	4	4
市長部局	330	307	317	311	299	295
選管委員会	1	0	0	0	0	0
監査事務局	1	1	1	1	1	1
教育委員会	30	22	12	11	11	12
農業委員会	4	2	2	2	2	2
公営企業	18	11	10	10	17	17
計	389	347	346	339	334	331

※定数は、H21.4.1改正の数値

3 人事評価制度

前年に引き続き、部長級及び課長級を対象として人事評価制度を処遇に適用し、平成26年度からの適用範囲の拡大に向けての取り組みを進めるため、評価結果の分析や制度の見直しを行った。

- ・人事評価（評価者）研修の開催 課長：24人参加
- ・人事評価制度の周知徹底のため研修開催 若手職員等：65人参加

4 委託の状況

- ・職員健康診断 5,513千円
 - 正職員 人間ドック 262人
 - 一般健診 67人
 - 嘱託員 生活習慣病 129人
 - 一般健診 15人
- ・産業医委託料 540千円
- ・職員採用委託料（採用試験、就職説明会等） 457千円

【法令】

○ 条例、規則等の制定改廃状況

区 分	制 定 状 況			
	制 定	改 正	廃 止	合 計
条 例	2	3 6	3	4 1
規 則	1 2	4 0	2	5 4
訓 令 甲	3 0	7 9	1 5	1 2 4
訓 令 乙	8	1 1	4	2 3

○ 公示の制定状況

告示 4 5 件 公告 3 6 件

○ 行政不服審査法の規定に基づく不服申立て

異議申立て 申立件数 1 件

審査請求 申立件数 0 件

県への審査請求に対する弁明 弁明書の提出 0 件

○ 訴訟関係

調停事件 0 件

○ 市議会との連絡調整（執行機関分）

区 分	期 間	議 案	承 認	認 定	諮 問
第 1 回定例会	H25. 3. 4～3. 22	1 9	1		
第 2 回定例会	H25. 6. 14～6. 28	5	9		
第 3 回定例会	H25. 9. 3～9. 26	1 1		9	3
第 1 回臨時会	H25. 10. 18	4			
第 4 回定例会	H25. 12. 3～12. 20	1 1			
合 計		5 0	1 0	9	3

○ 主な事業の執行状況

1 需用費関係

・ 書籍の追録代	5 7 2 千円
・ 再生紙購入費	2, 9 0 9 千円
・ 事務機器消耗品購入費	1, 5 4 0 千円

2 委託料関係

・ 顧問弁護士委託（顧問）料	3, 3 1 3 千円
・ 行政手続整備支援業務	6 8 2 千円
・ 例規更新データ作成委託業務	2, 6 2 5 千円

3 使用料及び賃借料関係

・ 例規検索システム使用料	1, 1 8 4 千円
・ 例規整備情報等システム使用料	3 5 2 千円
・ 官庁速報システム使用料	8 8 2 千円
・ 印刷機使用料	3 5 2 千円

【情報公開・文書管理】

○ 情報公開制度及び個人情報保護制度

1 情報公開の請求状況

（１）公開請求の件数 2 5 件

（２）実施機関別開示件数及び処理状況

・ 市長 請求 2 5 件

(うち 公開14件 部分公開8件 非公開1件 不存在2件)

(3) 不服申立て件数 0件

2 個人情報の開示請求状況

(1) 開示請求の件数 2件

(2) 実施機関別開示請求件数及び処理状況

・市長 請求2件

(うち 開示2件)

(3) 不服申立て件数 0件

(4) 登録簿への登録件数 4件

○ 文書管理事務

1 文書取扱責任者(庶務係長クラス) 47人

文書取扱者 92人

2 平成24年度行政文書引継ぎ

平成25年5月7日から5月27日まで

対象部署は、本庁舎、分庁舎及び生涯学習センターの課(室)

○ 主な事業の執行状況

1 委託料関係

文書集配委託料

1,285千円

目	02	職員研修費	6,333千円
---	----	-------	---------

○ 行政運営の様々な課題に対しの確に対応できるよう、職員の意欲や資質の向上、組織の活性化や効率化を目指して職員研修の充実に努めた。

1 研修機関研修参加者 194人

<内訳> 市町村研修センター 179人
市町村アカデミー(千葉) 3人
国際文化アカデミー(大津) 11人
自治大学(立川) 1人

2 庁内企画研修 1,633人

<内訳> CSキックオフミーティング 24人
ハードクレーム対応研修(保育園編) 23人
人事評価制度研修会 65人
人権啓発研修 132人
海外職員派遣報告会 159人
東日本大震災復興支援に係る派遣職員報告会 173人
CS中間報告会 28人
法制執務研修 28人
カイゼンアシスタント養成研修 42人
アサーティブコミュニケーション 24人
CS向上発表会 151人
ファシリテーター養成研修 19人
救急救命講習会(職員会タイアップ) 90人

ヤギによる緑地再生共同研究の実績報告会	65人
「地域活性化のためのコンセプトづくり」講演会	43人
みのかも定住自立圏 職員合同研修・講演会	
次世代リーダー研修（中堅研修）	14人
女性職員ステップアップ研修	16人
チームビルディング研修（若手職員）	18人
マネジメント研修（課長補佐クラス）	15人
地域づくり研修会（金丸弘美氏）	117人
事例で学ぶリスクマネジメント研修（堀雅博弁護士）	149人
講演会（がんばらない生き方）	176人
講演会（怒りを笑顔に変える「魔法のクレーム対応術」）	62人

3 資格取得研修参加者 27人

甲種防火管理資格取得講習、第三種陸上無線技士、社会福祉主事資格認定通信課程、危険物取扱者、応急手当普及員講習、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習、ボイラー実技講習会

4 自主（自己啓発）研修 4人

職員自主研修等助成要綱適用者

○ 主な事業の執行状況

・職員研修旅費	1,663千円
・職員研修負担金・自主研修助成	2,199千円
・職員研修委託料	
定住合同研修（計6回）	1,498千円
その他研修	881千円

目	03	財政管理費	361,190千円
---	----	-------	-----------

- 第5次総合計画に掲げる諸施策を計画的に推進するため、「《教育》未来を担う子どもたちを育てる」、「《活力》住みたくなる、訪れたくなるまちづくり」、「《安心》安心して暮らせるまちづくり」などを重点施策として予算編成に取り組み、限られた財源を効果的に執行するよう努めた。

○ 主な事業の執行状況

・公会計連結財務書類作成委託	630千円
・公会計システム保守委託	788千円
・財政調整基金積立金	357,267千円
・減債基金積立金	1,414千円

目	04	会計管理費	2,722千円
---	----	-------	---------

- 「正確かつ迅速な事務処理」を基本に、財務会計・電子決裁システムにより適正な出納事務の執行に努めた。

○ 主な事業の執行状況

- 1 正確かつ迅速な伝票処理を図るため、研修会及び勉強会を実施するとともに、新任者向けに個別

研修等を随時行った。

- ・年間伝票審査件数 32,482件（一部事務組合分除く。）
- ・会計事務担当職員研修会・勉強会 3回（4月・9月・2月）
- ・個別研修 随時

- 2 支払遅延防止法の遵守及び伝票処理適正化のため事務運用を一部変更した。
- 3 安全、有利、適切な公金管理に努めた。
- 4 公共料金の口座振替払により、支払事務の効率化及び支払遅延防止に努めた。
- 5 封筒の集中管理により経費節減に努めた。

目	05	財産管理費	318,692千円
---	----	-------	-----------

○ 主な事業の執行状況

- 1 市庁舎等施設管理・改修事業 116,220千円
 - ・市有物件火災共済（建物）委託件数 279件

（単位：千円）

項 目	事 業 費	事 業 内 容	支出済額
需用費	23,422	燃料費（冷暖房重油代、ガス代） 光熱水費（電気代、上下水道代） 施設修繕 消耗品	3,107 15,707 3,948 660
役務費	13,516	建物損害共済保険料 電話料 PCB処理手数料等	2,776 6,783 3,957
委託料	29,759	施設管理委託（常時・定期清掃、施設調査等） 施設保守委託（冷暖房切替、電気設備、エレベーター等） PCB運搬委託料等	6,709 22,714 336
使賃料	20,267	駐車場用地借上料 電話交換機使用料等 NHK受信料・CATV使用料	17,085 2,889 293
工事請負費	25,597	庁舎外壁改修工事 庁舎省エネ対策（ガラスフィルム）工事 その他改修工事	12,965 3,308 9,324
備品購入費	3,659	設計用PCソフト等 事務机、椅子等	2,713 946

主な不用額

委託料 4,536（翌年度繰越）

- 2 公共財産管理業務 17,887千円

- ・市有地管理のため除草等の委託業務を実施した。また、西町において土地境界確定業務（地籍整備事業）を行った。

（単位：千円）

項 目	事 業 費	事 業 内 容	支出済額
-----	-------	---------	------

委託料	17,874	除草委託、地理情報システム保守業務等 加賀ノ池周辺土地境界確定業務	2,946 14,928
その他	13	原材料費	13

3 市バス管理事業 2,895千円

・利用件数 1号車 123件、 2号車 136件

(単位：千円)

項 目	事業費	事業内容	支出済額
需用費	517	消耗品、燃料代、光熱水費、修繕料	517
役務費	489	車検手数料、自動車保険料等	489
委託料	1,800	代行運転委託料	1,800
公課費	89	自動車重量税	89

4 公共施設ごみ収集業務 1,458千円

・可燃ごみ(毎週火・金曜日)、不燃ごみ(毎月第1月曜日)、資源ごみ(毎月第2月曜日)

・処理実績 可燃ごみ 78,880 kg 不燃ごみ 8,300 kg

(単位：千円)

項 目	事業費	事業内容	支出済額
需用費	417	事業系可燃ごみ袋代、燃料費(BDF)、修繕料	417
役務費	150	車検手数料、自動車保険料等	150
使賃料	761	ごみ処理施設使用料	761
その他	130	ごみ回収委託料、自動車重量税	130

5 公用車共用経費 14,885千円

・年度末公用車等所有台数 128台

(単位：千円)

項 目	事業費	事業内容	支出済額
需用費	5,504	消耗品、燃料費、修繕料等	5,504
役務費	1,971	車検手数料(5台)等 市有物件共済保険料	1,971
備品購入費	7,349	自動車購入費(軽自動車10台・普通自動車2台)	7,349
その他	61	自動車重量税等	61

6 一般事務費 102,032千円

(単位：千円)

項 目	事業費	事業内容	支出済額
需用費	400	書籍購入費等	400
役務費	689	市民総合賠償保険、郵便料等	689
積立金	100,346	庁舎建設基金積立金	100,346
その他	597	安全運転管理部会費、基金積立金等	597

7 連絡所等耐震改修事業 11,053千円

(単位：千円)

項 目	事業費	事業内容	支出済額
-----	-----	------	------

委託料	1,834	蜂屋交流センター耐震補強計画及び実施設計業務 上古井交流センター耐震補強工事監理業務	1,533 301
工事請負費	9,219	上古井交流センター耐震補強工事	9,219

8 総合医療センター用地造成事業 40,873千円

(単位：千円)

項 目	事業費	事業内容	支出済額
委託料	39,896	旧生物工学研究所跡地造成設計・下流水路測量設計業務（H24 繰越） 旧生物工学研究所跡地造成関連測量設計業務（H24 繰越）（H24 繰越） 旧生物工学研究所跡地造成関連修正設計業務 旧生物工学研究所跡地造成変更申請及び修正設計測量業務 顧問弁護士委託業務、不動産鑑定業務等	23,018 4,515 4,200 4,830 3,333
その他	977	費用弁償、開発申請手数料	977

主な不用額

委託料 33,625 千円

9 契約事務 3,735千円

(単位：千円)

項 目	事業費	事業内容	支出済額
委託料	3,539	県市町村共同電子入札システム提供業務	3,539
その他	196	消耗品など	196

○ 年間の契約件数 (単位：件)

	工 事	委 託	物 品	合 計
条件付一般競争入札	5	0	0	5
指名競争入札	91	55	25	171
随意契約	5	245	17	267
合 計	101	300	42	443

○ 年間の契約金額等

	設計金額(円)	請負金額(円)	請負率(%)
工 事	1,922,462,460	1,775,986,800	92.38
委託業務	2,309,411,448	2,099,185,836	90.90
物 品	106,824,997	98,804,410	92.49
合 計	4,338,698,905	3,973,977,046	91.59

○ 契約不調件数

指名替 0 件 随意契約 0 件 仕様変更 4 件 取止め 2 件

○ 指名委員会の開催回数

開催件数 11 回 協議件数 51 件 持ち回り件数 4 件

目	06	企画費	241,051千円
---	----	-----	-----------

【公共交通機関対策】

○ バス路線対策事業 22,048千円

美濃加茂市には、コミュニティバス「あい愛バス」(運行委託 株式会社岐阜バスコミュニティ)と民間バス路線「八百津線」(東濃鉄道株式会社)が運行しており、地域の貴重な交通手段を維持するため、バス事業者に対し財政支援を行っている。

また、タクシー車両を使った事前予約制のデマンド交通「あい愛予約バス」を古井地区で運行し、定住自立圏構想に基づく富加町への「あい愛バス」の乗り入れを行った。

1 コミュニティバス「あい愛バス」運行事業

- (1) バス事業者 (株) 岐阜バスコミュニティ
- (2) 利用者数 17,803人 (前年度利用者数 19,821人)
- (3) 補助金の名称 美濃加茂市地方バス路線維持費等補助 20,665千円
(岐阜県市町村自主運行バス運行費補助…歳入 2,893千円)
(富加町負担分…歳入 2,139千円)

2 あい愛予約バス(デマンドバス)運行

効率性と利便性を高めるため、あい愛バス古井循環線A・Bについて、タクシー車両を使った予約制のあい愛予約バスを運行した。

- (1) 委託事業者 新太田タクシー(株)
- (2) 利用者数 平成25年度利用者数 1,852人 (前年度利用者数 1,802人)
- (3) 主な費用
運行委託料 1,377千円

○ 鉄道関係団体協賛事業 90千円

JRや国等に対し、より利用しやすい鉄道としての整備改善などを要望した。

1 東海環状鉄道整備促進協議会

岐阜県と沿線5市1町(岐阜市、各務原市、坂祝町、美濃加茂市、可児市、多治見市)及び経済団体によって構成され、高山本線、太多線、中央本線、東海道本線を環状で結ぶ、東海環状鉄道構想と高山本線、太多線の複線電化を目標に活動している。

2 高山本線強化促進同盟会 負担金 16千円

岐阜県、富山県、愛知県、沿線の市町村及び経済団体によって構成し、高山本線の強化を図るため、運輸施設の改良及び増強を促進するとともに、利用者を増やすことを目的に活動している。

3 リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会 負担金 74千円

岐阜県、12市7町2村と賛同団体などで構成され、リニア中央新幹線を戦略的に活用するという方向性のもと、その早期実現と利便性の向上に向けて活動している。

4 岐阜県鉄道問題研究会

県内の鉄道整備促進関係4団体が連携し、JR等に対する要望活動を実施している。

○ 長良川鉄道経営安定支援事業 24,297千円

長良川鉄道を地域の安定した基幹交通機関として定着させるため、岐阜県、沿線市町及び関係団体が相互に連携して経営改善に向けた諸施策を推進している。

1 美濃加茂市長良川鉄道協力会

長良川鉄道沿線の自治会など、住民の沿線美化活動を助成している。

2 長良川鉄道連絡協議会

沿線市町で組織され、情報交換及び連絡調整を実施している。

3 長良川鉄道市民連絡協議会

岐阜県、沿線市町の関係団体の代表で組織され、市民鉄道としての再生計画や一体的な支援体制等について協議している。

4 長良川鉄道事業経営安定対策委員会

岐阜県及び沿線市町で組織され、経営改善施策を協議している。

5 長良川鉄道への財政支援

長良川鉄道の安定経営のため、長良川鉄道再生計画に基づき、財政支援を実施している。

- (1) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 美濃加茂市負担額 4,944千円
車両の更新、自動列車停止装置の新設・改良、枕木のコンクリート化など設備整備費に対して補助（国、岐阜県、市町の協調補助）している。
- (2) 岐阜県鉄道施設維持修繕事業費補助金 美濃加茂市負担額 3,658千円
線路、電路及び車両維持修繕費に対して補助（岐阜県、市町の協調補助）している。
- (3) 長良川鉄道経営安定対策補助金 美濃加茂市負担額 15,695千円
鉄道事業の経営損失額に対して補填している。

- 長良川鉄道経営安定支援事業（平成24年度繰越事業） 6,766千円
平成24年度鉄道施設総合安全対策事業（緊急老朽化対策事業）美濃加茂市負担分

【広域行政】

- 広域行政事業 239千円

構成市町村と連携しながら、この地域の魅力を発信し、さまざまな事業を実施した。

- 1 可茂広域行政事務組合の運営 負担金 64千円
可茂広域行政事務組合は、一部事務組合として広域における観光振興や視聴覚ライブラリーの運営に関する事務などを行い、組合議会（定例会2回、臨時会1回）や公平委員会を開催した。
- 2 東海環状都市地域交流連携推進協議会 負担金 175千円
9市及び各商工会議所で構成し、東海環状自動車道路（東回り）を活用した「人・物・文化の交流」を促進するため、ガイドマップの配布、イベントでのPRブース出展、NEXCO中日本との連携事業などを実施した。
- 3 中濃地方拠点都市地域整備推進協議会
美濃加茂市と関市を中心に、美濃市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡で構成し、自然を活かし・自然を楽しむ「公園文化」をテーマにした地域づくりを推進するため、日本公園村のホームページや地域情報誌「日本公園村」を発行した。
- 4 県営名古屋空港活用促進協議会
名古屋空港が県営名古屋空港として開港したことを受け、小牧市、春日井市、賛同する近隣自治体及び経済団体が構成し、地方コミュニティ空港としての存続と利用促進を図るため、愛知県などに対する要望活動などを実施した。

【地域情報・庁内情報システム管理】

- ケーブルテレビ行政情報番組制作放送業務 9,600千円

・「HOTエリア みのかも」の制作・放送

放送時間 15分間／本、本放送10回／日

番組内容 まちの話題・行政からのお知らせ等を映像、音声、テロップ等で放送

- FMラジオ放送市政情報番組制作放送業務 1,000千円

・「HOTエリア みのかも」の制作・放送

放送時間 毎週金曜日午前8時20分から40分の20分間

放送内容 市の広報係が取材した内容を発信している楽天ブログからピックアップして紹介しているほか、市の職員や関係団体の人たちをゲストに迎え市の取り組みやイベ

ントなどをパーソナリティーと掛け合いながら紹介

○ 庁内ＩＣＴ管理実績

- ・ホームページアクセス件数 368,103件
- ・庁内作業依頼対応処理件数 1,309件

○ 事業の執行状況

- 1 ホームページ事業 310千円
 - ・公式ホームページ及びあじさいネット（グループウェア）保守
 - ・公式ホームページSSL暗号化通信用証明書発行
- 2 情報漏えい防止事業 2,108千円
 - ・資産管理システム、複合機個人認証システム、機器等賃貸借
- 3 外部ネットワーク事業 13,438千円
 - ・地域イントラネットワーク用広域イーサネット、インターネット回線使用料
 - ・L GWAN接続機器の賃貸借、保守
- 4 総合行政システム事業 43,158千円
 - ・総合行政情報システムネットワーク機器等運用サポート業務及び利用料
 - ・障害者総合支援法改正対応業務、健康課BOXシステム稼働業務
 - ・戸籍システム用ネットワーク構築、自立支援システム法改正対応
 - ・住民情報システム用指紋認証機器、プリンタ等機器の賃貸借、保守
- 5 システム共同利用事業（定住） 2,851千円
 - ・メール配信システム設定及び利用料
 - ・公共施設予約システムサービス利用料
- 6 クライアント管理事業 7,217千円
 - ・業務用パソコン、プリンタ、スキャナ等の賃貸借及び購入
 - ・パソコン用周辺機器、プリンタ用消耗品（トナー、ドラム）等購入
 - ・パソコン修理、ネットワーク配線補修作業
- 7 自動交付機事業（新規購入、構築委託業務、保守） 9,497千円
- 8 情報セキュリティ事業 4,544千円
 - ・ウイルス、不正アクセス対策等セキュリティ対策保守、機器賃貸借
- 9 イントラネット事業 20,137千円
 - ・第三次L GWAN接続ルータ導入業務、地域イントラネット情報機器更新、保守
 - ・無停電電源装置保守
 - ・庁内ネットワーク情報機器保守

○ 主な不用額

- ・自動交付機事業 委託料 1,237千円

自動交付機本体の調達を委託業務から外し、別途競争入札による購入としたことにより経費削減を図った。

【緊急雇用】

○ 地域情報FMラジオ放送業務 44,051千円

市内の地域情報や観光・特産品情報、歴史・文化情報などを市民や市周辺地域の人たちに伝えるため6人を雇用し、週1回60分間の番組を制作・放送する。

○ 行政情報番組普及業務 22,540千円

市の行政情報番組を普及するため3人を雇用し、市民の意見を収集するとともに、イベントや相談会に参加してケーブルテレビ加入者増加のための告知を行った。

○ 主な不用額

- ・行政情報番組普及業務委託料 1,251千円

業務の見直しによる変更契約

【行政経営】

○ 主な事業の執行状況

1 行政改革推進事業

570千円

(1) 美濃加茂市行政改革市民会議

- ・有識者6名、市民代表6名の12名で構成されている。有識者は、教育、金融、経済学等から選出されており、市民代表は工業、自治会、商業、農業等の分野から選出されている。
- ・平成25年度中で指定管理期間が満了する2施設（太田宿中山道会館及びひまわりの家）を視察し、指定管理者として継続の可否について意見聴取を行った。

(2) 指定管理者評価委員会

- ・平成25年度中で指定管理期間が満了する2施設（太田宿中山道会館及びひまわりの家）を視察の上、指定管理者選考判断に関する意見書の提出を受けた。

(3) カイゼンアシスタント養成研修

- ・平成20年度以降実施されていなかったが、退職者の増加等により未受講者が増えたため、カイゼンアシスタント養成研修を実施した。

2 第5次総合計画進捗管理事業

420千円

(1) ISO9001サーベランス（外部審査機関による第三者審査）

- ・行政経営課、産業振興課、中央図書館、総務課、加茂野保育園、山之上保育園、議会事務局を対象に実施した。
- ・サーベランスは、FABIK方式による市長インタビューを経て、第5次総合計画における業務との整合性と今後の展開、行政組織の機能と意思疎通（コミュニケーションとモチベーションの維持）、情報の収集と活用（広聴の仕組みと施策への展開）、業務改善に対する取り組み及びカイゼンアシストの実施結果の検証の5項目について、審査を実施した。
- ・結果については、クロージングミーティングにおいて情報共有するとともに、モーニングボードやあじさいネットのISOボックスにおいて、全庁的に情報の共有を図っている。

目	07	市民まちづくり推進費	39,870千円
---	----	------------	----------

【市民活動サポートセンター】

市民まちづくり推進費（市民活動サポートセンター事業） 364千円

○ 市民活動サポートセンター

□開設日時：月～土曜日 午前9時～午後5時（火・金曜日は午後9時まで）

* 祝日・年末年始を除く

□開設場所：美濃加茂市生涯学習センター 3階

□職員：センター長1名 コーディネーター3名

○ サポートセンターの活動や登録団体などの活動状況を紹介する情報誌「みんなの手」を年6回発行した。

○ 社会福祉協議会と連携し、小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒を対象とした「夏休みボランティア体験」を企画し、児童、生徒に対し受け入れ施設を紹介したりするなど、ボランティア活動に対する支援を行った。（受入施設：12施設 延べ活動児童・生徒数：218名）

○ 市民活動サポートセンター講座・研修会・交流会

1 託児ボランティア養成講座 子育て中の家族が社会参加できる環境を整えるために、子育て世代を支援する託児ボランティアを養成。託児ボランティアグループが誕生した。

□日 時：9月11日・18日・25日 10月2日・9日 計5回 □参加者：20名

- 2 市民活動ステップアップ研修会 市民活動を広く効果的に伝える情報誌やチラシの作り方を学ぶ講座を開催した。

□日 時：3月16日 □参加者：34名

- 3 とびだせ市長室 サポートセンター登録者と市長が市民活動への想いを意見交換しながら交流した。

□日 時 2月12日 □参加者：14名

○ 第3回ボランティアまつり in みのかも

市民活動団体や参加者が集い、相互理解や情報交換、交流を進めながら、今後の活動に向けての仲間づくりを進めた。【テーマ：まあいゝるく つながり 環（わ）になって】

□日 時：12月1日 □会 場：生涯学習センター

□内 容：ワールドカフェ（活動情報交換会） □参加者：54人

おまつり広場（活動発表・体験コーナーなど） 参加団体：52団体 来場者650人

○ 市民活動サポートセンターの利用実績

区分・年度	平成25年度	平成24年度	差引増減
センター登録団体数	105団体	95団体	10団体
センター登録個人数	66人	68人	▲2人
ボランティア依頼件数	177件	165件	12件
コーディネート件数	196件	179件	17件
センター来訪者数	1,430人	1,340人	90人

【地域振興】

○ まちづくり協議会事業

1,933千円

地域によって異なる課題に対応したまちづくりを行うため、地域コミュニティの再生を図る。

地域で自ら抱える課題、問題の整理と解決及び自主活動を行い、活発な地域づくり活動を支援する。

伊深地区、三和地区、加茂野地区では、各地区それぞれの個性を活かしたまちづくり活動が展開されており、平成25年11月に新たに山之上地区でまちづくり協議会が設立された。

【市政情報】

○ 広聴推進事業

891千円

○ 市民満足度調査の実施

・実施日 平成26年3月10日から3月31日まで

・配布数 1,500件（市内在住の18歳以上の人を層化二段無作為抽出）

・回答件数 563件 回収率 37.5%

・活用 市民の施策に対するニーズを把握し、その結果を今後の市政運営に反映させるための基礎資料として活用

○ 第5次総合計画意識調査の実施

・実施日 平成26年3月7日から3月28日まで

・配布数 1,500件（市内在住の18歳以上の人を層化二段無作為抽出）

・回答件数 544件 回収率 36.3%

・活用 調査結果第5次総合計画意識調査の政策や施策の見直しなどに活用

○ とびだせ市長室

・市長が直接皆さんの声をお聴きする「とびだせ市長室」を実施

・年間39回開催 計651名参加

○ 市長への提案

- ・手紙による市政への提案の実施
- ・募集期間 平成26年2月1日から平成26年2月28日まで
- ・提案件数 49人・76件

○ パブリックコメント（市民意見公募）

- ・実施件数 3件
- ・実施内容 「美濃加茂市教育振興基本計画（案）」、「スポーツ振興計画（案）」、「美濃加茂市開発事業に関する条例（素案）」

【広報】

- 広報紙印刷費（日本語） 5, 252千円
毎月1日号を発行（5月に号外を発行）
1日号平均ページ 29. 47ページ

【市制60周年記念PR事業】

6, 518千円（一部繰越）

- 平成26年度に美濃加茂市制60周年を迎えるにあたり、全国へPRするためのプロモーションビデオと市勢要覧の作成委託を行った。

【多文化共生】

○ 国際交流員の配置

美濃加茂市の人口のうち、約7. 26%（平成26年4月1日現在）を占める外国人の中で特に多いブラジル人やフィリピン人を対象とした生活上での通訳・翻訳業務に国際交流員を5名配置（職員1名、嘱託員3名、臨時職員1名）

○ ポルトガル語版広報の発行

「広報みのかも」の情報の中から、特に外国人住民に知らせたい記事を抽出しポルトガル語に翻訳、また日本の文化を紹介した記事などを掲載し、毎月1回15日に発行している（A4版で4頁）。その他知らせたい情報があるときは、折込みチラシを利用した。1000部作成し、市内の小中学校、ブラジル銀行、ブラジル人経営の店、市内ショッピング店等に配布した。（平成13年から発行）

○ ポルトガル語による同報無線放送

ゴミ出し日の変更や食中毒警報など、緊急性が高く、外国人住民にも周知が必要な事柄については、ポルトガル語による放送も適宜行っている。（平成17年9月から実施）

○ 多文化共生プラン進捗管理事業 333千円

平成20年度に策定した多文化共生推進プランを効果的に実施するため、関係課ごとの事業の進捗状況を確認するとともに、第2次プランの作成に向けて現行のプランの見直しについて多文化共生推進庁内連絡協議会及び多文化共生推進協議会において検討した。

○ 外国人児童生徒学習支援事業 1, 780千円

NPO法人ブラジル友の会への委託し、日本の公立小・中学校へ通う外国人児童生徒へ、放課後の時間を利用して学習支援を行った。

○ 外国人集住都市会議 373千円

岐阜・愛知・三重・長野・静岡・群馬・滋賀・岡山にて主に日系ブラジル人が多く居住している26市町（平成26年3月末現在）が集まり、地方行政としての外国人施策を考える会議。県内では、大垣市、美濃加茂市の2市が参加。国などに対して政策提言を行う。平成25年は滋賀県長浜市が座長都市を務め、『外国人集住都市会議 東京2014』を目指して各ブロック会議、幹事会などの会議を重ねた。平成25年10月29日（火）に「外国人集住都市会議ながはま2013」を長浜市で開催し、国と自治体との連携を深め、全ての人が互いに尊重し、共に支え合う地域社会を目指していくことに引き続き取り組むことを確認した。

○ 外国人定住化プラットホーム事業費 2, 086千円

平成 21 年 7 月 1 日に開設した定住外国人自立支援センターの事業のうち、生活相談事業と日本語学習事業を引き続き実施した。

- 英語版ガイドマップ作成事業 294 千円
フィリピン人等の外国人住民に対応するため、英語版の施設ガイドマップを 2,000 部作製した。
- 姉妹都市事業 3,647 千円
 - 1 NPO 法人美濃加茂国際交流協会への委託事業 2,660 千円
 - (1) ダボ市への青少年派遣事業及びダボ市からの青少年及び市長受け入れ事業
 - ・平成 25 年 7 月 25 日～8 月 6 日、派遣生 10 名、引率者 2 名をダボ市へ派遣
 - ・平成 25 年 9 月 27 日～10 月 6 日、派遣生 9 名、引率者 2 名をダボ市から受入れ
 - 2 ダボ市への職員派遣事業 987 千円
ダボ市の行政機関の調査、研究及び職員間の交流促進を目的として、市職員を派遣し美濃加茂市政の効率的運営に資する。
平成 25 年 7 月 25 日～8 月 1 日 職員 2 名を派遣
- 岐阜県ブラジル移住 100 周年記念・県人会 75 周年記念式典及びブラジル経済視察事業
平成 25 年 8 月 19 日～28 日 地域振興課職員 1 名が市長に随行 880 千円
- 国際交流基金積立金 78 千円
- 日本国際連合協会岐阜県本部会費 6 千円
- 岐阜県国際交流センター負担金 5 千円
- 男女共同参画推進事業 122 千円
 - 1 第 2 次みのかも男女共同参画基本計画の推進 78 千円
男女共同参画推進委員会
委員 10 名、3 回開催、基本計画の進捗状況に対する審査と市長への提言を実施
 - 2 啓発事業 44 千円
 - (1) 「男女共同参画とダイバーシティ（多様性、多文化）」ミニパネル展
手作りミニパネル展及び図書館所有の関係図書約 57 冊の展示
 - ・平成 25 年 6 月 8 日～6 月 25 日：中央図書館
 - ・平成 25 年 6 月 27 日～7 月 17 日：東図書館
 - (2) 「ポジティブ・オフな取り組み」ミニパネル展
手作りミニパネル展及び図書館所有の関係図書約 18 冊の展示
 - ・平成 25 年 11 月 7 日～11 月 26 日：中央図書館
 - ・平成 25 年 11 月 28 日～12 月 12 日：東図書館
- 男女共同参画合同研修・人材交流（定住） 153 千円
住民主体の講座を開催するため、美濃加茂市・加茂郡内 7 町村の住民による男女共同参画推進講座企画運営委員会を開催する。委員会で、講座を企画運営することにより、委員及び講座参加者の男女共同参画意識の高揚を図った。
 - ・男女共同参画推進講座企画運営委員会 11 回開催 16 名（内美濃加茂市民 7 名）
 - ・バス見学「男（ひと）と女（ひと）が支えあうまちを目指して～八百津町編」
平成 25 年 11 月 28 日（木）：山の直売所、人道の丘、日の丸製菓など 54 名参加
 - ・講座「クッキーでクリスマスオーナメント作り」
平成 25 年 12 月 21 日（土）：川辺町中央公民館 13 家族参加
 - ・そば講座
平成 26 年 2 月 1 日（土）：坂祝町中央公民館 7 家族参加
 - ・フォトコンテスト「テーマ「カジダン」「イクメン」「イクジイ」
家事、育児に積極的に参加する男性をモデルに 10 月から 12 月にかけて写真を募集

目	08	生活安全推進費	50,975千円
---	----	---------	----------

- 交通安全対策事業は、毎年多発している交通事故の減少を目指して各種交通安全対策事業を実施した。交通ルールの遵守と正しい交通マナーを習得することにより、交通安全意識の普及を図ることを目的として事業を推進した。
- 防犯活動推進事業は、安全で安心できる住み良い地域社会を実現するため、「みのかも防犯まちづくり推進計画」に基づくプロジェクト事業を推進した。また、生活安全を図るため、防犯灯整備を推進した。

○ 主な事業の執行状況

交通安全意識の普及	1,077千円
交通安全推進関係	1,188千円
交通安全施設関係	12,916千円
生活安全関係	2,959千円
防犯灯整備事業	11,594千円

1 交通安全意識の普及

（1）新入児童、生徒に交通安全帽子、夜光腕章等を贈り交通安全意識の普及を図っている。

2 交通安全推進関係

（1）交通死亡事故の撲滅に向けての活動

①美濃加茂市 四季の交通安全運動の展開

- ・成人式における交通安全啓発
- ・薄暮時における事故防止啓発

②加茂警察署 交通取締りの強化等

- ・高齢者を交通事故から守る対策（高齢運転者対策等を含む）
- ・飲酒運転根絶のためハンドルキーパー運動の推進
- ・事故被害軽減のためのシートベルト着用（後部座席を含む）の推進
- ・交通安全講話

③交通安全協会 交通安全施設の点検等

- ・交通少年団の新団員にワッペン贈呈（市内9小学校新4年生）

（2）交通安全対策推進委員会の開催 1回

交通安全協会等の団体、加茂警察署、市の連携による活動推進について協議

（3）交通教室及び街頭指導

交通指導員6名により、保育園、幼稚園、小学校、中学校等の交通安全教室を年間70回開催し、交通安全教育の普及に努めた。

また、通学路等における街頭指導や、市などの開催行事で交通安全指導を行った。

（4）高齢者の交通安全対策

高齢者交通安全教室の開催や高齢者が参加した会議での啓発（3回）を行った。

（5）交通安全運動の推進

毎月1日、15日及び年4回の交通安全運動期間中に、加茂警察署、交通安全協会等の協力の下に、街頭指導や市内巡回広報により交通事故防止の啓発を行った。

3 交通安全施設関係

主な整備事業量及び工事費

（単位：千円）

事業名	事業量	工事費
-----	-----	-----

道路反射鏡		新設	2 1 基	2, 9 9 4
		建替	3 基	3 5 5
		移設	3 基	1 3 6
		修繕	7 基	4 1 7
		撤去	2 基	4 7
標識・看板・回転灯・ キャッチングフラッシャー等		新設	1 4 基	1, 0 2 1
		修繕	5 基	3 1 4
		移設	1 基	1 0 8
路面標示に よる安全対 策	路面着色	路肩	— 路線	—
		交差点	4 箇所	2, 0 8 0
	区画線	交差点	1 4 箇所	4, 4 2 3
		路線	1 6 路線	
	交差点鉦・ 停止線鉦	新設	3 箇所	2 0 9
		修繕	3 箇所	4 0 2
		撤去	1 箇所	2 5
ガードレール		新設	1 箇所	1 4 0

4 生活安全関係

(1) 防犯活動推進協議会 本会議2回開催

(2) 地域安全指導員活動 会議5回 啓発活動8回

(3) 「防犯まちづくり推進計画」概要版パンフレット、のぼり旗と防犯パトロールステッカー、わんわんパトロールベストによる啓発を行った。

5 防犯灯整備事業

(1) 自治会要望等により防犯灯の設置、修繕及び電気料の補助を行った。

防犯灯整備事業量及び工事費 (単位：千円)

事業名	事業量	工事費
新設 (LED)	1 7 箇所	5 0 4
移 設	3 7 箇所	6 3 7
修 繕	1 2 1 箇所	5 4 4
撤 去	2 箇所	2 6
取替 (LED)	1 0 5 基	2, 7 6 1

(2) 防犯灯の電気料補助 (補助率3分の2) 6, 2 1 4 千円

目	09	支所出張所費	9, 5 4 8 千円
---	----	--------	-------------

【連絡所業務】

○ 支所出張所費

住民サービスのための8地区における窓口業務及び各地区、自治会の課題や自治会要望の取りまとめを実施した。

1 連絡所長会議 毎月1回開催 12回開催

2 主な歳出	旅費	1 7 5 千円
	消耗品費	1 8 9 千円
	燃料費	6 8 5 千円
	食糧費	4 1 0 千円

光熱水費	6, 6 7 1 千円
修繕料	7 4 千円
通信運搬費	7 1 6 千円
手数料	2 1 4 千円
使用料及び賃借料	3 9 2 千円
公課費	2 2 千円
3 自治会要望への対応要望 件数（8地区合計）	1, 4 8 8 件

目	10	消費生活対策費	6, 4 8 9 千円
---	----	---------	-------------

- 平成24年1月から坂祝町・富加町・川辺町とともに広域消費生活相談窓口を開設した。
平成25年度相談件数 337件
- 物価モニターとして10人委嘱し、物価動向調査を依頼した。
物価モニター謝礼 120千円

目	11	市民憲章推進費	3 6 2 千円
---	----	---------	----------

- 【市民憲章・平和事業】
- 市民憲章周知事業
市民憲章周知のための既設の市民憲章看板の点検等を行った。
 - 平和活動事業 3 6 2 千円
青少年の平和に対する意識の高揚を図るため、青少年ピースフォーラムへ参加。
日 時 平成25年8月8日（木）～10日（土） 長崎県平和公園ほか
内 容 平和学習参加及び平和祈念式典参列
参加者 西中学校生徒2名、東中学校生徒2名、随行者1名

目	12	諸費	1 9, 7 7 0 千円
---	----	----	---------------

- 【自治会活動】
- 自治会活動推進事業 1 6, 0 2 3 千円
自治会活動を支援する補助金などを交付した。
自治会加入率の増加を図るために、転入者に対して自治会加入促進チラシを配布した。
 - 1 自治会加入の状況 (各年4月1日現在)
- | | 25年度 | 24年度 | 23年度 | 22年度 |
|----------|---------|---------|---------|---------|
| 自治会数 | 185 | 185 | 185 | 185 |
| 加入世帯数 | 12, 902 | 12, 883 | 12, 690 | 12, 638 |
| 加入率 | 62.7% | 61.5% | 61.1% | 60.6% |
| 全世帯数 | 20, 595 | 20, 950 | 20, 773 | 20, 849 |
| うち外国人世帯数 | 1, 997 | 2, 485 | 2, 614 | 3, 010 |
- 自治会加入率は上昇した。

- 2 補助金などの執行状況 (単位: 千円)

	25年度	24年度	23年度	22年度
自治連合会理事会活動費補助金	115	124	124	128
自治会交付金	13,734	13,505	13,374	14,399

※自治連合会理事会とは、各地区自治会長8名による会であり、各自治会における自治活動について連絡提携を密にし、市政への協力と民意の反映に努め、住みよいまちづくりの推進に寄与することを目的とする会である。

※自治会交付金とは、均等割りである地区交付金に加え、自治会割、班数割、世帯割、広報配布手数料及び自治会割による研修費を加えたもので算出され、各地区の自治会活動の原資となっている。

○ 自治コミュニティ施設整備補助事業

2,307千円

自治会が地域住民の親睦を深め、教養と文化を高めるため自治コミュニティ施設を新築（改築）、増築若しくは修理又は建設用地を取得する場合に、その経費を補助することによりコミュニティ活動の振興を図ることを目的として補助を実施した。

1 自治コミュニティ施設整備状況および事業内訳

古井地区	田畑大組自治会	（修繕）	171千円
山之上地区	田畑自治会	（修繕）	103千円
	中之番自治会	（修繕）	249千円
	南坂自治会	（給排水設備）	171千円
伊深地区	上切自治会	（修繕）	197千円
下米田地区	長福自治会	（給排水設備）	204千円
	下西自治会	（修繕）	126千円
	中牧野自治会	（修繕）	1,040千円
合 計			2,261千円

2 自治会掲示板設置事業

各自治会における掲示板の新設、補修の補助を実施した。

46千円

加茂野自治会

【人権擁護】

○ 人権教育・啓発事業

124千円

1 啓発事業

24千円

(1) 各種行事でのチラシ、啓発物品の配付

- ・平成25年10月26日：健康福祉フェスティバル
- ・平成26年1月12日：成人式

(2) 人権啓発パネル展示

- ・平成25年10月26日：健康福祉フェスティバル

2 4課合同研修会（子どもの人権）

100千円

- ・日時：平成26年1月19日
- ・会場：みのかも文化の森 みどりのホール
- ・宴題：子どもの「自分育ち」を考える～私たち大人ができること
- ・講師：早稲田大学文学学術院文化構想学部教授 喜多明人氏
- ・参加者 約100名

○ 協議会等負担金

1,245千円

美濃加茂人権擁護委員協議会負担金	4 5 4 千円
加茂保護区保護司会負担金	5 1 5 千円
美濃加茂市保護司会負担金	2 6 6 千円
更生保護事業協会負担金	1 0 千円
○ 協議会補助金	7 2 千円
美濃加茂市人権擁護委員協議会補助金	7 2 千円

目	13	定住自立圏構想推進費	1 4, 2 1 3 千円
---	----	------------	---------------

【定住自立圏】

○ 定住自立圏構想推進事業 1 4, 2 1 3 千円

1 定住自立圏構想推進

定住自立圏構想とは、中心市の都市機能と周辺町村の魅力を活用して、民間の担い手を含めて連携や協力を行うことにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し人口定住を促進する政策である。

2 経緯

[中心市宣言]	平成 2 1 年 3 月 2 4 日
[形成協定締結]坂祝町	平成 2 1 年 1 0 月 2 6 日締結（具体的取組 1 7） 平成 2 2 年 3 月 2 4 日変更締結（具体的取組 2 0）
川辺町	平成 2 2 年 9 月 3 0 日締結（具体的取組 1 9）
富加町	平成 2 3 年 3 月 2 8 日締結（具体的取組 2 1）
七宗町	平成 2 3 年 3 月 2 8 日締結（具体的取組 1 8）
白川町	平成 2 3 年 9 月 2 9 日締結（具体的取組 1 5）
八百津町	平成 2 3 年 1 2 月 2 2 日締結（具体的取組 1 9）
東白川村	平成 2 3 年 1 2 月 2 2 日締結（具体的取組 1 6）
[共生ビジョン]当初	平成 2 2 年 5 月 1 0 日策定（3 3 事業）
第 1 回変更	平成 2 3 年 5 月 2 3 日策定（3 5 事業）
第 2 回変更	平成 2 3 年 1 1 月 1 日策定（4 4 事業）
第 3 回変更	平成 2 4 年 4 月 2 日策定（4 7 事業）
第 4 回変更	平成 2 5 年 4 月 2 4 日策定（3 3 事業）
第 5 回変更	平成 2 6 年 4 月 1 日策定（3 3 事業）
[事業進捗]	平成 2 5 年度は、2 8 事業に取り組んだ。（第 4 回変更共生ビジョン 3 3 事業の内）

3 推進体制

・みのかも定住自立圏構想共生ビジョン懇談会

[役割]共生ビジョン事業進捗状況の確認、連携方法の検討、共生ビジョンの見直しの承認

[委員]懇談会 2 8 名（8 市町村の住民、民間事業者からなる組織）

ワーキンググループ会議	安心・安全向上ワーキンググループ	1 0 名
	食文化・産業振興ワーキンググループ	1 0 名
	人口・交流拡大ワーキンググループ	8 名

[会議] 3 回

[謝礼]報償費

・みのかも定住自立圏推進本部

[役割]共生ビジョン事業の実現に向けた目標・計画の確認・承認と事業改善指導、共生ビジョン事業進捗状況確認・改善指導、連携方法の検討・指示、共生ビジョンの見直し改善指導、懇談会への報告

[委員]本部長、副本部長、本部員 5 名

[会議] 5 回

・ みのかも定住自立圏推進対策プロジェクトチーム

[役割]共生ビジョン事業の実現化（目標設定・計画・実行）、共生ビジョン事業進捗管理シートの作成、周辺町村職員・事業者との連携、共生ビジョンの見直し

[委員] 30 名（33 事業）

[会議] 2 回

・ 美濃加茂市・加茂郡町村連絡会議

[役割]事業内容、進捗状況の情報の共有化

[委員]美濃加茂市・加茂郡町村の定住自立圏事業担当課長、担当者

[会議]課長会議 3 回 担当者会 5 回

・ 補助金審査委員会

[役割]みのかも定住自立圏具体的取組事業補助金に係る計画書の内容審査

[会議] 1 回

4 研修会・説明会

・ みのかも定住自立圏研修会

[目的] 第 2 次ビジョン策定に向けて、市民や企業と協働する具体的な方法、民間の力を最大限に活用する方法を研究すること

第 1 回 武雄市の行政運営について

[対象] 圏域市町村職員

[講師] 武雄市職員 三宅敏宏 氏

第 2 回 中山間地域のまちづくりについて

[対象] 圏域市町村職員 まちづくり協議会

[講師] 古川ちいきの総合研究所 古川大輔 氏

第 3 回 実践！田舎力小さくても経済が回る 5 つの方法

[対象] 圏域市町村職員、ビジョン懇談会委員 地域づくり団体関係者等圏域住民

[講師] 食総合プロデューサー 金丸弘美 氏

第 4 回 定住自立圏構想の未来について

[対象] 圏域市町村長、圏域市町村職員

[講師] 総務省地域力創造グループ 地域自立応援課長 馬場竹次郎 氏

第 5 回 地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～

[対象] 圏域市町村職員、ビジョン懇談会委員 地域づくり団体関係者 一般圏域住民

[講師] 柳谷（やねだん）自治公民館長 豊重哲郎 氏

・ 出前講座～みのかも定住自立圏構想について～

加茂高校 1 クラス 40 名

東濃高校 3 年生 9 名

5 主な歳出

平成 25 年度は各事業の担当課において予算化した。

このため、定住自立圏推進室にて執行した事業のみ掲載する。

・ 定住自立圏事業推進に関すること

懇談会委員報酬 250 千円

研修会講師謝礼（報償費） 825 千円

総務省協議・講師費用弁償ほか（旅費） 238 千円

定住自立圏専用ホームページ管理運営委託料 290 千円

かも丸リビング作成（３回発行）委託料	１，３３３千円
みのかも定住自立圏圏域イメージ調査作成委託料	１，３６５千円
・みのかも定住自立圏つながる事業に関すること	
選考委員報酬（報償費）	１０５千円
つながる事業支援委託料	１，００８千円
つながる補助金（１４事業）	８，３９０千円

[事業の概要]

暮らしに必要なサービスの担い手である民間の方々の意欲と発想を積極的に引き出し、つなげ、継続的に活動することを応援していく仕組み。住民・事業者の方々から、問題の解決につながる意欲的な事業を募集し支援を行った。

- ・対象事業 みのかも定住自立圏共生ビジョンに掲げる事業

- ・補助の種類

A 社会貢献サービス型

事業の例 独居老人の見守りボランティア活動、支援など

補助金額の上限 対象経費の９／１０（限度額２０万円）

２年目は３／４（限度額１５万円）

３年目は１／２（限度額１０万円）

B ソーシャルビジネスはじめる型

事業の例 地域特産品開発・販売事業など

補助金額の上限 対象経費の９／１０（限度額２００万円）

２年目は３／４（限度額１５０万円）

３年目は１／２（限度額１００万円）

- ・圏域市町村は、美濃加茂市、坂祝町、川辺町、富加町、七宗町、白川町、八百津町、東白川村にて実施

[実績]

- ・４月８日から事業受付、説明会参加５４名、勉強会参加３５名、事前相談会８回、プレゼン相談会７回
- ・応募数 １６事業
- ・選考会（公開プレゼン） １４事業
- ・実施事業 １４事業に対し補助採択

団体名	事業名	事業費 補助額 単位：千円	事業の概要
ギター・マンドリン音楽サークル（ひまわり）	ギター・マンドリン音楽サークル（ひまわり）	２２３ １００	福祉施設や幼稚園のイベントなどで、ギター・マンドリンの演奏を行い、住民にホッとできる憩いの時間と空間を提供する。
多文化共生アグリ交流グループ	農業と食を通じての多文化共生	１６０ １１８	ブラジルなど外国原産の野菜を日本人と外国人が共同で生産。あわせて調理方法なども研究し、食と農業を通じた多文化共生・交流を図り、地域で顔の見える関係をつくる。

川辺町きれいにしよう会	川辺ダム湖＆湖岸道路クリーンアップ作戦	1 6 1 1 4 4	飛驒川、川辺ダム湖周辺を地域の観光資源としてとらえ、地域住民参加型の清掃事業を展開する。事業を通じて飛驒川の大切さを訴え、ふるさとを愛する気持ちを培う。
センチュリーブライダル美濃加茂	独身男女の出逢いの場を提供することによる少子化対策	2 0 5 1 2 0	圏域住民の独身男女の結婚意識調査などを実施。婚活イベントやセンスアップセミナーを開催し、地域で暮らす男女に出会いの場を提供し、その後のサポートも行う。定住促進をはかる。
きそがわ日和実行委員会	きそがわ日和 2 0 1 3	7 1 2 7 5	中山道太田宿を会場に地元作家と白い素焼きの風鈴を作るワークショップや作品展示を開催。観光資源を創出し、来訪者の増加をはかる。
みのかも風の会	休耕地活用による地域活性化	1 4 7 0	休耕地を活用してもち米、大豆などを生産。大豆から味噌の生産に挑戦する住民グループの活動。耕作放棄地の解消と新しい特産品の開発を試みる。
ぼちぼちや	ぼちぼちや（モロヘイヤ・里芋を活用した地域特産品開発事業）	1, 8 4 7 1, 4 1 1	主にモロヘイヤを栽培して圏域内加工所に出荷。乾燥された粉末を購入・調理して、地域の農産物と合わせて五平餅などを生産。地元の直売店「ぼちぼちや」や地域イベントでの販売を試みる。
『福地そば』の会	耕作放棄地の再生利用及び環境美化	1, 9 7 9 1, 4 4 3	耕作放棄地を活用して地域住民により「そば」の生産を通じて、地域コミュニティの醸成と環境保全を進め、イベントを開催することにより来訪者の増加をはかる。「そば」をキーにした地域活性化への取り組み。
加茂野農水産加工グループ	地元の農村資源を活用した新しい特産品の研究開発	1, 3 4 4 9 9 1	水田を活用してホンモロコの養殖とマコモタケの生産に取り組む。新しい水田の活用による新しい特産品の開発に挑戦。地域イベントなどでの販売を行う。
歩好里人 編集室	みのかもフリーペーパー歩好里人による地域活性化	2, 0 7 5 1, 5 0 0	フリーペーパー「歩好里人」（ほっこりと）の編集と発行。みのかも圏域の魅力を発信する地域情報誌として、圏域のコミュニケーションを育む。
フォレスト 8 0 2	バイオマス発電用間伐材の集荷による地域活性化	7 5 2 6 7 6	豊かな森林環境を整えるため、住民を巻き込んだ間伐材の有効活用を図る。バイオマス発電所の活用を目指し、間伐材の集荷と運搬のモデルを構築する。

可茂森林組合	里山未利用地の森林空間再生事業	1, 120 1, 000	里山未利用地の有効活用を図るモデル事業を平成記念公園未利用地で展開する。地域の農林高校や森林アカデミーとタイアップし、間伐材を活用したログハウスの建築や里山を活用したソフト事業を進め、圏域内外の来訪者が集う憩いの場を創造する。
六調会	雅楽による文化、観光創出での地域活性化	1, 412 500	雅楽を活用して地域活性化をはかる。雅楽技術の向上と各種イベントでの雅楽演奏などのほか、木曽川灯籠流しなど、オリジナルイベントを開催する。
こどものアトリエ「NU」	「感性を育む」体験型教室事業	418 312	子どもたちを対象としたものづくり（縫製・デザイン）教室。特に子どもの自由な発想と想像力を活かした教室の運営を行う。外国人住民にも感性教育の機会を提供する。

- つながりの場（実施団体代表者による交流会）3回
- 伴走者会議（Bソーシャルビジネスはじめる型の伴走者による交流会）2回
- 専門家（中小企業診断士）による個別相談会8回

項	02	徴税費	253, 167千円
目	01	税務総務費	165, 453千円

- 固定資産評価審査委員会の構成 委員3人（任期3年）
- 固定資産評価審査委員会の開催
 - ・第1回固定資産評価審査委員会の開催（5月1日）
- 固定資産評価審査委員会委員の研修
 - ・固定資産評価審査委員会運営研修会（8月22日 名古屋市）
- 主な事業の執行状況
 - ・固定資産評価審査委員報酬 18千円
 - ・固定資産評価審査委員旅費 8千円
 - ・固定資産評価審査委員研修会負担金 6千円

目	02	賦課徴収費	87, 714千円
---	----	-------	-----------

- 市民税

市民税の課税に当たっては、税務署と連携を密にして申告指導を実施し、公平公正な適正課税に努めた。

1 個人市民税の課税状況

項 目	課 税 対 象 人 数 （ 人 ）						増 減
	均等割のみ	所得割のみ	均等割と 所得割	所得割のうち 退職所得分	計	前年度計	

普通徴収	1,570	392	9,555	—	11,517	11,486	31
特別徴収	630	244	14,409	(244)	15,283	14,954	329
年金特別徴収	779	261	2,947	—	3,987	3,763	224
計	2,979	897	26,911	(244)	30,787	30,203	584

※ 徴収方法が重複する者（普徴と特徴、普徴と年徴、特徴と年徴、普徴と特徴と年徴）の課税対象人数はそれぞれの徴収項目で計上

※ 納税義務者：27,275 人（前年度：26,859 人）

2 法人市民税の課税状況（件）

均等割のみ	均等割と法人税割	平成 25 年度計	前年度計	増 減
816	435	1,251	1,282	△31

○ 固定資産税

税の適正かつ公平な負担と均衡のとれた課税を行うため、異動修正業務、現況調査等に万全を期した。償却資産は、申告制のため税務署調査を実施するなど新規該当者の申告漏れ防止と適正課税に努めた。

1 固定資産（土地）システム評価業務 4,284 千円

平成 27 年度の固定資産税の評価替えに向けて、平成 24 年度から 3 カ年にわたって評価替作業をシステム評価の手法により行うもので、状況類似地域の区分や標準宅地の選定、路線価の付設等の見直しを中心とした業務を行い、土地評価業務の適正かつ公平な課税を図るため、土地の現状資料の全面的な見直しを行う業務を推進した。

2 標準宅地の時点修正に関する業務 2,240 千円

固定資産税における土地の価格については、基準年度の価格を 3 年間据え置くことが原則であるが、地価が下落している場合には、毎年 7 月 1 日現在の価格を下落率により求めることができる特例措置を設けている。この業務では、平成 26 年度の評価額を算定するために、全標準宅地 237 ポイントの平成 24 年 7 月 1 日から平成 25 年 7 月 1 日までの時点修正率を求めるものである。前年度まで地価は微少ではあるが下落を続けていた。本年度の適正な評価を行うため 1 年間の下落による時点修正率を求め、平成 26 年度評価額算出のための業務を推進した。

3 固定資産現況調査（異動修正）業務 2,730 千円

平成 25 年中の土地及び家屋の異動内容を、法務局からの異動通知書や現地調査から得られた資料をもとに、地番図及び家屋図データ等として変換を行い、地理情報システムの情報を更新することにより、土地及び家屋の現況を正確かつ効率的に把握し、適正かつ公平な課税を行うための業務を推進した。

4 固定資産（土地）評価替えによる標準宅地の鑑定評価業務 13,326 千円

毎年評価の見直しをすることは実務上困難なため、地方税法第 341 条第 6 号で基準年度が定められており、3 年に 1 度の評価の見直しをすることとされている。平成 27 年度はその基準年度に当り、価格調査基準日である平成 26 年 1 月 1 日現在の評価額を求める必要があり、全標準宅地 237 ポイントの鑑定評価業務を推進した。

5 固定資産鑑定評価（ゴルフ場近傍山林価格）業務 672 千円

上記と同様に、ゴルフ場の評価についても平成 27 年度にその評価額を見直す必要がある。ゴルフ場の評価は、ゴルフ場の取得価額に造成費を加算した価額を基準とするとされているが、取得価額または造成費が不明の時は、付近の土地の価額または最近の造成費から評定した価額とすることができる。そのため、近傍の山林価格を求め適正かつ公正な評価を行うための業務を推進した。

6 家屋評価システム事業（家屋評価計算システム賃貸借及び保守業務） 665 千円

家屋の評価額を固定資産評価基準に沿ったシステムでパソコン入力及び計算することにより、

評価時間の短縮及び適正評価の向上を推進した。

7 課税状況

税 目		課 税 面 積 (㎡)		納税義務者数 (人)	
		平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度
固定資産税 都市計画税	土 地	43,426,444	43,346,468	32,327	31,998
	家 屋	39,265,991	39,209,999	15,356	15,199
	償却資産	4,160,453	4,136,469	16,248	16,068
国有資産等市町村交付金及び納付金		-	-	723	731
計		-	-	3	3
計		43,426,444	43,346,468	32,330	32,001

8 新築家屋等の評価実績

区 分		棟 数 (棟)		床 面 積 (㎡)	
		平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度
木 造	新 築 分	267	295	32,594	36,480
	増 築 分	9	9	413	252
	小 計	276	304	33,007	36,732
	減 少 分	139	125	10,245	8,656
非 木 造	新 築 分	57	65	9,793	13,018
	増 築 分	2	1	146	5
	小 計	59	66	9,939	13,023
	減 少 分	57	68	8,835	6,047
新・増築分計		335	370	42,946	49,755
減 少 分 計		196	193	19,080	14,703

9 償却資産の価格等に関する調

区 分	課税標準額 (千円)		納税義務者数 (人)	
	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度
市長が価格を決定したもの	30,429,733	32,398,954	723	731
知事が価格を決定したもの	73,096	70,699	1	1
総務大臣が価格を決定したもの	13,678,398	13,642,678	10	10
計	44,181,227	46,112,331	734	742

○ その他市税の課税状況

1 軽自動車税

区 分	課 税 台 数 (台)	
	平成25年度	平成24年度
原動機付自転車	2,132	2,252
農 耕 作 業 車	452	461
軽 自 動 車	17,275	16,903
小 型 特 殊 車	161	166
二輪の小型自動車	749	753
計	20,769	20,535

2 市たばこ税

製造たばこ売渡本数	平成25年度 (千本)	平成24年度 (千本)
	76,010	77,756

3 都市計画税

区 分	課 税 面 積 (㎡)		納 税 義 務 者 数 (人)	
	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度
土 地	14,714,000	14,606,000	15,218	15,062
家 屋	4,160,452	4,136,469	16,248	16,068
計	18,874,452	18,742,469	31,466	31,130

○ 収税関係

市税の滞納者に対して督促・催告等を段階的に行い、自主納税を促すとともに、催告後も連絡・納付のない滞納者については財産調査の上、預金、給与、不動産等の滞納処分（差押）を実施した。

1 市税の収納状況

(単位：千円、%)

区 分	現年度			滞納繰越			合 計		
	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
平成25年度	7,930,319	7,798,603	98.3	583,758	140,907	24.1	8,514,077	7,939,510	93.3
平成24年度	7,702,149	7,554,315	98.1	702,558	172,496	24.6	8,404,707	7,726,811	91.9

2 文書催告の実施状況

区 分	件 数
督促状	17,957
催告書・差押予告書	4,917

3 滞納処分実施状況

区 分	件 数	金 額 (千円)
預貯金	270	17,051
給 与	57	10,505
その他	34	15,091
計	361	42,647

○ その他の主な歳出

還付及び還付加算金

22,632千円

○ 主な不用額

役務費

1,264千円

委託料

3,852千円

償還金利子及び割引料

47,368千円

項	03	戸籍住民基本台帳費	82,364千円
目	01	戸籍住民基本台帳費	82,364千円

○ 市民課の業務は、住民票、戸籍等の作成管理など、住民の基本的な権利義務の発生や身分事項の変更などに関わるものであり、全ての事務処理にあたっては、関係法令などに基づいており、最も正確かつ迅速な事務処理が要求される。そのため、市民課では、システム機器の定期的な更新や保守等を行い、個人情報の適正管理と迅速な事務処理及び親切丁寧な対応に心がけ、市民サービスの向上と事

務の効率化を継続的に図っている。

○ 主な事業の執行状況

1 委託料

住基ネット・公的個人認証システム関連保守料	6 1 2 千円
住基ネットワーク関連機器更新業務委託料	4, 5 1 5 千円
広域交付対応設定変更	9 2 千円
戸籍総合システムブックレス保守料	3, 9 3 1 千円
戸籍副本データ連携管理ソフトウェア導入業務	1, 5 2 2 千円

2 使用料及び賃借料

住基ネットシステム関連リース料	3 9 0 千円
窓口証明発行システム機器リース料	2, 7 4 4 千円
F A X リース、コピー使用料	2 9 2 千円
戸籍総合システムブックレスソフトウェア賃借料	2, 2 6 8 千円

3 備品購入費

自動交付機用衝立	6 3 千円
----------	--------

○ 主な不用額

備品購入費	1, 2 7 5 千円
購入機器の見直しを行ったため	

項	04	選挙費	4 1, 2 1 1 千円
目	01	選挙管理委員会費	7, 3 3 9 千円

○ 平成 2 5 年選挙管理委員会の開催 2 3 回

○ 主な事業の執行状況

委員報酬	4 0 8 千円
委員旅費	1 0 4 千円

目	02	選挙常時啓発費	1 2 6 千円
---	----	---------	----------

○ 主な事業の執行状況

成人式での模擬投票用投票用紙	4 2 千円
成人式での模擬投票参加者への記念品	7 4 千円

目	03	市長選挙費	1 4, 4 5 0 千円
---	----	-------	---------------

○ 選挙の期日 平成 2 5 年 6 月 2 日 告示の日 平成 2 5 年 5 月 2 6 日

投票者数：2 0, 9 3 3 人（うち期日前投票者数 3, 6 1 8 人）

投票率：5 2. 8 6 %

○ 主な事業の執行状況

投票管理者等報酬	8 0 4 千円
圧着式はがき等用紙	4 4 7 千円
郵便料	2, 1 5 3 千円

ポスター掲示場掲示板設置管理委託	880千円
選挙対応支援業務	608千円
選挙用資材購入	636千円
選挙運動用自動車・ポスター公営費	655千円

目	04	参議院議員選挙費	15,138千円
---	----	----------	----------

- 選挙の期日 平成25年7月21日 公示の日 平成25年7月4日
投票者数（選挙区）：20,276人（うち期日前投票者数5,584人）
投票率（選挙区）：50.39%
投票者数（比例代表）：20,272人（うち期日前投票者数5,584人）
投票率（比例代表）：50.38%
- 主な事業の執行状況

投票管理者等報酬	1,167千円
圧着式はがき等用紙	447千円
郵便料	1,010千円
ポスター掲示場掲示板設置管理委託	1,709千円
選挙対応支援業務	797千円
投票所備品購入	687千円

目	05	土地改良区総代選挙費	1千円
---	----	------------	-----

- 選挙の期日 平成25年5月16日 告示の日 平成25年5月10日
- 消耗品費 1千円

目	06	市議会議員補欠選挙費	4,157千円
---	----	------------	---------

- 選挙の期日 平成25年6月2日 告示の日 平成25年5月26日
投票者数：20,894人（うち期日前投票者数3,594人）
投票率：52.76%
- 主な事業の執行状況

投票管理者等報酬	26千円
選挙用資材購入	529千円
郵便料	603千円
ポスター掲示場掲示板設置管理委託	840千円
選挙対応支援業務	392千円
選挙運動用自動車・ポスター公営費	613千円

項	05	統計調査費	3,628千円
目	01	統計調査総務費	155千円

- 統計書の作成
市勢の推移と現状を明らかにするため、「美濃加茂市統計書」を作成。その結果を市ホームページに掲載。また、美濃加茂市を発信する資料として「統計から見た美濃加茂市の姿」を作成した。

- ・美濃加茂市統計書 70冊
- ・統計からみた美濃加茂市の姿 2, 200部

目	02	指定統計調査費	3, 473千円
---	----	---------	----------

○ 主な統計調査の実施状況

1 学校基本調査

調査基準日 平成25年5月1日

対 象 17箇所

学校教育行政に必要な学校に関する基本事項を明らかにする。

2 住宅・土地統計調査

調査基準日 平成25年10月1日

対 象 市内全域から抽出された約1, 700世帯

指 導 員 7人 調 査 員 45人

住宅及び土地の保有状況、住宅に居住している世帯の実態を調査し、耐震化や防火性などの住宅性能や東日本大震災による転居等に関する実態を明らかにする。

3 工業統計調査・県輸出関係調査

調査基準日 平成25年12月31日

対 象 製造業を営む事業所

指 導 員 1名 調 査 員 12名

製造業を営む事業の生産要素、生産活動の成果等を調べ、工業の実態を明らかにし、工業に関する基礎資料を得る。

項	06	監査委員費	12, 782千円
目	01	監査委員費	12, 782千円

○ 監査委員の構成

識見委員 1人（任期4年）

議選委員 1人（議員の任期）

○ 監査等の実施

1 例月現金出納検査及び随時監査（毎月）

（1）一般会計及び特別会計

（2）公営企業会計（水道・下水道事業会計）

2 決算審査（7月から8月）

（1）一般会計及び特別会計

（2）健全化判断比率及び資金不足比率の審査

（3）公営企業会計（水道・下水道事業会計）

3 定期監査（7月から11月）26課、9出先機関

4 工事監査（1月）

・信友2急傾斜地崩壊対策工事

・かわまち遊歩道（太田橋下）整備工事

5 財政援助団体等の監査（12月）

- ・美濃加茂商工会議所
- ・めぐみの農業協同組合（堂上蜂屋柿新集荷場整備事業）

○ 主な事業の執行状況

- | | |
|-----------------|----------|
| ・ 監査委員報酬 | 9 0 1 千円 |
| ・ 監査委員旅費 | 4 6 千円 |
| ・ 工事監査委託料 | 9 6 千円 |
| ・ 全国都市監査委員会等負担金 | 4 2 千円 |

款	03	民生費	5, 630, 120千円
項	01	社会福祉費	2, 825, 909千円
目	01	社会福祉総務費	469, 335千円

- 福祉事業に対する助成状況
 - 社会福祉協議会活動補助金 26, 153千円
 - 民生児童委員協議会活動補助金 3, 264千円
- 民生児童委員の活動状況（相談・支援件数）
 - 在宅福祉関係 132件 子どもの教育・学校関係 59件
 - 子どもの地域生活関係 266件 健康・保健医療関係 50件
 - 日常的な支援関係 193件 生活費関係 46件 その他 252件

現在、民生児童委員100名により地域福祉活動を展開。平成25年度実績は家庭訪問・連絡活動を中心に訪問回数は延べ7, 133件を数え、その他に関係機関との連絡調整などに年間3, 059件の活動を行った。
- エリアサービスマップ運営保守事業 378千円
- 国民健康保険会計繰出金 339, 995千円

目	02	福祉会館費	44, 449千円
---	----	-------	-----------

- 総合福祉会館が地域福祉活動の拠点として幅広く活用されるよう、美濃加茂市社会福祉協議会を指定管理者として効果的かつ効率的な運営に努めた。
 - また、高齢者をはじめ障がい者や幼児、ボランティア関係者などが快適かつ安全に利用できるよう、必要な維持補修工事等を実施した。
 - 指定管理料 36, 000千円 維持補修工事 6, 713千円 修繕料 734千円

○ 平成25年度 総合福祉会館入場者数

月	一般入場者	その他入場者	総入場者	健康相談件数
4	4, 359	2, 828	7, 187	404
5	4, 345	3, 186	7, 531	406
6	4, 498	2, 789	7, 287	410
7	5, 292	2, 888	8, 180	448
8	4, 856	2, 778	7, 634	422
9	4, 343	2, 679	7, 022	405
10	4, 079	2, 747	6, 826	399
11	5, 517	3, 128	8, 645	395
12	3, 944	2, 605	6, 549	369
1	3, 959	2, 215	6, 174	388
2	4, 121	3, 048	7, 169	383
3	4, 727	2, 862	7, 589	388
合計	54, 040	33, 753	87, 793	4, 817

目	03	老人福祉費	579,447千円
---	----	-------	-----------

○ 高齢者の状況 (単位:人)

区 分	人 口	65 歳以上人口	高齢化率(%)	独居老人
H25.4.1 現在	55,018	11,115	20.20	596
H26.4.1 現在	55,185	11,607	21.03	599

* 独居老人数は民生委員の把握数

○ 高齢者支援福祉サービス 35,467千円

高齢者に、健康維持や生きがいづくり・仲間づくりの場を提供するなど積極的な社会参加に対する支援を行うとともに、安全な生活を送るために必要な日常生活用品の給付を行った。

生きがい活動支援通所事業 花時計（加茂野町） 慈恵会（中富町）	利用延回数 6,524回	事業費 20,706千円
安心生活用品給付事業	シルバーカー 2件 火災警報器 6件 電磁調理器 2件 家具転倒防止器具 2件	事業費 121千円
緊急通報システム整備事業	利用者 21人	事業費 1,105千円
老人クラブ活動補助	44単位クラブ 会員 1,984人 高齢者福祉大会 文化活動事業・スポーツ事業・ 健康農園運営事業・友愛訪問	補助金 2,435千円 単位クラブ 1,760千円 市連合会 429千円 文化活動 246千円
シルバー人材センター補助	高齢者就業対策事業 受注件数: 2,746件	補助金 11,100千円

○ 老人保護措置（H26.3.31現在） 25,444千円

養護老人ホーム	入所者数 11人	さわやか日本ライン 他3施設
---------	----------	----------------

○ ひとり暮らし高齢者等への生活支援 3,084千円

事業の名称	助成等の件数	助成金額・配布枚数
上水道料金助成	268件	1,857,000円
下水道料金助成	165件	940,000円
し尿取扱料金助成	独居老人分 53件 障がい者分 9件	225,209円 62,263円
ごみ袋等の配布	独居老人分 272件 障がい者分 42件	22,606枚 4,071枚

○ 介護保険会計繰出金（人件事務費） 113,118千円

○ 介護保険会計繰出金（介護給付費・地域支援事業費） 385,986千円

○ 介護・自立支援審査会会計繰出金 10,710千円

○ 主な不用額 3,482千円

小事業名	予算額	決算額	不用額	不用理由
老人保護措置事業	28,916	25,434	3,482	死亡による入所者数の減少

目	04	障がい者福祉費	28,336千円
---	----	---------	----------

○ 身体障害者手帳の交付の状況 (H26.3.31現在)

身体障害者手帳所持者は1,742名で、このうち肢体不自由障がい者が59.7%を占めている。

(単位：人)

区 分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
人 数	522	237	415	405	91	72	1,742

○ 療育手帳交付の状況 (H25.3.31現在) (単位：人)

区 分	A	A1	A2	B1	B2	計
人 数	14	48	59	101	104	326

※区分 A=A1・A2に分ける前の重度 A1=最重度 A2=重度 B1=中度 B2=軽度

○ 精神障害者保健福祉手帳交付の状況 (H25.3.31現在) (単位：人)

区 分	1級	2級	3級	計
人 数	63	197	25	285

※区分 1級=日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度

2級=日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度

3級=日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度

○ 障害福祉サービス事業所(ひまわりの家)の状況

施設管理費

371千円

通所者 (H26.4.1現在)

(単位：人)

身体障がい者	知的障がい者	重複障がい者	計	
			H25	H24
2	15	2	19	20

○ 障害福祉サービス事業所(太陽の家)の状況

運営補助金

1,135千円

通所者 (H26.4.1現在)

(単位：人)

身体障がい者	知的障がい者	重複障がい者	計	
			H25	H24
0	12	3	15	21

○ 小規模作業所「ひかりの家」へ通所する障がい者の家族会が行う懇談会等の事業に対する運営補助

85千円

○ 特別障害者手当等扶助費

21,311千円

○ ニュー福祉機器の助成

35千円

身体障がい者の社会活動を支援するため、先進的な福祉機器の購入費の一部を助成

	助成件数	給付額(千円)
H25	1	35
H24	2	61

目	05	自立支援費	673,106千円
---	----	-------	-----------

○ 重度心身障がい者タクシー代等助成事業

在宅の重度心身障がい者（身障３級以上、知障Ａ，Ａ１，Ａ２、精神２級以上）が移動をするため、タクシー及び自動車を利用する場合にその費用の一部を助成した。

（５００円の移動支援券を年間最大３１枚交付）

	移動支援券交付者数	移動支援券利用枚数	助 成 額
H 2 5	3 4 5 名	8, 9 6 8 枚	4, 4 8 4 千円
H 2 4	3 3 4 名	9, 0 5 2 枚	4, 5 2 6 千円

○ 血液透析患者交通費助成事業

じん臓機能障がい者が血液透析療法を受けるための通院をする場合に、その通院に要する交通費の一部を助成した。（５００円の交通費助成券を年間最大３１枚交付）

	交通費助成券交付者数	交通費助成券利用枚数	助 成 額
H 2 5	5 2 名	1, 3 4 4 枚	6 7 2 千円
H 2 4	4 8 名	1, 3 5 4 枚	6 7 7 千円

○ 更生医療の給付状況 1 2, 1 4 5 千円

身体上の障がいを軽減し、日常生活を容易にするための医療の給付を行った。

	対 象 件 数		公 費 （円）		自 費 （円）	
	H24	H25	H24	H25	H24	H25
入院医療費	8 件	22 件	1, 433, 252	8, 986, 507	15, 000	106, 433
入院外医療費	156 件	191 件	7, 640, 750	3, 158, 488	937, 814	875, 834

○ 補装具交付及び修理等の給付状況

	交付件数	修理件数	合 計	給付額（千円）
H 2 5	5 0	4 0	9 0	1 2, 0 8 6
H 2 4	5 7	2 8	8 5	1 2, 1 2 9

○ 日常生活用具の給付状況

	給付件数	給付額（千円）	給付対象機器
H 2 5	3 1 4	9, 7 9 7	ストマ、紙おむつ等
H 2 4	3 2 9	1 0, 5 7 0	ストマ、紙おむつ等

○ 手話奉仕員等の派遣状況

	手話奉仕員	手話通訳者	要約奉仕員	事業費（千円）
H 2 5	1	7 0	1 8	4 6 5
H 2 4	1	5 9	2 1	5 6 5

○ 自立支援医療費助成事業 3, 2 4 7 千円

精神障がい者の通院医療費の一部の助成を行うことにより、精神障がい者の健康の向上に寄与し、もって福祉の増進を図ることを目的とする。

○ 自立支援費介護給付事業 4 2 3, 1 7 1 千円

種 別	延べ利用者	給 付 額（千円）
居宅介護	5 4 4	2 7, 5 6 1
重度訪問介護	1 4	2, 0 8 7
同行援護	3 2	1, 5 5 2
療養介護	3 3	8, 5 6 3
行動援護	2 8	5 6 9
放課後等デイサービス	9 5	8, 1 9 1
短期入所	2 5 1	1 0, 7 0 4
生活介護	1, 1 6 7	2 2 2, 4 1 9
共同生活介護（ケアホーム）	2 0 4	3 0, 0 8 3
施設入所支援	5 5 9	6 4, 0 6 5

児童発達支援	1 2 0 7	2 9, 8 4 4
医療型児童発達支援	3 7	1, 4 1 3

- 自立支援費訓練等給付事業 1 2 0, 9 0 8千円

種 別	延べ利用者	給 付 額 (千円)
共同生活援助 (グループホーム)	5 2	1, 9 4 7
就労支援	1 0 5 0	1 0 2, 5 3 9

- 日中一時支援事業 2 8, 6 2 5千円

- 相談支援事業及び地域活動支援センター事業

5ヶ所の事業所へ委託し、実施 9, 9 1 7千円

- デイサービス事業 1 0, 5 4 2千円

- 移動支援事業 2, 8 2 3千円

- 主な不用額 1 5, 5 6 7千円

小事業名 (節名)	予算額	決算額	不用額	不 用 理 由
特障害手当支給事業 (扶助費)	2 3, 0 1 4	2 1, 3 1 1	1, 7 0 3	実利用者が見込みより少なかったため
自立支援費介護給付事業 (扶助費)	4 2 5, 4 0 5	4 2 3, 1 7 1	2, 2 3 4	実利用者が見込みより少なかったため
自立支援費訓練等給付事業 (扶助費)	1 2 4, 8 2 7	1 2 0, 9 0 8	3, 9 1 9	実利用者が見込みより少なかったため
地域生活支援事業 (扶助費)	6 0, 2 6 0	5 7, 5 4 3	2, 7 1 7	実利用者が見込みより少なかったため
精神障がい者通院費助成事業	4, 4 0 0	3, 2 4 7	1, 1 5 3	実利用者が見込みより少なかったため
補装具費助成事業 (扶助費)	1 6, 0 0 0	1 2, 1 5 9	3, 8 4 1	実利用者が見込みより少なかったため

目	06	福祉医療費	5 3 4, 2 5 5千円
---	----	-------	----------------

- 乳幼児 (中学生まで)、母子・父子家庭、重度心身障がい者の医療費を助成し、福祉の増進を図った。

- 福祉医療費の助成支給状況 5 1 3, 2 8 0千円

項 目	対象者 (人)		受診延べ件数 (件)		助成額合計 (千円)	
	2 4 年度	2 5 年度	2 4 年度	2 5 年度	2 4 年度	2 5 年度
乳幼児	8, 737	8, 726	135, 610	133, 861	256, 125	250, 842
母子家庭	1, 032	962	13, 126	13, 269	31, 095	31, 772
父子家庭	54	42	591	430	1, 422	1, 073
重度心身障がい者	1, 650	1, 657	47, 860	49, 109	229, 745	229, 593
合 計	11, 473	11, 387	197, 187	196, 669	518, 387	513, 280

- 主な不用額

事 業 項 目	不用額 (千円)	理 由
福祉医療助成事業	3 6, 8 1 6	見込みを下回った (戻入が多かった) ため

目	07	国民年金費	10,207千円
---	----	-------	----------

国民年金市町村法定受託事務・協力連携事務に基づき、国民年金被保険者第1号者の資格取得、免除申請、裁定請求等の各種届出を受付けし、日本年金機構へ進達した。

資格取得届・種別変更届	1,235件
資格喪失届	193件
住所変更・氏名変更届	1,319件
年金手帳再交付届	32件
免除申請関係届	2,014件
付加保険料申出	45件
裁定請求等受給関係届	104件
死亡届	20件
口座振替・クレジット納付申出	104件
その他	187件
合計	5,253件

○ 主な事業の執行状況

電話回線使用料、郵便料

117千円

目	08	後期高齢者医療費	486,774千円
---	----	----------	-----------

○ 主な事業の執行状況

療養給付費負担金

381,194千円

後期高齢者医療会計繰出金

105,580千円

項	02	児童福祉費	2,565,614千円
目	01	児童福祉総務費	74,399千円

○ 子育て支援事業

4,696千円

関係機関などの子育て情報の一元化、子育て支援施策の連携・調整を図り、ネットワークを構築することで、広範な子育て支援事業を展開した。

- ・ いろいろな遊びを通じて、親子で触れ合う時間を過ごす「子どもフェスティバル」の開催
- ・ ホームページによる子育て情報の提供と収集、パソコンによる情報管理
- ・ B P ファシリテーター養成講座を開催し、B P プログラム進行者を養成

○ サロン

子育てに関する不安や孤立感を軽減・解消するため、親子が交流できる場を提供するため、総合福祉会館内に子育てサロン「サンサンルーム」を開設している。

また、みのかも健康の森に「すくすくルーム」、津田左右吉博士記念館に「にこにこルーム」、中部台公民館に「ぴよぴよルーム」を開設し、地元で子育て中の親子の育児相談や交流の場の提供を行った。

年間利用実績

(人)

名 称	開設場所	開設日時	利用者数			
			H 2 5		H 2 4	
			日数	平均		
サンサンルーム	総合福祉会館	月～金 9:00～16:30 土 10:00～16:00	20,862	284	73	21,229
すくすくルーム	みのかも健康の森	月・火 10:00～15:00	1,151	91	13	1,459
にこにこルーム	津田左右吉記念館	木・金 9:00～12:00	1,900	101	19	1,266
ぴよぴよルーム	中部台公民館	水・金 9:00～12:00	1,184	98	12	1,214

○ 母子家庭等支援事業 9, 9 9 7 千円

母子自立支援員を設置し、母子家庭等の生活一般の相談に応じ、経済・教育など諸問題の解決を支援し、自立に必要な指導を行った。

また、母子寡婦福祉会への助成や、母子寡婦福祉資金の貸付制度事務を行い、経済的自立と生活意欲の助長を図った。

母子自立支援員 相談件数 (件)

区 分	生活一般（家庭 紛争、就労等）	児童（養育、教 育等）	経済的支援・生 活援護（福祉資 金、児童扶養手 当等）	その他（母子福 祉施設、母子生 活支援施設等）	合 計
件 数	2 6 9	2 0 2	1 1 0	1 8	5 9 9

外部団体への助成 (円)

区 分（補助金等の名称）	補助額
美濃加茂市母子寡婦福祉会活動事業補助金	5 0, 0 0 0

○ 主な不用額

事業項目	不用額（千円）	理 由
扶助費	3, 4 2 3	高等技能訓練促進費の申請者が当初見込み（4名）より3名減の1名しかいなかったため。

○ ファミリーサポートセンター事業 1, 2 8 8 千円

地域の子育てに関する相互支援活動を実施し、既存の保育サービスでは対応しきれない要望に応えることで、子育てに適した環境づくりに努めた。

本事業の実施により、子育てボランティアの育成が図られた。また、利用促進のためにファミリーコンサートを開催し、新規会員の拡大に努めた。

年間利用実績 (件)

利 用 形 態	H 2 5	H 2 4
学童の放課後の預かり	2 2 1	2 4 6
保育園・学童などの登降園時のサポート、預かり	8 0	1 8 7
保護者等の外出時などの援助	1 9 0	1 6 0
子どもの習い事等支援	1 0 5	1 0 1
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	9 1	9 1
その他	2 7 6	2 3 2

計	963	1,017
---	-----	-------

- 次世代育成支援行動計画策定事業 1,455千円
「子ども・子育て支援事業計画」を策定するための基礎調査を行った。

○ 主な不用額

事業項目	不用額（千円）	理 由
委託料	3,169	入札差金

- 子ども・子育て会議運営事業 60千円
子ども・子育て支援会議を開催し、子育て支援計画の策定について、意見を伺った。
第1回：9月6日10名出席、第2回：12月28日10名出席

- 児童虐待予防対策事業 374千円
児童虐待を未然に防止するため、家庭児童相談室を中心とした相談・指導業務の実施や関係機関との連携を図った。また、広報活動や児童虐待防止講演会を開催し、市民への児童虐待防止への啓発を実施した。

1 家庭児童相談

児童福祉の向上のため、家庭児童に関する相談業務や指導業務を行い、健全な児童育成に努めた。特に最近増加傾向にある児童虐待やドメスティックバイオレンスに係る相談に対応した。

家庭児童相談室 新規相談・対応件数

(件)

相談経路 相談種別		児童 相談 所	市 の 機 関	児 童 福 祉 施 設 等	医 療 機 関	警 察 等	学 校 等	近 隣 知 人	そ の 他	計
児童 虐 待	身 体 的 虐 待	1	0	0	0	0	0	1	0	2
	性 的 虐 待	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	心 理 的 虐 待	0	0	2	0	0	0	2	0	4
	保護の怠慢等(レグレクト)	3	2	0	2	0	6	7	0	20
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	8	8

2 要保護児童対策地域協議会

平成18年度に設置した本協議会において、児童虐待などへの対応を組織的に行い、児童への援助や支援を円滑かつ迅速に行った。

・ 活動内容	代表者会議	年1回開催
	実務者会議	3回開催
	支援会議	月1回開催
	課内会議	毎週開催

3 児童虐待防止の啓発活動

関係機関と連携し、児童虐待防止のチラシ等を配布する啓発活動や「オレンジリボンたすきリレー」への参加、児童虐待防止講演会の開催などを通じ、市民の児童虐待防止への意識高揚を図

った。

- ・活動内容 中濃子ども相談センターと児童虐待防止の啓発活動
 - 平成25年11月1日 アピタ美濃加茂店にて実施
 - オレンジリボンたすきリレー 平成25年11月10日 美濃加茂市～関市
 - 長良川鉄道で美濃太田駅から関口駅まで乗車、関の桜学館までたすきをつないだ。
 - 「かぞくのえがお」絵画展
 - 市内の保育園の年長児を対象に、「かぞくのえがお」の絵画を募集し児童虐待防止を呼び掛けるため展示した。
 - 平成25年10月10日～20日 文化の森 展示ホールで展示
 - 児童虐待防止講演会 平成26年2月15日 市生涯学習センターにて開催

目	02	児童手当費	1, 283, 878千円
---	----	-------	---------------

○ 児童手当扶助費 1, 089, 560千円

児童手当は、生活の安定と次世代を担う子の育ちを社会全体で支援する観点から、児童を養育している人に支給している。平成24年3月の児童手当法の改正により、平成24年4月から、手当額が変更となり、また、児童を養育している方の所得が所得制限限度額以上の場合は特例給付として月額一律5, 000円支給することとなった。

＜児童一人あたりの支給額＞

- ・0歳～ 3歳未満 15, 000円
- ・3歳～小学生まで 第1、2子 10, 000円 第3子以降 15, 000円
- ・中学生 10, 000円

＜児童を養育している方の所得が所得制限限度額以上の場合の児童一人あたりの支給額＞

- ・特例給付月額一律 5, 000円

支給状況

内 容	支給対象児童数(人)	総支給額(千円)
0 歳 ～ 3 歳 未 満 児 童	18, 472	277, 080
3 歳～小学6年生(第1、2子)	52, 253	522, 530
3 歳～小学6年生(第3子以降)	6, 375	95, 625
中 学 生	17, 709	177, 090
特 例 給 付	3, 447	17, 235

○ 児童扶養手当扶助費 182, 098千円

ひとり親家庭の生活の安定と自立促進と児童の健全育成を図ることを目的として、児童を養育している者に支給している。平成25年10月の法改正により、全額支給の場合、児童1人の場合41, 140円、2人いる場合は5, 000円増、3人以上いる場合は1人増えるごとに3, 000円増で支給する。また受給者の所得により支給額は変わり、所得制限により支給されない場合もある。

支給状況

(人)

受給者数		支 給 事 由 別					支給対象児童数		
		離婚	遺棄	未婚	死亡	その他	1人	2人	3人以上
H25	386	338	2	33	9	4	216	135	35
H24	382	336	3	25	11	7	235	122	25

○ 主な不用額

事業項目	不用額（千円）	理 由
委託料	1, 2 0 6	当初見込みよりシステム保守委託料が少額であったため。
扶助費	2 1, 9 0 6	当初見込みより児童手当、児童扶養手当の対象者が少なかったため。

目	03	児童保育費	4 9 0, 2 1 3 千円
---	----	-------	-----------------

○ 民間保育園運営委託費 4 2 1, 2 6 9 千円

社会福祉法人などが児童福祉法による保育所での保育の実施を行った場合、その最低基準を維持するための費用で、給食に要する材料費（３歳以上児の主食費を除く）、保育材料費、光熱水費、人件費、施設の管理に必要な経費などを支払う。

委託状況 (３月末現在)

保 育 園 名	定員(人)	入所児童数(人)	委託金額（千円）
加茂学園	9 0	1 0 0	7 0, 5 2 9
森山学園	2 8 0	2 9 6	1 4 9, 8 4 2
たちばな保育園	6 0	6 3	8 4, 9 6 7
明応保育園	1 2 0	1 2 1	8 3, 5 9 2
市外の保育園		4 0	3 2, 3 3 9
合 計		6 2 0	4 2 1, 2 6 9

○ 主な不用額

事 業 項 目	不用額（千円）	理 由
委託料	2 8, 9 5 3	当初見込みより、保育人数が少なかったことによる委託料の減額

○ その他民間保育園に対する助成状況 6 3, 8 6 1 千円

乳児保育、延長保育などを行っている民間保育園に対して、事業の補助を行った。

助成状況

区分（補助金等の名称）	助成金額（千円）
延長保育対策事業補助金	1 6, 3 8 3
障がい児保育対策事業補助金	4, 8 1 9
保育園地域活動事業補助金	9 0 0
低年齢児年度途中受入促進事業補助金	5, 2 3 6
その他の補助金	2 5, 7 9 7
民間保育園措置対策事業補助金	2 4, 4 3 0
民間保育園備品整備補助金	1, 2 9 3
学校安全会等補助金	7 4
保育士等処遇改善臨時特例基金	1 0, 7 2 6
合 計	6 3, 8 6 1

区分（補助金等の名称）	助成金額（千円）
市保育研究協議会育成補助金	4 5 0

○ 病児・病後児保育事業 4, 6 2 6 千円

保育園などに通っている病気回復期の児童で、保護者が仕事などで保育できない小学3年生までの児童について、保育園等に代わって保育を実施する施設として、木沢記念病院で開設している病児・病後児保育園「プーさんの部屋」に委託している。

委託状況

区分（補助金等の名称）	委託金額(千円)
病児・病後児保育事業委託金	4, 6 2 6

月別利用人数 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H 2 5	3	5	12	3	3	11	9	6	9	4	8	6	79
H 2 4	3	4	5	7	6	6	1	4	9	0	2	5	52

目	04	保育園施設費	6 0 5, 0 8 1 千円
---	----	--------	-----------------

○ 公立保育園施設管理運営事業 9 4, 6 7 4 千円

公立保育園10園の修繕や備品購入、施設の維持管理に努めた。

1 保育園施設管理等委託業務

委 託 業 務 名	委託等金額（千円）
給食調理業務	5 4, 1 8 0
空調設備保守点検業務	1, 1 1 6
電算処理業務	1, 1 5 0
清掃業務	5 1 9
浄化槽維持管理業務	2 8 2
遊具保守点検	2 1 0
高架水槽保守点検業務	2 1 0
電気設備保守業務	1 3 4
厨房機器点検業務	1 0 5
消防設備保守点検業務	1 0 5
三和保育園改修工事設計業務	1, 4 4 9
その他委託業務	6 1 9
合 計	6 0, 0 7 9

2 保育園備品購入

備 品 名	購入費（千円）
カラー複合機（3園）	1, 0 2 8
冷凍冷蔵庫（2園）	1, 0 2 2
ガス高速オーブン（2園）	9 4 9
遊具	3 7 8
ポータブルアンプ（2園）	3 1 5
システムテーブル	1 8 9

おさんぽ車	178
食器籠	171
ワイヤレスアンプ	164
AEDバッテリー（2園）	160
書棚	158
キャビネット	158
冷蔵庫	105
その他備品購入	672
計	5,647

3 保育園児童検診業務 1,051千円

保育園児童の健康管理を徹底するため、年2回の健康診断を行い健康管理に努めた。

内科検診 8 医院に嘱託 H25 年度報酬額 746 千円

歯科検診 10 医院に嘱託 H25 年度報酬額 305 千円

4 保育園営繕工事業務

公立保育園10園の施設の改修工事を行い、保育施設としての最低基準を維持し、安全で円滑な保育園運営に努めた。

保育園施設改修工事

工 事 名	事業費（千円）
伊深保育園便所改修建築工事	2,216
伊深保育園便所改修管設備工事	1,470
古井第一保育園遊戯室ステージ床張替工事	357
伊深保育園便所改修電気設備工事	252
太田第二保育園保育室塗装改修工事	241
その他改修工事	55
合 計	4,591

5 その他の支出

光熱水費 13,766 千円

修繕料 4,955 千円

役務費 2,545 千円

○ 主な不用額

事業項目	不用額（千円）	理 由
委託料	4,816	入札差金

○ 各保育園事業 69,697 千円

保育園ごとに経費を配分し、それぞれの園に適した事業展開を行い、健全な児童育成に努めた。

保育園の入園状況 (3月末現在)

保育園名	定員（人）	入所児童数（人）		事業費（千円）	
		H25	H24	H25	H24
太田第一保育園	60	60	44	5,342	5,920

太田第二保育園	90	100	85	7,813	7,547
古井第一保育園	140	139	139	11,356	11,954
古井第二保育園	80	83	69	6,443	5,992
山之上保育園	70	54	46	5,248	4,974
蜂屋保育園	95	94	93	7,281	8,065
加茂野保育園	195	193	195	15,451	15,521
伊深保育園	45	28	26	2,379	2,296
三和保育園	30	11	14	1,474	1,605
下米田保育園	80	82	77	6,910	5,976
合 計	885	844	788	69,697	69,850

○ 主な不用額

事業項目	不用額（千円）	理 由
需用費（賄材料費）	1,181	給食用食材を厳選して購入したため

目	05	カナリヤの家費	43,108千円
---	----	---------	----------

○ 児童発達支援センター事業 5,620千円

言語障がい、知的障がい、視覚障がい及び肢体不自由児の療育訓練やこれらの児童に適した指導を行い、健やかな発達を促すよう努めた。

また、健康課とも連携をとりながら、早期発見・早期療育にも努めている。

通園児童数 (3月末現在)

定員（人／日）		通園児童数（人）	
H25	30	H25	107

○ 主な不用額

事業項目	不用額（千円）	理 由
委託料	4,398	事業見直しによる測量委託業務の不執行

目	06	学童保育費	68,265千円
---	----	-------	----------

○ 放課後児童健全育成事業

保護者の就労等により保育に欠ける小学1から3年生（一部4年生含む。）までの児童を対象に放課後児童クラブを開設

・開設場所 市内9箇所にて開設

（太田小、古井小、山之上小、蜂屋小、加茂野小、加茂野児童館、伊深小、下米田小、山手小）

・開設時間 学校がある日：授業終了後～午後6時30分

土曜日：午前7時30分～午後6時30分（古井小で拠点保育）

夏休み等長期の休み：午前7時30分～午後6時30分

入室状況（平成25年度実績）

（単位：人）

学 童 名	1年生	2年生	3年生	合 計	教室形態
太田小学校区放課後児童クラブ	38	34	23	95	空き教室
古井小学校区放課後児童クラブ	31	26	16	73	空き教室

山之上小学校区放課後児童クラブ	11	10	8	29	空き教室
蜂屋小学校区放課後児童クラブ	20	19	27	66	空き教室
加茂野小学校区放課後児童クラブ	19	20	18	57	空き教室
加茂野児童館放課後児童クラブ	11	15	12	38	児童館
伊深小学校区放課後児童クラブ	3	7	5	15	空き教室
下米田小学校区放課後児童クラブ	27	17	18	62	空き教室
山手小学校区放課後児童クラブ	24	36	19	79	空き教室
合 計	184	184	146	514	

※人数は、延べ人数で夏休み期間のみの申込者を含む。

○ 学童保育民間委託事業

平成25年度から、利用料収納管理以外の部分を民間委託した。ただし、初年度ということで保育指導員（嘱託員→民間社員）や事務担当者が、前例踏襲することが多く、更なる事務見直しが必要である。利用料については、原則口座振替制度を導入したため、収納関係事務において事務の合理化が図られた。

○ 主な事業の執行状況

・学童教室修繕料	344千円
・委託料（シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社中部支店）	67,662千円
・学童教室用備品購入費	208千円

○ 主な不用額

・委託料	1,189千円
------	---------

目	07	児童館費	670千円
---	----	------	-------

○ 児童館運営事務費 670千円

児童に健全な遊び場を与えることでその健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に設置された。クラブ活動や劇鑑賞会、児童館まつりなどを行い、児童の健全な育成を図るとともに、お母さんたちの交流の場、地域社会との交流の場としても活用した。

活動内容

活 動 名		実 施 日	参加者数
児童館まつり		5／25	約2,000人
夏休み講座（10種類）		計10回講座	のべ147人
キッズクラブ（調理等）		6／8、12／7	のべ29人
発育測定		毎月1回開催	平均 親子20組
もちつき会		11／30	210人
ノーバディズパーフェクト		子育て学習会	2回実施 親子19組
ママ講座	エアロビクス	6/3、11/18、2/7	のべ47人
	スクラップブック	10/7、1/21、3/5	のべ25人
その他、わんぱくクラブ、ひよこクラブ、よちよちクラブ、囲碁クラブなどを定期的に行っている。			

入館者数 (人)

年 度	幼児	小学生	学童	保護者等	合計	開設 日数	平均利 用者数
25	2,300	1,783	5,274	2,443	11,800	292	40

24	2,875	1,366	6,283	2,681	13,205	292	45
----	-------	-------	-------	-------	--------	-----	----

項	03	生活保護費	238,597千円
目	01	生活保護総務費	31,338千円

- 生活保護の動向は、社会的要因により全国的には増加傾向にある。当市は、高齢世帯の占める割合が、全体の50%となり高齢化が顕著になっている。扶助費の内訳としては、医療扶助が全体の50%を占めている。

- 被保護世帯・人員の状況 (各年度末現在)

区 分	高 齢		母 子		傷病・障がい		その他		計	
	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24
世帯数(戸)	53	46	7	7	19	16	6	23	105	92
人 員(人)	57	49	18	19	22	17	43	40	140	125

目	02	扶助費	207,259千円
---	----	-----	-----------

- 扶助費の内訳

1 生活保護

区 分	年延(世帯)	月平均(世帯)	年延(人員)	月平均(人員)	扶助費(千円)
生活扶助	1,067	88.9	1,500	125.0	68,465
住宅扶助	983	81.9	1,400	116.7	24,426
教育扶助	64	5.3	78	6.5	975
介護扶助	90	7.5	114	9.5	1,938
医療扶助	1,029	85.8	1,337	111.4	102,488
出産扶助	2	0.2	2	0.2	540
生業扶助	34	2.8	47	3.9	701
葬祭扶助	1	0.1	1	0.1	106
施設事務費	24	1	24	2.0	3,343
計	3,294	274.5	4,503	375.3	202,982

2 生活支援給付金 2,323千円

3 その他の扶助費 273千円

- 主な不用額 23,963千円

事業項目	不用額	理 由
扶 助 費	23,962千円	見込みを下回ったため

款	04	衛生費	1, 393, 621千円
項	01	保健衛生費	397, 621千円
目	01	保健衛生総務費	155, 090千円

- 健康計画推進のため、休日急患診療所、歯科休日当番医制、食生活改善事業等を行い、市民の健康意識の普及・向上を図った。

- 主な事業の執行状況

- (1) 休日急患診療所 4, 592千円
(2) 病診連携推進事業 1, 285千円
(3) 看護福祉専門学校等補助金（可茂・あじさい） 6, 032千円

事業内容	実施回数	延人員
休日急患診療所	71回	3, 455人
休日急患歯科診療事業	71回	215人

- 畜犬登録管理事業 2, 463千円

可茂獣医師会と協力し、狂犬病の蔓延を防止するための予防注射を実施した。

登録数	3, 839頭
新規登録数	235頭
再登録数	1頭
狂犬病予防注射頭数	3, 092頭

- 公衆浴場運営補助事業 915千円

経営内容が不安定な公衆浴場に、収益の補助を行い浴場経営の安定を図った。

- ・営業日数：296日
・延べ入浴者数：7, 938人（1日当たりの入浴者数：平均25人）

補助事業名	補助金額	交付先
美濃加茂市公衆浴場経営安定化補助事業	915, 000円	音羽浴場

目	02	母子衛生費	65, 275千円
---	----	-------	-----------

- 次代を担う子ども達が、心身ともに健やかに生まれ育つよう、健康診査・保健指導等を実施し、母性及び乳幼児の健康保持・増進に努めた。

- 主な事業の執行状況

- (1) 妊婦健康診査・不妊治療費助成事業 52, 287千円
(2) 乳幼児健康診査事業 3, 781千円
(3) 養育医療給付事業 3, 695千円

事業内容	実施回数	延人員
＜妊娠期＞		
母子健康手帳交付	46回	564人
妊婦健康診査	随時	6,627人
マタニティクラス	12回	69人
パパママ教室	6回	124人
＜0歳＞		
新生児聴覚検査助成	随時	335人
乳児訪問（保健師）	随時	177人
乳児訪問（訪問員）	随時	468人
乳児健診	24回	534人
離乳食教室	12回	145人
育児相談	12回	406人
母子保健推進員（訪問）	随時	253人
母子保健推進員（電話）	随時	852人
＜1歳＞		
1歳6ヶ月児健診	24回	543人
幼児訪問	随時	399人
＜2歳＞		
2歳児歯みがき教室	12回	339人
乳幼児相談	12回	719人
フレッシュママ食の教室	12回	81人
すこやか相談	4回	6人
＜3歳児＞		
3才児健診	24回	598人
なかよし教室	12回	159人
＜4歳児以上＞		
保育園歯磨き指導	21回	1,704人
フッ化物洗口	15園	597人
＜その他＞		
特定不妊治療費助成事業	随時	37件

○ 主な不用額

事業項目	予算額(円)	決算額(円)	不用額(円)
妊婦健康診査・不妊治療費助成事業 委託料	52,601,000	47,256,840	5,344,160
妊婦健康診査・不妊治療費助成事業 負補交	4,251,000	2,623,975	1,627,025

理由 妊婦健康診査助成対象者の年度内の利用が見込より少なかったため。

目	03	健康増進費	59,134千円
---	----	-------	----------

- 健康増進法などに基づき、市民の健康の保持・増進及び疾病予防のため、各種健診・健康教育・健康相談等を実施した。日曜日健診や日程変更の対応など、健診率アップに努めた。

- 主な事業の執行状況

- (1) がん検診 22,834千円
 (2) 婦人検診 16,267千円
 (3) 健診事業 7,788千円
 (4) かかりつけ医健診 4,669千円

事業内容	実施回数	延人員
<かかりつけ医健診>		
おたっしや健診	4月～12月	859人
肝炎ウイルス検診	4月～12月	205人
結核健診	4月～12月	624人
前立腺がん検診	4月～12月	918人
<がん検診>	個別・集団	
胃がん検診	(大腸がん検診のみ	2,400人
大腸がん検診	4月～1月)	3,864人
肺がん検診	"	2,801人
<婦人検診>		
子宮頸部がん検診	"	1,586人
乳がん検診	"	1,430人
骨密度検診	"	367人
<歯科検診>	4月～12月	
歯周疾患検診	77回	201人
<成人健康相談>	304回	2,007人
<成人健康教育>		4,205人
<精神保健>		
精神保健健康相談	61人	延210人
精神電話相談		151件
精神保健健康教育	1回	72人
精神保健家庭訪問	17人	延52人

○ 主な不用額

事業項目	予算額(円)	決算額(円)	不用額(円)	理由
がん検診委託料	23,980,000	22,782,270	1,197,730	見込んだ数に満たなかったため。

目	04	予防接種費	112,190千円
---	----	-------	-----------

○ 予防接種法に基づき各種予防接種を実施した。

○ 主な事業の執行状況

予防接種費 112,190千円

事業内容	実施回数	延人員
<集団接種>		
BCG	10回	434人
<個別接種>		
ヒブ	随時	2,197人
小児肺炎球菌	随時	2,160人

四種混合（DPT-IPV）	随時	1, 7 6 7 人
小児マヒ（不活化ポリオ）	随時	3 2 0 人
三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）	随時	4 7 6 人
麻しん風しん（第 1 期）	随時	4 9 3 人
麻しん風しん（第 2 期）	随時	5 5 8 人
日本脳炎（第 1 期）	随時	1, 6 9 8 人
日本脳炎（第 2 期）	随時	3 9 8 人
二種混合（ジフテリア・破傷風）	随時	4 2 0 人
HPV（子宮頸がん）	随時	1 3 8 人
高齢者インフルエンザ	期間限定	6, 8 1 3 人
<健康被害> 予防接種健康被害	1 件	医療費・障害年金支払

○ 主な不用額

事業項目	予算額(円)	決算額(円)	不用額(円)
予防接種費委託料	127, 566, 000	104, 234, 028	23, 331, 972
予防接種事業負補交	3, 187, 000	2, 034, 700	1, 152, 300

理由

- （委）子宮頸がん予防ワクチンの予防接種者数が見込みより少なかったため。
（補）大人の風疹予防接種支援事業の接種者が見込みより少なかったため。

目	05	保健センター費	4, 2 9 3 千円
---	----	---------	-------------

- 市の保健衛生行政の中心施設である、保健センターの維持管理を行った。
○ 主な事業の執行状況

施設保守委託料 2, 0 4 4 千円 需用費 1, 8 5 8 千円

目	06	公害対策費	1, 6 3 9 千円
---	----	-------	-------------

○ 公害等苦情処理

野外焼却に対する苦情は、平成 2 4 年度と比較すると 1 4 件減少している。農業行為に伴う野外焼却が多く、禁止行為ではないものの、煙の発生、臭いに注意するよう指導を行うケースが多くみられる。市内でも農地の中に住宅が立ち並ぶ光景が見られるようになったことが理由と考えられるが、雑草繁茂に関してもそうした隣接農地や空き地に起因するものがみられる。

大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒 音	振 動	悪 臭
1	6	0	3	1	1 0
野外焼却	雑草繁茂	産廃関係	土場管理	粉じん	その他
2 9	7 8	0	0	0	1 4

2 5 年度では延べ 1 4 2 件の苦情があり、直ちに現場へ行き状況を確認したうえで、指導を行った。
（2 4 年度は、計 1 5 0 件の苦情）

○ 水質検査

6 9 5 千円

1 河川（隔月） 加茂川 6 箇所

（7、1 月） 川浦川 3 箇所・蜂屋川 2 箇所 詰田川・大洞川・深渡川各 1 箇所

- (1) 検査項目…水素イオン濃度（PH）・生物化学的酸素要求量（BOD）・化学的酸素要求量（COD）・浮遊物質（SS）・全窒素（TN）溶存酸素（DO）・大腸菌群数・全リン（TP）・陰イオン界面活性剤の9項目
- (2) 検査結果…全ての河川において、概ね基準値以内であった。大腸菌群数の多い理由を把握するために、ふん便性大腸菌群の調査を実施した。その結果、大腸菌群に占めるふん便性大腸菌の数は小さく、自然由来・農地由来の菌により数値が大きくなっていることが推察される。
- 2 ゴルフ場農薬等検査（9月） 正眼寺カントリークラブ、賑済寺ゴルフ場、法仙坊ゴルフ倶楽部、クレセントバレーカントリークラブ
- (1) 検査項目…調整池から採水した水に含まれる除草剤・殺虫剤・殺菌剤成分のうち使用料の多い3項目について検査
- (2) 検査結果…すべてのゴルフ場で基準値、指針値を満たしていた。
- 3 最終処分場水質検査（7月） 伊藤商事跡地
- (1) 17年度から新規土地所有者となった、めぐみの農業協同組合が検査を実施
- (2) 六価クロム・水銀など27項目いずれも基準値を満たしていると報告を受けた。
- 4 井戸水の水質検査（7月） 加瀬田埋立地、伊藤商事跡地、加茂野新池埋立地
- (1) 検査項目…一般細菌・大腸菌群数など飲料水としての15項目
- (2) 検査結果…調査地点において、基準を超える項目があった。
- 5 牧野砂利採取跡地の井戸水検査（2月） 牧野地区 1箇所
- (1) 検査項目…PCB・アルキル水銀・鉛など10項目
- (2) 検査結果…基準値を超える項目は無かった。
- 6 揮発性有機溶剤による地下水汚染関係（5、8、11、2月）
蜂屋・加茂野地区のモニタリング井戸（6箇所→5箇所）
- (1) 検査項目…トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン
- (2) 検査結果…フクシマ化学は検出されていない。
- 7 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染（市の調査5、8、11、2月）
加茂野地区のモニタリング井戸2箇所
- (1) 検査項目…硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
- (2) 検査結果…1箇所で基準値を超えて検出された。
- 8 市内各河川における水質検査結果（年度平均比較）（くは数値未滿を指す）

採水河川地点	項 目	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	ふ ん 便 性 大腸菌群
深渡川下流 （深渡橋）	PH	7.8	8.1	7.8	7.8	
	BOD	1.0	<0.8	1.1	<0.8	
	大腸菌	40,650	9,600	6,400	4,090	210
川浦川上流 （遊歩道入口）	PH	6.8	6.7	6.7	6.8	
	BOD	<0.5	<0.5	<0.7	<0.5	
	大腸菌	284	862	100	1,116	
川浦川中流 （甘屋川合流）	PH	7.3	7.2	7.6	7.4	
	BOD	<0.5	<0.6	<0.7	<0.5	
	大腸菌	8,547	5,565	6,350	24,610	150
川浦川下流 （析洞橋）	PH	7.6	7.1	7.8	7.6	
	BOD	0.6	<0.6	0.8	<0.5	
	大腸菌	16,570	1,689	3,300	110,850	

蜂屋川上流 (十郎橋)	P H	7.8	7.8	7.8	7.9	
	B O D	0.9	<0.6	1.3	1.3	
	大腸菌	11,610	24,665	20,500	65,350	
蜂屋川下流 (鷹之巣橋)	P H	7.5	7.6	7.6	7.5	
	B O D	1.4	0.8	1.2	<0.8	
	大腸菌	11,115	1,765	23,000	24,585	762
詰田川下流 (詰田川橋)	P H	7.3	7.4	7.3	7.4	
	B O D	1.5	0.9	1.5	<0.9	
	大腸菌	39,850	5,745	7,250	41,950	720
大洞川中流 (伊深橋)	P H	7.7	7.8	7.6	7.5	
	B O D	0.7	1.0	1.0	<0.6	
	大腸菌	7,115	7,050	25,100	25,650	110

※公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準

★：加茂川水域の基準（参考）

P H =6.5 以上 8.5 以下

B O D=3 mg/ℓ以下

大腸菌=5,000MPN/100 ml以下

※水浴場の判定基準（ふん便性大腸菌群数のみ抽出）

快適 100 個/100ml 以下

適 100 個～1,000 個/100ml 以下

不適 1,000 個/100ml を超えるもの

○ 土壌ガス浄化 101千円

平成14年に蜂屋及び加茂野地区に各1台、平成20年に加茂野地区に1台、簡易型の土壌ガス浄化装置を設置し浄化作業を行っている。

○ 地下水浄化 62千円

蜂屋地区において、県所有の地下水浄化装置を無償で借り受け（電気、活性炭等維持管理に係る経費は、市負担）、浄化を始めた。老朽化に伴うポンプ修理が必要であり、平成25年度に県予算で実施した。

○ 騒音定点観測調査 210千円

1 一般地域（可茂聖苑、森山公園、はぐるま公園）

平成25年11月25日午前・午後各1回（10分/1回）

観測結果…可茂聖苑、森山公園、はぐるま公園とも環境基準値以内であった。

2 道路に面する地域（国道21号線沿線）

平成25年11月28日～29日：24時間（10分/1時間）及び背後地（午後、深夜各1回）

観測結果…環境基準値以内であった。

○ 大気環境監視測定 153千円

（1）測定場所…総合福祉会館駐車場内測定所

（2）測定項目…二酸化硫黄（SO₂）・浮遊粒子状物質（SPM）・窒素酸化物（NO_x）・光化学オキシダント（O₃）・風向及び風速・微小粒子状物質（PM_{2.5}）

（3）測定結果…25年度は、光化学オキシダント濃度が基準値を超えなかったため、大気汚染予報（光化学スモッグ予報）は発令されなかった。また、平成24年度からPM_{2.5}の測定を開始し、県から結果を公表している。

○ 可茂地域における光化学オキシダント予報・注意報発令状況（回数）

平成14年度から岐阜県大気汚染対策要綱策定され測定開始

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
--	------	------	------	------	------

予 報	1 回 (5/21)	0 回	0 回	0 回	0 回
注 意 報	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回

※予 報：0.1ppm 以上 注意報：0.12ppm 以上

項	02	清掃費	996,000千円
目	01	清掃総務費	759,169千円

○ 可茂衛生施設利用組合負担金 748,887千円

ごみ処理、し尿処理、火葬施設維持等費用の負担金を支出

美濃加茂市分処理実績

分 類	処 理 量	市 分 担 金	処 理 施 設
し尿処理量（汚泥含）	11,775 kℓ	48,020 千円	緑ヶ丘クリーンセンター
可燃物（生活系）	8,977 t	414,494 千円	ささゆりクリーンパーク
不燃物（資源・粗大含）	428 t	52,212 千円	ささゆりクリーンパーク
斎場利用件数(管内)	449 件	11,567 千円	可茂聖苑

○ 合併処理浄化槽設置整備事業補助金 10,271千円

下水道事業等の事業実施計画の段階で、事業区域から除外された地域において、生活排水の浄化と生活環境の保全を目的として、合併処理浄化槽を設置した者に補助金を交付した。

さらに、平成14年度から高度処理型の合併処理浄化槽を設置した者については、上記補助金に加えて市単独の奨励金を交付した。

(単位：千円)

人槽	種別	基数	補助金額	奨励金額	合計交付額
5人槽	普通処理	0	0	0	0
	高度処理	8	3,552	1,481	5,033
6～7人槽	普通処理	0	0	0	0
	高度処理	6	2,916	1,458	4,374
8～50人槽	普通処理	0	0	0	0
	高度処理	1	576	288	864
計	普通処理	0	0	0	0
	高度処理	15	7,044	3,227	10,271
合 計		15	7,044	3,227	10,271

○ 主な不用額

・合併処理浄化槽設置整備事業補助金 4,363千円

申請件数が見込を下回り不用額が生じた。

目	02	塵芥処理費	198,885千円
---	----	-------	-----------

○ ごみ分別パンフレット等作成 744千円

ごみの分別収集の周知徹底を図るためパンフレットを作成し、各世帯へ配布した。

○ 不法投棄家電処理（収集運搬費含） 78千円

不法投棄による家電を回収し、家電リサイクル法に従い廃棄処理を行った。

種 類	テレビ	エアコン	冷蔵庫	洗濯機	計
回収台数	11台	0台	6台	2台	19台

- 環境美化清掃委託事業（株美濃加茂浄化槽に委託） 2,313千円
自治会集積所や地域の巡回と回収ごみのささゆりクリーンパークへの搬入業務委託。

- 廃乾電池の処理 820千円

使用済み乾電池を市内で拠点収集し、処理施設への搬出作業を実施。

・処理委託先 JFE条鋼(株)（岡山県）

処理・処分量	処 理 単 価	費 用
ドラム缶40本（11,588kg）	処分費単価 60.90 円/kg	処分費 705,709 円

- 分別収集指導員報償 2,638千円
自治会等のペットボトル・白色トレイの回収に際し指導員を配置し、適正排出を指導した。

- 集積所自治会管理費 4,278千円
各自治会集積所の清掃や器具等の設置が行われた。（交付自治会数 185）

交付金計算根拠	均等割	1自治会	1,000 円／月
	世帯割…	50世帯まで	500 円／月
		51～100世帯	1,000 円／月
		101世帯以上	1,500 円／月
		151世帯以上	2,000 円／月

- ごみ袋関係 10,263千円

1 ごみ袋の安定供給のため在庫管理を行い継続してごみ袋を作成した。

（1）作成枚数（単位：千枚）

可燃(大)	可燃(小)	不燃(大)	不燃(小)	資源(大)	資源(小)	粗大シール	がれ類収集券
1,600	486	0	0	0	0	0	20

（2）販売枚数

種 類	可燃(大)	可燃(小)	不燃(大)	不燃(小)	資源(大)	資源(小)	粗大シール
販売枚数(千枚)	1,742	518	45	35	37	39	4
販売価格(千円)	52,274	10,363	1,343	696	375	391	2,177

（3）販売価格合計 67,619千円

（4）ごみ袋売捌き手数料 3,007千円

指定ごみ袋及び粗大ごみシールを販売する者に手数料を支払い、ごみ袋取扱いの円滑を図った。

取扱店登録数 135店舗

種 類	可燃(大)	可燃(小)	不燃(大)	不燃(小)	資源(大)	資源(小)	粗大シール
梱 包 数	4,313	1,141	217	112	92	128	216
一 梱 包 (円)	496	558	248	372	496	372	200
報償金 (千円)	2,139	636	54	42	46	47	43

- ごみ収集運搬委託料 159,339千円

各ごみステーションから処理場へ収集運搬の委託を行った。

分 類	収集量(t)	収集委託料 (千円)	委託先	処理場
可燃物（週2・3回）	8,977	107,957	小森産業(株)	ささゆり
不燃物（2ヶ月に1回）	169	9,690	(株)橋本	ささゆり
資源物（月1回）	222	16,254	(株)橋本	ささゆり
粗大ごみ（月1回）	57	7,140	(株)橋本	ささゆり

ペットボトル・トレイ（月１回）	ペット トレイ	33 12	15,398	小森産業(株)	小森産業(株)
がれき（年４回）		131	2,900	小森産業(株)	山之上がれき処分場

１人１日当たりの排出量（委託収集分）（平成２５年４月１日人口：５５，０１８人）

可燃物 ４４７ｇ 資源物（缶、ビン、ペットボトル、トレイ） １３ｇ

ごみ全体（ガレキ除く） ４７２ｇ

- 小動物回収事業 2,466千円

昼夜小動物の死体の回収及び可茂聖苑への運搬を美濃加茂衛生(株)に委託し早期回収に努めた。

回収数 235頭 斎場炉使用料 714千円

- 一般廃棄物埋め立て処分場（山之上がれき処分場）管理業務 5,724千円

家庭から排出される瓦、コンクリート、陶磁器、ブロック、タイルの受入業務、水質検査及び搬入地の整備作業を委託、更に搬入に使用する機器を交換し適正管理に努めた。また、搬入路の補修工事を行い安全確保に努めた。

１ 委託業務内容

（１）管理委託業務 3,643,500円

（２）水質検査委託業務 761,649円

（３）区域除草委託業務 898,800円

（４）搬入地整地業務 151,200円

- 家庭廃棄物処理機器設置補助事業 354千円

家庭から排出される廃棄物を排出者自ら処理し廃棄物の減量と資源化を図るため、廃棄物を処理する機器の購入者に対し購入費の一部を補助した。

種 類	補 助 基 数	補 助 額
生ごみ堆肥化容器	24基	70,600円
生ごみ処理機	8基（乾燥6基）	143,800円
枝粉碎機	11基	136,700円
水切りバケツ	3基	2,800円

- 地球資源集団資源回収事業 22千円

市民の資源回収事業を促進するため、自主的回収を実施した市民団体に対し、資源回収業者の引き取り価格が1kgあたり3円を下回った場合に奨励金の交付をした。

回収団体数	回 収 量	補助金額（3円－引き取り価格/kg）
延べ10団体	10.9t	22千円（うち、逆有償分0千円）

- 生ごみ発酵促進剤（ぼかし）製造補助事業 333千円

家庭から排出される生ごみの減量化の資源の再利用と意識の高揚を図るため、生ごみ発酵促進剤の製造業者に対して補助金の交付を行った。

（１）補助内容 40円／発酵促進剤300g入り1袋

（２）製 造 者 社会福祉法人 太陽の家 6,128袋 245,120円

三和町ホタルを守る会 2,187袋 87,480円

- 環境配慮製品製造補助事業 22千円

一般家庭から排出されるレジ袋など、ごみ減量化と資源の節約意識の高揚を図るため環境配慮製品製造者に対して補助を行った。

（１）製 造 者 美濃加茂市障害者支援施設 ひまわりの家

（２）納 入 先 美濃加茂市ポイントカード会

（３）製造袋数 エコバッグ：100袋

- 不法投棄処理委託事業（(株)美濃加茂浄化槽に委託） 2,279千円

週3回トラックで道路などのポイ捨てや不法投棄のごみの回収及びささゆりクリーンパークへの

搬入処理事業を委託した。

ごみの回収処理量 1. 22トン

目	03	環境整備費	37,946千円
---	----	-------	----------

- 環境美化推進員報償金 384千円

市民16名に環境美化推進員を委嘱し、定期的な監視、情報収集を実施した。

- ポイ捨て等防止啓発看板の設置 121千円

不法投棄、ポイ捨て、犬のフン害防止等の啓発として、希望者に対し看板を作成し配布した。

依頼件数 52件 ポイ捨て禁止等のPR看板を配布 82枚設置

- 墓地管理事業 2,281千円

市営墓地の維持管理

現有区画数(H26.3末現在)	1,323区画
使用許可区画数	1,307区画
うち平成25年度許可件数	12件
墓地永代使用料収入	980千円
未使用墓地返還件数	2件
未使用永代使用料返還金	104千円
使用可能区画残数	16区画

- 1 前平霊苑の便所清掃(株美濃加茂浄化槽委託)実施
- 2 草刈2回(株美濃加茂浄化槽委託)及び樹木の剪定(株佐合木材)の墓地周辺清掃実施
- 3 年4回区画内清掃(グリーンバード委託) 実施:174区画

- 自治会等花壇用花苗配布 800千円

自治会、子ども会、健寿会等が管理する花壇に花苗を配布し、花かざり運動を行った。

自治会等管理花壇数	78団体
配布花苗品種	サルビア・マリーゴールド・トレニア(ピンク・ブルー)
配布花苗本数	9,523株

- 環境フェア事業 739千円

環境フェア(生涯学習センター)7月28日(日)午前9時~午後4時 参加者 1,600名

体験コーナーをNPO法人グリーンネットに委託し、実施した。また、市は環境に関するパネル展示、菜種の搾油、リサイクル自転車抽選会等を行い、環境意識の高揚を図った。

- クリーン作戦事業 1,239千円

市内の環境整備及び環境保全の意識高揚を図るため、地域住民の協力のもと、クリーン作戦を実施した。

開催日 9月8日(日) 参加人数 10,803人

回収物	平成24年度	平成25年度
可燃・不燃・資源・粗大・処理困難物	4.0t	3.5t
側溝汚泥・陶磁器・刈り草	16.4t	16.7t
計	20.4t	20.2t

- 環境基本計画推進事業 694千円

- 環境審議会

環境審議会の開催 1回

○ 第2次みのかも環境まちづくりプランの事業推進

1 各プロジェクトの活動

(1) 有機菜園プロジェクト

・春の営農教室の開催 4月20日(土) 午前9時～ 本郷町9丁目 有機菜園プロジェクト農園

・第1回有機菜園プロジェクト農園の募集

利用期間 9月1日～3月31日

農園場所 市内本郷町9丁目17番地内 有機菜園プロジェクト農園

募集区画数 7区画(1人1区画まで)

利用料金 約20坪(3区画) 8,000円/年(指導料等含む)

約10坪(4区画) 4,000円/年(指導料等含む)

・秋の営農教室の開催 10月12日(土) 午前9時～本郷町9丁目 有機菜園プロジェクト農園

・第2回有機菜園プロジェクト農園の募集

利用期間 4月1日～3月31日

農園場所 市内本郷町9丁目17番地内 有機菜園プロジェクト農園

募集区画数 3区画(1人1区画まで)

利用料金 約20坪(1区画) 8,000円/年(指導料等含む)

約10坪(2区画) 4,000円/年(指導料等含む)

(2) 緑の手入れプロジェクト

中之島公園森林計画プラン作成

◇依頼先 加茂農林高等学校林業工学科

◇12月6日(金)の環境審議会にて発表

(3) きれいな川づくりプロジェクト

・カワゲラウォッチング実施

6月12日(水) 蜂屋川 中蜂屋橋付近 蜂屋小学校 73名

6月18日(火) 木曽川 ライン公園付近 太田小学校 110名

7月5日(金) 深渡川 深渡五号橋付近 下米田小学校 66名

7月2日(火) 大洞川 中切橋付近 伊深小学校 6名

7月16日(火) 加茂川 農業用排水路(環境水路) 山之上小学校 31名

7月9日(火) 加茂川 岐阜ダイハツ美濃加茂東側 山手小学校 89名

・環境フェア参加 生涯学習センター

7月28日(日) 午前9時～午後4時

カワゲラウォッチング・市内河川の水質検査結果の展示

(4) 家庭生ごみ減量プロジェクト

・ダンボールコンポスト講習会 加茂野交流センター 参加者24名

3月15日(土) 午前10時～午前11時30分 午後1時～2時30分

・プロジェクト視察研修 参加者19名

3月3日(月) 午後2時～午後3時30分

視察先 安八郡輪之内町南波字村東511-5(株)エフピコ中部リサイクル工場

視察内容 食品トレイリサイクル施設(エフピコ方式)の視察

(5) ごみ抑制プロジェクト

・美濃加茂市のごみ問題に関するアンケート調査実施

調査期間 1月20日(月)～2月7日(金)

対象者 市内在住の20代～70代の世帯主1,000名

回答数 407通(回答率40.7%)

結果 市民からごみ問題に関する幅広い意見を聞くことができた。市のごみ減量の施策に反映させたい。

- ・ごみ減量に向けた取り組みの視察 12月2日(月) 午後4時10分～午後5時10分
視 察 先 美濃加茂市川合町4丁目 (株)東和製作所
視察内容 ごみ削減に向けた取り組み
視 察 者 ごみ抑制プロジェクト代表・加茂農林高等学校3年生生徒・教諭・環境課職員。

(6) エコハウス(環境学習施設)プロジェクト

- ・みのかもきらきらエコハウス 中之島公園
開催日時 毎週水曜日 午前9時～12時
実施団体 NPO 法人 みのかもグリーンネット
- ・リサイクルステーション 中之島公園
開催日時 毎月第1日曜日 午前9時～11時
実施団体 美濃加茂市生活学校
- ・エコハウス資源回収実施状況

＜みのかもきらきらエコハウス＞

回 収 品 目	24 年度	25 年度
利 用 者 数	11,546 人	11,246 人
新 間	46,090kg	37,000kg
雑 誌	56,170kg	42,300kg
段 ボ ー ル	34,800kg	27,520kg
牛乳 パック	1,880kg	1,539kg
ア ル ミ 缶	2,489kg	2,078kg
紙 容 器	10,760kg	9,010kg
チ ラ シ	38,820kg	31,160kg
一 升 瓶	1,920kg	1,896 kg
ビ ー ル 瓶	134kg	223 kg
合 計	193,063kg	152,726kg

＜リサイクルステーション＞

回 収 品 目	24 年度	25 年度
利 用 者 数	3,217 人	2,906 人
新 間	16,590kg	12,160kg
雑 誌	17,850kg	13,970kg
段 ボ ー ル	9,590kg	7,450kg
牛乳 パック	549kg	431kg
ア ル ミ 缶	766kg	596kg
紙 容 器	2,750kg	2,200kg
チ ラ シ	14,160kg	10,070kg
合 計	62,255kg	46,877kg

(7) 緑のカーテンプロジェクト

- ・ゴーヤの苗2,000本配布(きらきらエコハウスほか)
5月4日(日)午前9時～ リサイクルステーション 500本
5月7日(水)午前9時～ きらきらエコハウス 1,000本
(内グリーンネット500本)
5月11日(日)午前9時～ 牧野エコひろば 200本
- ・緑のカーテンコンテスト審査会 生涯学習センター203会議室
7月16日(火)午後6時～

- ・緑のカーテンコンテスト表彰式 生涯学習センター
7月28日(日) 午前10時～ 環境フェア 応募作品 30点・入選者11名
- (8) 省エネ(環境家計簿)プロジェクト
 - ・第1回環境学習会<DVD上映> 東図書館ホール
9月21日(日) 午後1時30分～午後4時
 - ・第2回環境学習会<DVD上映> 生涯学習センター
3月16日(日) 午後1時30分～午後3時30分
- エコを活用した地域循環型推進事業 26,608千円
 - 緑のカーテン委託事業 ゴーヤ苗2,000本等配布 200千円
 - 住宅用太陽光発電システム設置整備事業
 - 家庭での地球温暖化対策を推進するため、住宅用太陽光発電システム設置者に対し補助金の交付を行った。(平成24年度から開始)
 - 補助件数 217件
 - 補助金額 26,408千円
- 廃食油回収 16,361ℓ BDF購入量 2,850ℓ
公用車2台(トラック、ダンプ)に使用
- みのかも環境しらべ隊
 - ・ウキウキつくし採り 3月23日(日) 午前9時30分～ 参加者50名
会場 みのかも文化の森周辺
- キャンドルナイト開催
 - (1) キャンドルナイト in 牧野 6月22日(土) 午後6時30分～ 参加者200名
会場 牧野交流センター
内容 趣旨説明(温室効果ガスの削減)
フォーエヴァーズコンサート
 - (2) 夏至のキャンドルナイト 7月27日(土) 午後6時30分～ 参加者200名
会場 太田宿中山道会館
内容 趣旨説明(温室効果ガスの削減)
宵まつりとキャンドルナイト
 - (3) 冬至のキャンドルナイト 12月14日(土) 午後6時30分～ 参加者200名
会場 太田宿中山道会館
内容 趣旨説明(温室効果ガスの削減)
二胡・オカリナ演奏会

款	05	農林業費	520,972千円
項	01	農業費	444,271千円
目	01	農業委員会費	24,536千円

- 農業委員会としての役割である「優良農地の確保とその有効利用、担い手の育成及び確保」のため、農地法許可協議、耕作放棄地解消対策事業、農業者年金業務、農業委員会だより発行に取り組んだ。
- 農業委員会委員
定数18名（選挙による委員12名、議会推薦4名、農協推薦1名、土地改良区推薦1名）
任期（平成23年7月20日～平成26年7月19日）
- 農業委員会総会開催 12回（毎月上旬）
- 農地法に基づく許可の状況（H25.4～H26.3）

農地法	件数	田(m ²)	畑(m ²)	合計(m ²)
第3条	19	14,090	13,115	27,205
第4条	15	241	6,171	6,412
第5条	147	39,516	54,277	93,793
合 計	181	53,847	73,563	127,410

- 荒廃農地全体調査・遊休農地利用状況調査等
 - ・ 現地調査 11月実施
 - ・ 調査結果

分 類	筆 数	面 積 (m ²)	対 前 年 度
荒 廃 農 地	149	100,023	▲73筆 ▲32,757m ²
山林化農地	3,397	1,529,666	▲69筆 ▲26,952m ²
合 計	3,546	1,629,689	▲142筆 ▲59,709m ²

- ・ 草刈り指導 54件（解消率31.4%）
- ・ 耕作放棄地解消と発生防止の啓発活動 農業委員会だよりに掲載（3,200部）
- 農業者年金業務
農業者の老後生活の安定を図り、農業経営者の若返りを目的とした農業者年金制度の被保険者、裁定請求者、受給者への相談及び指導と啓発を実施した。
- 1 農業者年金の加入者、受給者状況（平成26年3月31日現在）
 - 農業者年金加入者（被保険者） 4人
 - 農業者年金受給待機者 0人
 - 農業者年金受給者 147人
- 【経営移譲年金（旧）87人、老齢年金（旧）、59人、特例付加年金（新）0人、老齢年金（新）1人】
- 2 受給裁定業務
新規裁定者
【経営移譲年金（旧）0人、老齢年金（旧）0人、特例付加年金（新）0人、老齢年金（新）0人】

- 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定（H26.3.31現在全体数）

	件数	筆数	面積 (m ²)
田	194	322	442,780
畑	12	29	23,792
合 計	206	351	466,572

- 主な歳出 委員報酬費 3,447千円

目	02	農業総務費	42,335千円
---	----	-------	----------

- 一部事務組合の円滑な運営を図るため、構成市町村で負担金を負担した。

中濃地域農業共済事務組合 25,099千円（負担率 10.941%）

（単位：戸数=戸、面積=ha）

	水稻		麦		大豆		果樹	
	戸数	面積	戸数	面積	戸数	面積	戸数	面積
引き受け状況	1,231	489.9	1	2.6	4	22.5	34	24.6
共済事故状況	32	5.4	1	0.6	4	3.8	0	0.0

目	03	農業振興費	23,298千円
---	----	-------	----------

- 需給調整推進対策事業と平行して、低コスト農業実践に対する補助のほか、ぎふ銘柄米の作付けや消費拡大等に努め、市指定の農産物、特産物の生産拡大と経営の安定拡大・合理化を図るとともに、遊休農地の解消、優良農地の確保に努めた。

- 補助事業の状況

- 1 農業集落組織育成事業 929千円

各農事改良組合の活動推進に努めた。

- 2 学校給食地産地消推進事業 576千円

学校給食に安全・安心な市内・県内産の農産物を提供し、需要拡大と食育の推進を図った。

- 3 青年就農給付金 3,750千円

青年の就農意欲の喚起と就農後の早期の経営の安定を図るため、一定の要件を満たした新規就農者に対して、就農から5年間にわたり給付金（150万円/1年）を給付する。

- 4 中山間地域等直接支払交付金事業 1,264千円

下流部への洪水等防止、遊休農地の発生防止等、多面的機能の保全のため、特定農山村地域に指定されている三和地区の3集落へ、集落協定に基づく組織活動による農用地及びその周辺地の保全管理活動事業に対し助成した。

・ 急傾斜地地区	上廿屋	16戸	3.2ha
・ 高齢化率の高い地区	中廿屋	20戸	6.2ha
	下廿屋	19戸	6.7ha

- 単独事業等

- 1 ふるさと農産物育成事業 58千円

- ・ いちご無病親株購入補助（紅ほっぺ） 1,330株
- ・ 夏秋なす苗共同購入補助（筑陽） 1,536株

- 2 農業用使用済みプラスチック類回収事業 49千円

ビニールハウス等農業用使用済みプラスチックの適正処理

回収量 4,823kg 対象者 47件

目	04	畜産業費	4, 538千円
---	----	------	----------

○ 都市化が進むなかで地域と共生を考えながら環境整備を誘導するなど、畜産環境保全に努め、家畜の伝染病予防事業など経営の安定化を図った。

(1) 畜産振興会補助金 130千円

(2) 家畜伝染病予防事業補助金 109千円

乳牛 延べ 66頭 豚 延べ253頭

(アカバネ病、イバラギ病、日本脳炎等)

目	05	自給力向上推進費	5, 429千円
---	----	----------	----------

○ 需給調整（転作）目標数量 39%

○ 需給調整に係る交付金

(1) 集積利用交付金 8件 51ha 5, 169千円

食料自給率向上のため2ha以上集積して転作を行ったものに対して交付した。

(2) 市作物奨励交付金 13人 1.6ha 167千円

転作田に、奨励作物の夏秋ナスまたは里芋を一定面積以上の作付けした農家へ交付した。

目	06	農地費	344, 135千円
---	----	-----	------------

○ 木曽川右岸用水の安定的供給を維持するため、施設管理運営の支援を行った。

1 木曽川右岸用水建設費等補助事業

(1) 木曽川右岸施設緊急改築事業負担金（H24 繰越事業） 31, 846千円

(2) 木曽川右岸施設緊急改築事業費補助金（H24 繰越事業） 37, 732千円

(3) 木曽川右岸用水土地改良区運営費補助金 6, 872千円

(4) 木曽川右岸用水土地改良区施設維持管理費補助金 6, 570千円

(5) 木曽川右岸用水農道舗装事業等借入償還元利補給事業補助金 3, 436千円

(6) 木曽川用水施設緊急改築事業費補助金（用水施設緊急改築事業） 18, 702千円

(7) 木曽川用水施設緊急改築事業負担金（県ルート） 17, 253千円

(8) 木曽川右岸施設緊急改築事業費補助金（右岸施設緊急改築事業） 27, 250千円

(9) 木曽川右岸施設緊急改築事業負担金（土地改良ルート） 23, 000千円

(10) 木曽川用水施設保全対策事業費補助金 306千円

(11) 木曽川右岸用水土地改良区施設維持管理適正化事業補助金 1, 350千円

2 農業用資源保全管理活動補助金 365千円

3 農業振興地域整備法に基づく事業

除外決定状況 公告日 平成25年 4月 3日 35件 19, 272㎡

平成25年10月11日 40件 25, 217㎡

○ 農業生産基盤整備事業 (単位: 千円)

事業名等	事業費	主な事業内容
岐阜県土地改良事業団体連合会負担金	403	一般賦課金 10 特別賦課金 393
県営一般農道整備事業（牧野2期）	9,928	牧野地区農道整備事業負担金
排水路除塵機の維持管理等	172	小山・今除塵機清掃委託業務 172

土地改良施設維持補修	11,782	排水路、農道修繕・改修・除草
土地改良施設維持補修（H24 繰越事業）	4,883	牧野第1排水路改修工事
緊急雇用創出事業（農業用施設事業）	21,105	農業用排水路基礎調査、ため池台帳整備

- 下水道事業会計負担金及び補助金（農業集落排水事業） 120,881千円
 一般会計が負担することとされている「分流式下水道等に要する経費」、「高資本費対策に要する経費」、「臨時財政特例債等の元利償還金」に相当する経費などを下水道事業会計に支出した。

- 主な不用額 (単位：千円)

事業名	予算額	決算額	不用額	理由
農業用施設事業	16,402	12,254	4,148	岐阜県事業にて実施のため
下水道事業会計負担金及び補助金	130,881	120,881	10,000	下水道事業会計の費用が減少し、支出する金額が削減されたため

項	02	林業費	76,701千円
目	01	林業振興費	76,701千円

- 森林整備支援事業

- 1 森林整備支援事業 6,174千円
 さくらの森遊歩道整備、健康の森（高木山・富士山）遊歩道整備
- 2 森林整備活動支援交付金 750千円
 施業集約化の促進（森林調査・合意形成活動）
 三和地区 25ha
- 3 環境保全林整備事業 3,668千円
 実施場所 伊深地区 間伐 20ha
- 4 里山林整備事業 7,852千円
 実施場所 山之上・下米田地区 不用木除去 39.26ha

- みのかも健康の森維持管理費

管理委託料 12,202千円
 指定管理委託先 可茂森林組合
 入園者 65,944人（対昨年比 105.1%）
 777階段修繕工事 4,999千円
 ローラースライダー修繕工事 1,428千円
 受水槽修繕工事 1,050千円
 創造の森清掃作業委託業務 100千円

- 下米田さくらの森維持管理

管理委託料 2,025千円
 管理委託先 則光生産森林組合

○ 有害鳥獣捕獲対策事業の状況

(1) 有害鳥獣捕獲許可に伴う捕獲報奨金 3, 203 千円

許可件数 33 件

	イノシシ	サル	カラス	スズメ	ムクドリ・ヒヨドリ	アライグマ・ヌートリア 等
件 数	5	4	7	2	9	6
頭数等	188	7	66	1	39	30

(2) 電気牧柵設置補助 2 件 30 千円

(3) 鳥獣被害防止対策協議会補助金 946 千円

○ 平成記念公園森林整備事業（緊急雇用創出事業） 20, 238 千円

○ 主な不用額

事業名	予算額	決算額	不用額	理由
森林整備支援事業	22,738	18,634	4,078	森林整備箇所が当初の予定より少ない面積であったため。

款	06	商工費	888,058千円
項	01	商工費	888,058千円
目	01	商工総務費	87,271千円

- ブランド創造事業については、堂上蜂屋柿や美濃加茂やきそばなどの食に特化して支援した。特に堂上蜂屋柿については新集出荷場の建設に伴い、商品の品質管理の徹底と規格外品の集荷について指導を行うことで、ブランド力の向上と新たな加工品への取り組みを促すこととなった。
- また、美濃加茂市にゆかりがあり様々な分野で活躍している人で、市民に夢と希望と元気を与えてくれる人として「もっとみのかも夢大使」の委嘱を行った。

○ ブランド創造事業の執行状況

営業戦略事業講演会講師謝礼	210千円
アンテナショップイベント業務委託	150千円
地域ブランドアドバイザー委託	179千円
美濃加茂市堂上蜂屋柿ブランド構築事業負担金	256千円
ちいき絆ねっと食の陣事業負担金	200千円
「本場の本物」登録料	50千円
食品ブランド開発事業補助金	600千円
(食ブラの玉子事業認定等 2件)	

- 勤労者支援として、住宅資金利子の補助や、生活資金融資の預託を実施した。

○ 主な事業の執行状況

みのかも市民まつり負担金	4,000千円
勤労者生活資金融資預託金	10,000千円
生活安定資金融資預託金	10,000千円

目	02	商工振興費	702,269千円
---	----	-------	-----------

- 商工振興のため、商工会議所の事業に対する補助や各商店街街路灯の電気料補助等のほか、中小企業対策として住宅リフォーム助成、季節短期資金融資・小口融資・震災等支援経済対策融資等の預託を実施した。企業工業振興として、企業誘致対象企業に対して奨励金補助を実施した。また、自然エネルギーを活用した計画策定などの取組、緊急雇用創出事業を実施した。

○ 主な事業の執行状況

小規模経営改善普及事業補助	8,960千円
商店街連合会活動補助	1,280千円
中小企業季節短期融資銀行預託金	100,000千円
小口融資預託金	85,000千円
震災等支援経済対策融資預託金	88,100千円
企業誘致及び雇用奨励金	14,925千円
商店街共同施設等補助	2,322千円
商業活性化事業補助	1,519千円
住宅リフォーム助成金	9,473千円 (繰越明許額 1,700千円)
自然エネルギー活用計画策定及び実証実験委託	3,600千円
給食センター太陽光発電設備工事	28,937千円 (H24繰越明許)
(内訳：設計監理業務委託4,725千円・工事24,212千円)	
緊急雇用創出事業(起業支援型地域雇用)	344,895千円
(内訳：BPO企業等による失業者雇用事業 239,732千円・建設技術高度化人材育成事業 105,163千円)	

○ 主な不用額

中小企業及び勤労者関連預託金３種	１１６，９００千円
緊急雇用創出事業（起業支援型地域雇用）	１５６，８９７千円

目	03	シティプラザ費	６９，３７４千円
---	----	---------	----------

○ 美濃加茂市商業ビル施設の維持管理業務と、改修計画に伴う改修工事を実施した。

○ 主な事業の執行状況

商業ビル施設保守及び管理委託業務	４３，５２１千円
商業ビル修繕費	１，９７４千円
商業ビル改修工事費	７，９２１千円
商業ビル管理負担金	１５，６１２千円

目	04	観光費	２９，１４４千円
---	----	-----	----------

○ おん祭美濃加茂や美濃加茂市観光協会への補助のほか、市外施設などでの観光ＰＲ事業や太田宿中山道会館等でイベントを中心とした観光振興を推進した。

○ 美濃加茂市ＰＲイベント事業

４／２１	太田宿中山道会館「春のまつり」
７／２７	太田宿宵まつり
８／１７	おん祭MINOKAMO２０１３夏の陣～花火大会～
１０／２０	おん祭MINOKAMO２０１３秋の陣～中山道まつり～
	ＪＲさわやかウォーキング
１１／９・１０	みのかも市民まつり
１１／１５	岐阜県観光物産展in金山２０１３
１２／５	中日ビル冬のふるさとフェア
１／１２	日本昭和村ハーフマラソン大会
１／３０・３１	飛騨木曽川国定公園エリア市町村連携観光物産展

○ 市の観光振興に資するため、各団体等へ補助を行った。 ８，０３０千円

- （１）美濃加茂市観光協会 ５００千円
観光客誘致宣伝事業、パンフレット作成、イベント協賛など
- （２）おん祭美濃加茂実行委員会 ７，３００千円
おん祭MINOKAMO（夏の陣・秋の陣）の開催（８／１７・１０／２０）
- （３）美濃加茂踊り保存会 １１０千円
美濃加茂踊りの普及宣伝活動

○ 各団体への負担金・分担金 ２，４９０千円

- （１）飛騨・木曽川Ｅボート交流会実行委員会負担金 １，０００千円
飛騨・木曽川Ｅボート大会開催
- （２）木曽川夢空間事業連絡会負担金 ５００千円
関係市町による広域観光事業

○ 観光パンフレット印刷 ８９３千円

「美濃加茂ガイドマップ」「中山道太田宿」「美濃加茂市ＰＲポリ袋」等

○ 御殿山キャンプ場管理運営委託料及び土地借上料 １９０千円

キャンプ場利用状況

年度	件数 (件)	人数 (人)	利用料 (円)
H 1 9 年度	2 2	2 3 5	2 5 7, 7 0 0
H 2 0 年度	1 3	3 1 8	4 3 5, 8 0 0
H 2 1 年度	3 5	2 3 8	2 6 1, 5 0 0
H 2 2 年度	1 5	2 1 5	2 8 3, 6 0 0
H 2 3 年度	1 6	2 4 8	4 0 5, 5 0 0
H 2 4 年度	1 2	1 4 8	2 2 8, 7 0 0
H 2 5 年度	1 4	2 2 2	3 6 9, 4 0 0

○ 平成記念公園「日本昭和村」の入園者数 (単位：人)

年度	入園者数 (うち、銭湯入場者数)
H 1 9 年度	6 0 0, 9 5 9 (1 8 8, 7 9 5)
H 2 0 年度	5 5 5, 8 7 7 (1 4 9, 8 9 5)
H 2 1 年度	5 1 0, 9 2 1 (1 3 6, 0 2 1)
H 2 2 年度	4 2 3, 6 7 9 (1 1 8, 8 6 0)
H 2 3 年度	3 8 7, 2 7 3 (1 1 0, 7 2 8)
H 2 4 年度	4 1 8, 7 6 3 (9 6, 4 2 8)
H 2 5 年度	3 1 3, 7 5 2 (8 9, 2 3 5)

○ 太田宿中山道会館の管理運営 1 1, 4 3 3 千円

- ・ 特定非営利活動法人「宿木」に管理運営を委託
- ・ 平成 2 5 年度来場者数 8 8, 9 9 8 人

○ 中山道太田宿修景事業

中山道太田宿修景事業補助金 1, 5 6 8 千円

○ 中山道会館保存木保護事業 1, 0 8 2 千円

○ 美濃加茂 S A 道路サービス施設

東海環状自動車道に設置された美濃加茂サービスエリアの道路サービス施設（ハイウェイショップ）を株式会社美濃加茂ファーム（三セク）が運営

施設内容

- ・ ハイウェイショップ（物販・軽飲食・休憩） 7 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0
- ・ ガソリンスタンド（セルフ、上下線供用） 2 4 時間営業
- ・ トイレ 2 4 時間利用可能
- ・ 駐車場（上下線各 4 6 台） 2 4 時間利用可能
- ・ ハイウェイオアシス（第 2 駐車場 上下線各 5 6 台）

款	07	土木費	2, 1 4 4, 6 8 5千円
項	01	土木管理費	1 1, 4 7 1千円
目	01	土木総務費	1 1, 4 7 1千円

○ 道路関係同盟会調整事業

国、県が行う事業に対して、関係する市町村が同盟会や協議会を設立して要望活動を行い、事業の推進を図った。

・道路関係同盟会負担金 8 0 9千円

項	02	道路橋りょう費	7 2 1, 0 8 8千円
目	01	道路維持費	1 8 0, 6 4 1千円

○ 市道の状況

	路線数（本）	総延長（m）	内改良済（m）	内舗装済（m）	面積（㎡）
H25	2, 781	741, 050	438, 207	539, 836	4, 177, 612
H24	2, 745	736, 359	432, 822	531, 538	4, 134, 240

○ 橋梁の状況

	区 分	橋梁数（本）	延長（m）	面積（㎡）
H25	永久橋	248	3, 214. 6	22, 462. 3
H24	永久橋	249	3, 216. 9	22, 470. 1

○ 官民境界申請等の状況

	市道路申請件数	県道路進達件数	計
H25	202	1	203
H24	189	6	195

○ 占用許可の状況

	道路・河川占用許可件数
H25	181（中電 45、NTT31 含む）
H24	147（中電 46、NTT40 含む）

○ 市道等許可状況の概要

	道路自費工事費	法定外公共物
H25	47	19
H24	53	39

○ 道路維持事業の概要

（単位：千円）

事業名	事業費	主な事業内容
道路維持事業	44, 522	1. 委託料 38, 329
		・道路補修 1, 113
		・剪定除草 8, 759
		・堤防除草 788
		・道路清掃 14, 963
		・スクリーン清掃 386
		・融雪剤散布 11, 418
		・地下道揚水ポンプ点検清掃 872
		・その他 30
		2. 原材料費 6, 000

		・道路補修用原材料 1,695 ・側溝補修用原材料 1,208 ・加工用原材料(凍結防止剤他) 3,097	
緊急工事委託事業	67,492	1. 工事請負費 67,492 ・街路灯修繕、道路補修他 67,492	67,492
道路管理事業	14,129	1. 需用費 9,997 ・光熱水費 8,857 - 道路照明電気料 8,724 - 上下水道使用料 133 2. 役務費 1,125 ・火災保険料等(道路賠償保険料) 850 3. 委託料 2,917 ・中富 34 号分筆登記他 3 か所 2,917	
地下道管理事業	1,416	1. 委託料 1,416 ・地下道清掃委託料 1,416	1,416
道路台帳整備委託事業	5,413	1. 委託料 5,413 ・道路台帳整備委託料 4,757 ・地理情報システム保守点検 656	
道路 PPPP 推進支援事業	6,542	1. 委託料 6,542 ・市道舗装構造評価調査委託業務他 2 件	6,542

○ 主な不用額（道路維持費）（単位：千円）

事業名	予算額	決算額	不用額	説明
道路管理事業	17,136	14,129	3,007	公共嘱託登記予定分が未完了のため

目	02	道路新設改良費	536,720千円
---	----	---------	-----------

○ 生活する人、通過する人々の安全確保と快適な生活環境を提供するため、自治会要望等緊急性や事業効果を考慮し道路改良などを行った。

○ 道路新設改良事業の概要（単位：千円）

事業名	事業費	主な事業内容
一般道路改修事業	86,062	1. 委託料 10,939 ・追間二タ子線測量設計委託業務他 2 路線 10,164 ・街区三角点移設委託業務 315 ・県積算システム機器保守料 84 ・県積算システム維持管理委託 377 2. 工事請負費 73,380 ・小山 109 号線他 4 路線 43,935

		・ 小山 109 号線他 1 路線 29,445 (H24 繰越事業)
		3. 公有財産購入費 492
		・ 小山 109 号線土地代金 492 (H24 繰越事業)
県道改良事業費	19,765	1. 県道改良事業負担金 19,765
		・ 第 28-A4-1 街地 10-1 負担金他 3 か所 19,765
バリアフリー事業	46,333	1. 委託料 3,360
		・ 社会資本総合整備計画事後評価他 1 事業 3,360
		2. 工事請負費 42,607
		・ 島深田線道路改良工事 13,980 ・ 島深田線道路改良工事 28,627 (H24 繰越事業)
地下道冠水通報システム整備事業 (緊急経済対策)	45,675	1. 工事請負費 45,675
		・ 地下道冠水通報システム整備 (H24 繰越事業) 45,675
上下水道関連事業	10,121	1. 工事請負費 10,121
		・ 加茂野 146 号線外 4 路線舗装復旧工事 5,238 ・ 井口石橋線舗装復旧工事 4,883
道路施設舗装点検事業 (緊急経済対策)	63,685	1. 委託料 8,654
		・ 市道路面性状調査委託業務他 2 (H24 繰越事業) 8,654
		2. 工事請負費 55,031
		・ 若宮加茂野線他 8 路線舗装修復 (H24 繰越事業) 55,031
双葉中学校通学路整備事業	25,003	1. 工事請負費 25,003
		・ 双葉中学校通学路道路改良 25,003
総合医療センター関連事業	187,731	1. 工事請負費 122,895
		・ 井口石橋線他 1 路線雨水管埋設 122,895
		2. 負担金補助及び交付金 34,020
		・ 配水管敷設替工事負担金 34,020
		3. 補償補てん及び賠償金 30,816
		・ 電気通信設備支障移転補償費 30,816

○ 主な不用額（道路新設改良費）

（単位：千円）

事業名	予算額	決算額	不用額	説明
一般道路改修事業	58,670	56,126	2,544	入札差金及び登記委託料の減のため
県道改良推進事業	28,200	19,765	8,435	県道改良事業負担金の減のため
バリアフリー事業	47,520	17,707 ※28,464	1,349	入札差金のため ※H26 事業へ繰越分
道路施設補修点検事業 （緊急経済対策）	4,700	0	4,700	入札が不落（2回）のため
双葉中学校通学路整備事業	26,499	25,003	1,496	入札差金のため

目	03	橋りょう維持費	3,727千円
---	----	---------	---------

○ 橋りょう維持費の概要

事業名	事業費	事業内容
橋りょう補修事業	3,728	1. 委託料 3,728 ・ 橋りょう耐震補強実施状況調査 3,728

項	03	河川費	37,336千円
目	01	河川総務費	37,336千円

○ 加茂川総合内水対策事業

加茂川流域の浸水被害を軽減するために、平成30年度までに小中学校等の市内6施設のグラウンド等を利用して雨水の一時貯留施設を整備していく。

・ 西中学校校庭貯留施設調査設計委託 2,466千円

○ 河川関係同盟会調整事業

国、県が行う事業に対して、関係する市町村が同盟会や協議会を設立して要望活動を行い、事業の推進を図った。

・ 岐阜県河川協会他4団体への負担金 116千円

○ 河川総務事業の概要

（単位：千円）

事業名	事業費	主な事業内容
河川管理事務	7,473	1. 委託料 5,800 ・ 河川除草 4,208 ・ 深渡川3号橋橋梁改築工事委託 （可茂土木事務所） 1,592 2. 工事請負費 1,500

急傾斜地崩壊対策事業	18,301	・ 牧野排水路農水管布設替他 1 1,500 1. 工事請負費 18,301 ・ 信友 2 急傾斜地崩壊対策工事 17,393 ・ 下町急傾斜地除草工事他 3 908
------------	--------	--

項	04	都市計画費	1, 3 5 7, 8 5 2 千円
目	01	都市計画総務費	9 1, 0 3 2 千円

○ 開発指導

都市計画法に基づく開発（県許可）に対する開発指導・進達及び市開発事業指導要綱に基づく開発指導・承認を行い、適正な開発推進を誘導した。

- （１）都市計画法第２９条第１項外に基づく開発指導（3,000 ㎡以上） 2 件
- （２）岐阜県土地開発事業の調整に関する規則第４条に基づく協議 0 件
- （３）美濃加茂市開発事業指導要綱に基づく開発指導（1,000 ㎡以上 3,000 ㎡未満） 1 3 件
- （４）開発審議会 7 回

○ 砂利及び岩石採取指導

砂利採取法及び岩石採取法に基づく計画認可申請に対する意見の提出や現場指導などを行った。

- （１）砂利採取計画申請に対する意見照会 6 件

○ 建築指導

建築物及び関連する道路について、建築基準法、都市計画法、土地区画整理法、集合住宅指導要綱、地区計画条例に基づき、進達、許可、指導、通知を行い、適正な建築物の建設促進を誘導した。

- （１）指定確認検査機関による確認済証交付報告 4 2 7 件
- （２）道路位置指定受付 事前申請 1 1 件 本申請 1 3 件
- （３）土地利用規制等の確認による調査 1 1 8 件
- （４）地区計画の区域内における行為の届出 2 7 件
- （５）建築基準法第４３条第１項ただし書に基づく届出 2 件
- （６）用途証明書発行 1 件
- （７）道路相談 9 3 件

・ 建築基準法上の指定道路台帳整備委託 3, 3 0 8 千円

○ 建築物耐震化促進事業

災害に強いまちづくりを目指し、昭和５６年５月以前の木造住宅について、耐震診断費用の無料化を行い、住民の皆さんに居宅の安全性の確認を求め、大地震に備えた耐震住宅の意識を高めていただく啓発に努めた。

- （１）木造住宅耐震診断事業 2 5 件 1, 1 2 5 千円
- （２）木造住宅耐震補強工事補助金 2 件 1, 7 3 0 千円

○ アスベスト調査助成事業

アスベスト含有吹付け建材からアスベスト飛散による健康被害を予防するため、建築物の所有者が行うアスベスト分析調査に対して補助金を交付した。

- （１）アスベスト調査補助金 1 件 2 3 5 千円

○ 国土利用計画法

国土利用計画法に基づき、5,000 ㎡以上の土地取引について、土地売買届出書の受理・進達業務、無届取引調査、遊休土地実態調査等の土地取引規制についての事務、また、県の地価調査、国の地価公示等の土地利用に関する事務を行い、適正な土地取引を誘導した。

- （１）5,000 ㎡以上の事後届出件数 3 件

(2) 無届取引報告件数 2 件

(3) 遊休土地実態調査報告件数 2 件

○ 地籍調査事業

国土調査法に基づく地籍調査であり土地の実態を正確に把握する為、土地所有者の協力を得ながら現地の境界と一致する地籍簿と地図を作成し成果を法務局へ備えることを目的として実施した。

(1) 伊深 1 地区及び伊深 2 地区 施行面積：A=1.01Km²

都市計画総務費の概要

(単位：千円)

事業名	事業費	主な事業内容
地籍調査委託事業	16,326	1. 報酬（地籍調査推進員報酬） 330 2. 需用費（エレコム SDHC メモリーカードほか） 4 3. 役務費（案内状など送付郵便料） 115 4. 委託料（地籍調査委託料） 15,750 5. 使用料及び賃借料（コピー機使用料） 80 6. 負担金及び交付金（県国土調査協議会ほか） 47

○ 主な不用額（都市計画総務費）

事業名	予算額	決算額	不用額	説明
建築物耐震化促進事業	8,100	2,855	5,245	木造住宅補強工事補助金の申請件数が少なかったため
地籍調査委託事業	23,672	16,326	7,346	県からの「地籍調査費負担金」の交付額が減少したため

目	02	駅周辺整備事業費	27,716千円
---	----	----------	----------

○ 駅周辺整備事業の概要

(単位：千円)

事業名	事業費	主な事業内容
南北自由通路管理事務	21,083	1. 需用費 4,280 ・ 光熱水費（電気・上下水道） 3,621 ・ 自由通路施設修繕料 405 2. 委託料 11,815 ・ 駅周辺施設巡視・警護 3,329 ・ 南北自由通路・トイレ清掃 3,493 ・ EV、エスカレーター保守点検 4,032 3. 使用料及び賃借料 3,386 ・ 自由通路用地借上げ料 2,819 ・ EV 防犯カメラ賃貸借料 567 4. 工事請負費 1,497 ・ 自由通路電球取り替え等 1,497 5. 備品購入費 73 ・ 床用ポリッシャー 73
駅前広場管理事務	6,632	1. 需用費 2,310 ・ 光熱水費（電気・上下水道） 1,837 ・ 駅前広場施設修繕料 434 2. 委託料 3,333

		・ 駅前広場剪定除草	396
		・ 美濃太田駅南北及び古井駅駐輪場清掃等	2,937
		3. 土地借上料	989
		・ 古井駅駐輪場用地借上料	953
		・ 古井駅トイレ用地借上料	36

目	03	公共下水道費	1,070,479千円
---	----	--------	-------------

- 下水道事業会計負担金及び補助金（公共・特環下水道事業） 1,070,479千円
一般会計が負担することとされている「雨水処理に要する経費」「分流式下水道等に要する経費」「流域下水道の建設に要する経費」「高資本費対策に要する経費」「普及特別対策に要する経費」「緊急下水道整備特定事業に要する経費」「下水道事業債（特例措置分）の償還に要する経費」「臨時財政特例債等の元利償還金」に相当する経費などを下水道事業会計に支出した。

- 主な不用額
・ 下水道事業会計負担金及び補助金 3,000千円
下水道事業会計の費用が減少し、支出する金額が削減されたため。

目	04	公園費	119,042千円
---	----	-----	-----------

- 公園維持事業の概要 (単位：千円)

事業名	事業費	主な事業内容
クリーンパートナー事業	644	1. 需用費 219 ・ ボランティア清掃等活動消耗品 219 2. 工事請負費 152 ・ クリーンパートナー表示看板作製・設置 152 3. 原材料費 273 ・ ボランティア清掃等活動原材料費 273
かわまちづくり整備事業	10,435	1. 旅費 99 ・ かわまち事業ヒアリング 旅費（東京） 99 2. 委託料 10,301 ・ かわまち中之島公園事業計画、官民連携検討 10,301
かわまちづくり整備事業 （緊急経済対策）	50,919	1. 委託料 3,875 ・ かわまち遊歩道（太田橋下）整備詳細設計（H24 繰越事業） 3,875 2. 工事請負費 47,044 ・ 太田橋下整備工事、ライン街道側帯整備（H24 繰越事業） 47,044

都市公園管理事務	46,523	1. 需用費 9,185 ・公園清掃業務消耗品等 366 ・自動車・機械用ガソリン代 195 ・光熱水費（電気・上下水道） 5,801 ・修繕料（公園施設修繕料） 2,823 2. 役務費 362 ・前平公園管理事務所電話代 33 ・し尿汲取料、浄化槽法定検査 194 ・剪定枝葉廃棄処理費 45 ・車検手数料、自動車損害保険料 90 3. 委託料 30,748 ・都市公園巡視 1,838 ・都市公園等清掃、ゴミ類集積委託 14,847 ・浄化槽保守点検、トイレ清掃 4,825 4. 使用料及び賃借料 849 ・古井近隣公園敷地賃料 849 5. 工事請負費 5,323 ・前平公園他 16 公園遊具修繕工事他 5,323
ちびっこ広場管理事務	1,921	1. 需用費 421 ・ちびっこ広場施設修繕料他 393 2. 委託料 215 ・ちびっこ広場遊具保守点検 215 3. 工事請負費 1,197 ・下組ちびっこ広場整備工事 1,197 4. 原材料費 88 ・ちびっこ広場山砂ほか 88
牧野ふれあい広場等管理事務	6,627	1. 需用費 1,294 ・公園清掃業務消耗品等 210 ・自動車・機械用ガソリン代 160 ・光熱水費（電気・上下水道） 510 ・草刈り機など修繕料 414 2. 役務費 91 ・施設所有賠償責任保険 52 ・自動車損害保険料 39 3. 委託料 3,305 ・清掃、巡視、除草委託 1,672 ・除草 851 ・福祉農園管理 446 ・樹木伐採 336 4. 工事請負費 1,613 ・消火栓設置、フェンス門扉 1,613

	5. 原材料費 ・ 山砂	324 324
--	-----------------	------------

○ 主な不用額（公園費）（単位：千円）

事業名	予算額	決算額	不用額	説明
都市公園管理事務	47,754	46,523	1,231	工事請負費 事業実施時期変更による
牧野ふれあい広場 等管理事務	7,900	6,627	1,273	工事請負費（維持修繕費）の軽減による

目	05	区画整理推進費	49,583千円
---	----	---------	----------

○ 中蜂屋土地区画整理事業の推進

当該地域は、東海環状自動車道美濃加茂IC他の主要幹線道路等の高度な交通網と、なだらかな丘陵地に位置する未利用地を活用した本市の産業経済の中心を担う産業集積ゾーンとして確立し、企業誘致地区あるいは地場産業及び人材育成地区としての発展を目指すため、道路整備及び土地区画整理事業を中心とした基盤整備を行い、産業と住民の連携・交流・人材を育む、安全で元氣な賑わいのある産業都市のまちづくりを目標に、平成19年度に事業着手している。

平成21年9月に中蜂屋土地区画整理組合が設立され、平成25年度は事業の早期完了に向けて、事業を推進した。

- 土地区画整理事業区域内においては、区域内環状1号線、区域内環状2号線の道路築造工事や舗装新設工事を行い、区域内6路線の道路整備工事は全て完成済みである。また、消火栓設置工事や調整池築造付帯工事、交通安全施設設置工事を行い、土地区画整理事業区域内の全工事は完成済みである。
- 土地区画整理事業区域外においては、土地区画整理事業区域に隣接する路線における側溝改良工事を行った。

○ 主な工事

- （1）矢田木野線側溝改良工事 6,299千円
- （2）維持修繕工事（4件） 1,517千円

○ 主な不要額

- ・ 工事請負費 7,484千円
東部広域水道事務所の事業計画を考慮し、工事施工範囲を縮小したため
- ・ 補てん賠 2,000千円
計画の見直しにより電柱移転が不要となったため

項	05	住宅費	16,937千円
目	01	住宅管理費	16,937千円

○ 主な事業の執行状況

- 住宅保全管理 16,850千円
 - ・ 入居者13名（うち随時募集による入居者1名）、退去者10名
 - ・ 三和住宅の随時募集を2度実施し、2名の応募があった。
 - ・ 平成25年度定期募集（空家募集及び補欠募集）を実施した結果、23名の応募があり入居順位を選考委員会にて決定した。

(単位：千円)

項 目	事 業 費	事 業 内 容	支出済額
需用費	3,070	設備修繕料 消耗品	3,029 41
委託料	752	消防設備保守点検 駐車場管理運営手数料等	166 586
使賃料	606	矢田住宅駐車場用地借上料	606
工事費	12,122	住宅維持及び退去に伴う修繕・改修工事等	12,122
その他	300	選考委員会委員報酬、水質検査業務	300

2 一般事務費 87千円

(単位：千円)

項 目	事 業 費	事 業 内 容	支出済額
需用費	29	関連書籍等	29
役務費	58	口座、郵便振替及びコンビニ手数料	58

款	08	消防費	792,129千円
項	01	消防費	792,129千円
目	01	消防費	738,173千円

市民の生命と財産を火災などの災害から守るため、消防活動の充実を図った。

○ 主な事業の執行状況

- 1 可茂消防事務組合負担金 675,687千円
- 2 消防団員報酬 10,494千円
 - 団員数 293名
 - 協力隊員数 15名
- 3 消防団員退職報償 5,574千円
 - 退職消防団員数

区部	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	協力隊員	合計
人数	0	3	3	2	14	6	0	28

- 4 消防団員出動手当 11,106千円

区分	火災	災害	訓練	指導	警戒	搜索	誤報	その他	合計
回数	35	1	130	4	43	0	5	120	338
人数	1,469	75	3,606	75	1,677	0	266	2,087	9,255

- 5 消防備品の整備 3,638千円
 - 消防団員活動服など
 - ちびっこ消防備品（防火衣・防火帽・ヘルメット・半天）
- 6 消防車車検手数料など（14台） 970千円

目	02	消防施設費	27,074千円
---	----	-------	----------

計画的な施設整備とともに、消防施設の維持管理を行った。

○ 主な事業の執行状況

- 1 消防ポンプ自動車（1台） 17,325千円
- 2 消防用ホース（27本） 950千円
- 3 消防用備品（双口金具・スタンドパイプ・ストップバルブ） 776千円
- 4 ホース乾燥塔設置（山之上・蜂屋）工事 3,780千円
- 5 消火栓設置・維持管理負担金 1,750千円
- 6 消防車庫光熱水費 1,315千円

目	03	災害対策費	26,882千円
---	----	-------	----------

自主防災組織等が設備整備、防災訓練をする場合の設備補助のほか、防災備品・防災備蓄品の整備を行った。

家具転倒防止器具の設置に対して補助を行った。

○ 主な事業の執行状況

- 1 防災ヘリ運営負担金 1,172千円
- 2 自主防災事業補助金 1,389千円
 - 防災設備設置 24件
 - 防災訓練補助 12件

	防災装備品	3 件	
	防災啓発グッズ	4 件	
3	家具転倒防止器具設置事業補助金	3 8 件	1 3 0 千円
4	防災行政無線の維持管理		
	防災行政無線保守点検委託	5,	6 0 7 千円
	防災無線屋外拡声子局移設工事		6 8 3 千円
	川浦川水位計修繕工事	1,	8 6 9 千円
	テレメーター・屋外拡声子局バッテリー	1,	2 9 7 千円
5	地区防災備蓄倉庫改修工事	2,	2 0 5 千円
6	防災備品の整備		
	衛星携帯電話（5 台）		4 8 3 千円
	LEDバルーン投光機（5 台）	3,	1 5 0 千円
	ハイジャッキ（8 台）		4 6 2 千円
	緊急時用浄水装置（1 台）		7 8 8 千円
	災害時用石油ストーブ（1 0 台）		2 1 8 千円
	災害用移動炊飯器（1 台）		3 5 7 千円
	訓練用模擬消火栓（3 台）		3 7 5 千円
7	防災備蓄品の整備		
	土砂災害危険地域要援護者支援避難袋（1 1 0 セット）		6 2 3 千円
	アルカリ乾電池		
	（単 1：6 6 0 本・単 2：2 4 0 本・単 3：2, 0 0 0 本）		1 9 6 千円
	災害用保存食アルファ米（1, 2 0 0 食）		3 3 3 千円
	災害用保存食安心米・救命ライス（1 0 0 個）		6 5 千円
	災害用非常食リッツ（1 8 L 缶×2 缶 1 6 箱）		2 5 2 千円
	災害用非常食ビスコ（5 枚×6 P）1, 0 0 0 缶		3 6 8 千円
	災害用保存水（1. 5 L：7 0 4 本・5 0 0 m l：4 3 2 本）		2 7 2 千円
	災害用医薬品		3 9 千円
	パック毛布（2 3 0 枚）		6 7 6 千円
	簡易トイレ凝固・衛生セット（2 0 セット）		4 3 2 千円
	ほ乳ボトル・粉ミルク・生理用品・おむつ・トイレットペーパー等		3 7 0 千円

款	09	教育費	2, 0 6 4, 4 4 0千円
項	01	教育総務費	3 2 5, 5 6 1千円
目	01	教育委員会費	2, 2 2 9千円

- 教育委員会運営事業 2, 2 2 9千円
 毎月定例会を開催し、教育行政の課題や教育委員会規則等の審議などを行ったほか、学校訪問による教育現場での指導等を実施した。

- ・ 委員報酬（教育長を除く委員 5 名） 2, 2 2 0千円

委員会名	開催回数	備 考
定例会	1 2 回	毎月 1 5 日前後
臨時会	1 回	教職員人事に関する協議（3/7）

目	02	事務局費	2 9 6, 8 4 5千円
---	----	------	----------------

- 事務局運営事業（教育総務課） 6, 3 5 3千円
 ・ 教育長交際費（関係団体会合への出席ほか） 1 0 4千円
 ・ 教育長旅費 2 3 0千円
- 英語教育推進事業 1 3, 4 1 9千円
 ・ 小中学校に 3 名の M E T を派遣し、小中学校英語活動・英語教育の推進と充実を図った。
 ・ 市教委、派遣業者、M E T が参加する月末ミーティングを位置づけ、M E T の学校に対する要望、学校から M E T に対する要望をすり合わせる会を設定した。その結果、M E T と学校とが質の高い連携をとることができるようになり、児童生徒が学びやすい環境を整えることができた。
- 外国人児童生徒就学促進事業 ～のぞみ教室の運営～ 2, 5 5 7千円
 ・ 「定住外国人の子どもの就学支援事業」により 1 1 名のスタッフで指導にあたり、4 6 名の子が入室・通級し、4 1 名が退室した。学習や児童生徒の送迎に対応したり、一人一人に対して、よりきめ細かな指導ができるように工夫したりするなど内容を拡充して運営した。
- FROM-0 歳プラン推進事業 ～特色ある学校づくりの推進～ 1 1, 0 0 0千円
 ・ FROM-0 歳プランの三つの重点（ロングスパン教育、面による指導、授業改革）に対して、各小中学校が学校の特色を生かした教育活動を創意工夫した。2 5 年度は、太田小学校が公表会を行った。市内各校区の実践の結果、FROM-0 歳プラン推進に対する教職員だけでなく児童生徒や保護者・地域の人々の意識を高めることができた。また、2 5 年度より各学校への補助金を平均 1 0 0 万円に増額し、特色ある学校づくりの一層の推進を図った。
- 情報教育推進事業
 ・ 各学校パソコン教室パソコンリース費 4, 9 6 0千円
 ・ 校務支援サーバーセキュリティ保守 5 5 千円
 ・ 消耗品費・修繕料 4 6 4 千円
- 学校保健事業 4, 1 4 5 千円
 （1）腸内細菌検査（役務費） 1 1 4 千円
 学校給食に携わる校務員と給食業務補助員を対象に、毎月 1 回「赤痢菌、サルモネラ菌、O-1 5 7 菌」の 3 検査項目を実施
- （2）児童・生徒健康診断（委託料）
 ・ ぎょう虫検査 1 7 4 千円
 小学校 1 年から 3 年生までを対象に実施
- ・ 心電図検査 2, 0 4 8 千円
 小学校 1 年生・4 年生、中学校 1 年生が対象。一次検診（問診、4 誘導心電図、心音図検査）と二次検診（1 2 誘導心電図、負荷心電図検査・心エコー検査）を実施

- ・尿検査 832千円
全児童・生徒を対象に、「腎臓疾患」及び「糖尿病」を早期に発見するため、一次検査、二次検査を実施
- ・結核検診（10人受診） 50千円
転入の外国籍児童・生徒（過去3年間に半年以上蔓延国に居住していた者）に結核検診を実施

（3）教職員健康診断（委託料） 93千円

○ 日本スポーツ振興センター共済掛金 4,645千円

・給付件数及び給付金額 (単位：件、円)

学 校	太田小	古井小	山之上小	蜂屋小	加茂野小
給付件数	31	24	6	17	41
給付金額	63,063	31,870	11,575	24,771	87,141
学 校	伊深小	三和小	下米田小	山手小	小学校小計
給付件数	1	2	13	34	169
給付金額	641	2,343	22,446	49,221	293,071
学 校	西 中	東 中	中学校小計	合 計	
給付件数	79	57	136	305	
給付金額	192,584	270,903	463,487	756,558	

目	03	教育センター費	26,487千円
---	----	---------	----------

○ 教育相談・適応指導教室事業 200千円

- 1 不登校児及び保護者等の教育相談やカウンセリングを積極的に実施した。
- 2 学校教育相談員や教育相談主任への実践交流会や指導研修会を実施して、指導力の向上を図った。
- 3 可茂地区4つの適応指導教室がネットワークを図り合同で事業をすすめた。

○ 教職員研修事業 373千円

- 1 今日の課題をふまえた講座を充実させたり、リーダー層や若手教員の力量を高める講座に力を入れたりした。センター講座を見直し74講座実施した。
- 2 学校の授業研究等との連携によるタイアップ講座も充実させた。

○ 教育研究会事業

- 1 市教育研究会への支援を行い、各教科研究会等を通して市内小中教職員の指導力向上を図った。
- 2 市の3つの研究委員会を通して外国語教育や性教育等の充実に関与した。

○ 主な歳出

- ・教育センターの機能強化事業 220千円
- ・小学校音楽会事業 333千円
- ・教育センター運営事業 981千円

項	02	小学校費	385,872千円
目	01	小学校管理費	362,341千円

【24繰越明許】国庫補助

○ 小学校空調整備事業（緊急経済対策） 166,648千円

太田小、山之上小及び蜂屋小の空調設備整備工事及び施工監理業務を実施

○ 小学校防災機能強化事業（緊急経済対策）	17,644千円
太田小北舎2次部材等補強改修工事及び施工監理業務を実施	
【25 当初予算】	
○ 小学校耐震補強及び大規模改造事業	17,512千円
古井小の北舎耐震補強、トイレ改修等の実施設計業務を実施	
山手小の南舎改修、トイレ改修等の実施設計業務を実施	
蜂屋小南舎外部改修工事及び体育館修繕工事	
○ 小学校空調整備事業	6,095千円
古井小、伊深小、三和小及び山手小空調設備整備工事の実実施設計業務を実施	
○ 小学校増改築事業	13,751千円
山手小校舎増築工事の実実施設計業務を実施	
○ 小学校施設営繕工事	42,428千円
教室不足の解消や雨漏り防止工事を施工したほか、学校施設の適正な維持管理のため、各小学校の営繕工事を実施	
(1) 太田小プールろ過機更新工事	3,990千円
(2) 山手小北舎玄関前改修工事	1,572千円
(3) 加茂野小・下米田小プールろ過機更新工事	8,442千円
(4) 蜂屋小シャワーブース設置工事	2,961千円
○ 小学校運営事業	
(1) 学校施設修繕料	2,762千円
(2) 学校備品購入費	5,894千円
(3) 施設等保守管理委託料	
・浄化槽保守点検委託業務	1,143千円
・エレベーター保守点検委託業務	3,969千円
・自家用電気工作物保守管理委託業務	1,493千円
・非常通報装置保守点検委託業務	604千円
・防犯火災監視警備委託業務	396千円
・小学校受水槽等清掃委託業務	474千円
・その他の委託業務	3,288千円
○ その他の歳出	
・小学校校医報酬	6,025千円
・各小学校配当分（管理費分）	44,394千円
○ 主な不用額	
・小学校耐震補強事業委託料及び工事請負費	18,738千円
・小学校空調整備事業工事請負費	143,000千円
・小学校増改築事業委託料	4,948千円
・小学校施設営繕工事請負費	3,171千円

目	02	小学校教育振興費	23,531千円
---	----	----------	----------

児童就学援助・奨励事業	12,223千円
(1) 要保護及び準要保護児童就学援助費（扶助費）	11,002千円

費	目	該当児童数	奨励費(千円)
---	---	-------	---------

学用品費・通学用品費	2 2 2	2, 4 7 4
校外活動費等	1 4 5	2 3 3
新入学児童学用品費	2 2	4 3 8
修学旅行費	3 4	7 0 6
給食費	2 2 4	7, 1 5 1

(2) 特別支援教育就学奨励費(扶助費)

1, 2 2 1 千円

費 目	該当児童数	奨励費(千円)
給食費	5 7	9 4 5
学用品費・通学用品費	3 8	1 3 5
その他(校外活動費等)	4 3	1 4 1

<参考> ※ 小学校児童等の状況 (平成25年5月1日現在)

小学校名	児童数	学級数	教職員数
太田小	5 7 3	1 9	3 9
古井小	5 5 4	2 1	4 8
山之上小	1 7 7	8	2 2
蜂屋小	4 4 0	1 6	3 7
加茂野小	6 2 5	2 1	4 5
伊深小	5 7	6	1 4
三和小	2 8	3	1 3
下米田小	3 4 2	1 4	3 2
山手小	5 7 1	2 2	4 6
計	3, 3 6 7	1 3 0	2 9 6

※学級数には特別支援学級を含む。

※教職員数は、校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、事務職員、県費講師(常勤及び非常勤)、市費支援員、ふれあい安全サポーター及びほほえみ相談員の合計(兼務者は除く。)

○ その他の歳出

・各小学校配当分(振興費分)

1 1, 2 6 6 千円

項	03	中学校費	8 3, 6 2 4 千円
目	01	中学校管理費	6 9, 1 6 3 千円

【24繰越明許】国庫補助

○ 中学校防災機能強化事業(緊急経済対策)

1 2, 7 0 0 千円

東中学校北舎2次部材等補強改修工事及び職員トイレ改修工事を実施

【25当初予算】

○ 中学校大規模改造事業

3, 5 3 8 千円

西中トイレ改修工事の実施設計業務を実施

○ 中学校施設営繕工事

3, 7 6 0 千円

学校施設の適正な維持管理のため、各中学校の営繕工事を実施

(1) 西中学校配膳室シャッター取替工事

7 3 5 千円

(2) 西中学校の森整備工事

9 1 4 千円

○ 中学校運営事業

(1) 学校施設修繕料

8 6 9 千円

（２）学校備品購入費	3, 8 5 7 千円
（３）施設等保守管理委託料	
・ 自家用電気工作物保守管理委託業務	5 6 5 千円
・ 防犯火災監視警備委託業務	1, 1 3 4 千円
・ その他の委託業務	1, 7 8 3 千円
・ 空調設備保守点検業務	1, 8 3 7 千円
・ 中学校スキー研修委託業務	2, 9 1 2 千円
○ その他の歳出	
・ 双葉中学校組合負担金	4, 9 7 9 千円
・ 中学校校医報酬	2, 1 7 5 千円
・ 各中学校配当分（管理費分）	2 1, 0 8 5 千円
○ 主な不用額	
・ 中学校組合負担金	1, 0 2 5 千円

目	02	中学校教育振興費	1 4, 4 6 1 千円
---	----	----------	---------------

○ 生徒就学援助・奨励事業	7, 2 9 0 千円
（１）要保護及び準要保護生徒就学援助費（扶助費）	6, 9 3 7 千円

費 目	該当生徒数	援助費(千円)
学用品費・通学用品費	8 5	1, 7 2 1
校外活動費等	2 4	3 8 7
新入学児童学用品費	2 4	5 4 9
修学旅行費	2 3	1, 2 6 2
給食費	8 4	3, 0 1 8

（２）特別支援教育就学奨励費（扶助費）	3 5 3 千円
---------------------	----------

費 目	該当生徒数	援助費(千円)
給食費	1 0	2 0 6
学用品費・通学用品費	7	7 7
その他（校外活動費等）	8	7 0

<参考> ※中学校生徒等の状況（平成25年5月1日現在）

中学校名	生徒数	学級数	教職員数
西 中	8 0 6	2 4	6 5
東 中	6 9 9	2 2	6 2
双葉中（市分）	5 1	-	-
合 計	1, 5 5 6	4 6	1 2 7

※学級数及び教職員数は小学校に同じ。

○ その他の歳出	
・ 通学費補助	1 2 6 千円
・ 各中学校配当分（振興費分）	5, 6 6 5 千円

項	04	幼稚園費	5 4, 6 5 6 千円
目	01	幼稚園就園奨励費	5 4, 6 5 6 千円

- 私立幼稚園に通園する園児の就園を促進するため、低所得保護者負担分の一部を補助した。

私立幼稚園就園奨励費補助金

市民税非課税（生活保護世帯を含む）	17人	3,411千円
市民税の所得割が非課税	7人	1,452千円
市民税の所得割が 77,100円以下	75人	9,573千円
市民税の所得割が211,200円以下	448人	40,218千円

- 幼稚園就園奨励事業の状況（年齢別内訳）

年 齢	人 数
満3歳児	27人
3歳児	182人
4歳児	168人
5歳児	170人
合 計	547人

- 主な不用額

・ 幼稚園就園奨励費

1,344千円

項	05	社会教育費	540,580千円
目	01	社会教育総務費	22,073千円

- 定住自立圏協定に基づき、広域的に生涯学習事業を展開するため、9月には美濃加茂市、坂祝町、富加町と共同で、平成26年3月には美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、東白川村の計7市町村共同で生涯学習情報誌「学びのとびら」を発行し、また、6市町村において生涯学習情報を掲載したホームページを運営して、圏域住民への生涯学習機会の充実を図った。
- 地域での子育てや仲間づくりを支援するため、就学前までの幼児を対象とした乳幼児期家庭教育学級を26学級開講した。また、新生児期（0歳児）の子どもとその親を対象とした家庭教育学級として4回シリーズで完結する「はじめの一步」を誕生日月に応じて年間6回開講した。
- 市子ども会育成連絡協議会主催の「ドッジビー大会」「チャレランみのかも」やみのかもジュニアリーダーズクラブと青年団が連携して開催したアドベンチャーキャンプなど、子どもを対象にしたさまざまな事業を展開した。
- 市が募集した委員による成人式実行委員会や自主的に立ち上げた成人式実行委員会OBによる活動団体などと連携を図りながら協働による成人式を開催するなど、青年教育の推進を図った。
- 市青少年育成市民会議主催による「少年の主張美濃加茂大会」「みのかもの子どもをたくましく育てるつどい」や大型店舗での啓発事業を実施することにより、青少年健全育成を推進した。
- 市少年センターでは、補導委員による定期巡回補導を実施して青少年への声かけを進め、非行防止活動を展開した。
- 生涯学習審議会委員を委嘱し、生涯学習によるまちづくりを実現するための各種課題に対する検討を行った。
- 可茂視聴覚ライブラリーの作品を充実させるとともに、市社会教育視聴覚協議会による「第4土曜映画会」や「夏休みファミリーシネマのタベ」などの開催し、視聴覚教育を推進した。
- 実行委員会方式による「生涯学習フェスティバル」（11月）を開催し、生涯学習活動団体に対して学習の成果を発表する機会を創出した。
- 市の生涯学習施設の拠点である生涯学習センターにおいて、IT講座や関係機関と連携した各種講座、また市民が講師となって講座の企画から運営まで携わる市民企画講座を引き続き実施し、市民の多様な学習ニーズに応える生涯学習講座を開設した。また、市民の学習意欲と課題解決に応じて

「出前講座」事業を展開した。

- 地区における生涯学習活動拠点である交流センターを通じて地区の生涯学習活動を推進するため、生涯学習活動推進委員会などを開催し、サークル活動の支援や講座開設などを進め、生涯学習によるまちづくりを実現するための事業を展開した。

○ 主な事業の執行状況

・生涯学習情報誌の共同発行事業（定住）	1, 4 2 8 千円
・生涯学習ホームページ構築事業（定住）	2 7 4 千円
・家庭教育事業（新生児・乳幼児家庭教育学級）	5 9 9 千円
・子ども健全育成事業（子ども会活動補助金など）	1, 2 7 5 千円
・青年教育事業（成人式開催・青年団への補助など）	9 0 7 千円
・青少年健全育成推進事業（青少年育成市民会議への交付金など）	6 2 1 千円
・市少年センター運営事業	7 4 4 千円
・生涯学習審議会開催等	2 9 9 千円
・視聴覚教育推進事業	3 9 8 千円
・生涯学習活動推進事業（講座講師への謝礼）	1, 7 6 3 千円

○ 主な不用額

・生涯学習情報誌の共同発行事業（定住）	1, 1 7 2 千円
---------------------	-------------

理由）情報誌作成に係る経費が、予算に対して安価であったため。

目	02	交流センター費	5 2, 1 6 6 千円
---	----	---------	---------------

- 各交流センターにおいて、快適に利用していただけるように、必要なメンテナンスを実施した。
- 加茂野交流センターの新築にむけて、住民参加型ワークショップを運営し、基本設計を実施した。
- 交流センター利用人数 （単位：人）

区 分	平成 2 5 年度	平成 2 4 年度	差 引 増 減
太田交流センター	20,753	18,335	2,418
上古井交流センター	20,226	18,667	1,559
下古井交流センター	7,839	7,085	754
山之上交流センター	17,321	17,008	313
蜂屋交流センター	16,983	18,444	▲ 1,461
加茂野交流センター	13,551	11,772	1,779
伊深交流センター	2,374	2,193	181
三和交流センター	3,389	3,181	208
下米田交流センター	3,984	3,494	490
牧野交流センター	19,962	18,509	1,453
合 計	126,382	118,688	7,694

- 交流センター使用料収入 （単位：円）

区 分	平成 2 5 年度	平成 2 4 年度	差 引 増 減
交流センター合計	5,618,920	4,001,315	1,617,605

○ 主な事業の執行状況

・交流センター修繕	5 3 0 千円
-----------	----------

・交流センター昼間・夜間管理及び施設維持管理委託	15,796千円
・加茂野交流センター建設事業（基本設計委託）	7,920千円

目	03	生涯学習センター費	46,589千円
---	----	-----------	----------

- 生涯学習センターを快適に利用できるよう、生涯学習センター栄養指導室の改修工事、2階集会室・会議室の改修工事を実施した。
- 生涯学習活動を推進するため、生涯学習センター2階集会室・会議室の机・椅子などの備品を購入した。

- 利用人数 単位：人

区 分	平成25年度	平成24年度	差引増減
生涯学習センター	117,893	104,047	13,846

- 使用料収入について 単位：円

区 分	平成25年度	平成24年度	差引増減
生涯学習センター	5,043,370	3,780,940	1,262,430

- 主な事業の執行状況
 - ・生涯学習センター夜間・休日管理及び施設維持管理委託 10,260千円
 - ・生涯学習センター栄養指導室改修工事 14,516千円
 - ・生涯学習センター2階内部改修工事 6,048千円
 - ・生涯学習センター備品購入 4,385千円

目	04	図書館費	124,320千円
---	----	------	-----------

- 主な事業内容と成果

市民の図書館利用を推進するため、重点目標（読書普及の拡大・利用者サービスの充実・図書館資料の整備充実）を設定し運営を行った。

 - 1 フロム0歳プラン及び子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書普及を図る中で、0歳児と保護者に、絵本の手渡しプレゼント（ブックスタート事業）及び乳幼児向けの読み聞かせや、あそびの広場（読み聞かせ、わらべうた、手遊び）を実施し、読書普及に努めた。
 - 2 休館日の変更及び閉館時間延長（東館）、開館時間の繰上げや図書館資料の収集に努め、読書普及の推進を図った。
 - 3 7月から9月の3ヵ月間は、開館時間を30分繰り上げ午前9時30分からとし、また、東館の平日閉館時間を2時間延長し午後8時までとし、図書館利用者の利便を図った。
 - 4 インターネットから図書資料の検索及び自宅パソコン、携帯電話から本の予約による利用者サービスを図るとともに、図書館ホームページの内容及び情報を逐次更新し、利用者へのサービス向上に努めた。
 - 5 図書館から遠い北部地域住民への利用サービス向上のため、北部分室で月2回の貸出しや読み聞かせを実施し、読書普及に努めた。
 - 6 利用者サービスを充実するため、来館が困難な人へ、図書の宅配サービスを実施した。
 - 7 図書館の広域利用サービス充実のために、坂祝町中央公民館図書室と図書資料の共同利用及び行事の共同開催を行ない、定住自立圏構想の推進を図った。
 - 8 図書館システムをクラウド型に更新した。

○ 図書館資料購入費

10,108千円

中央図書館

(金額単位：千円)

区 分	平成25年度		平成24年度	
	数 量	金 額	数 量	金 額
図 書	2,108冊	4,293	2,087冊	4,253
視 聴 覚 資 料	0点	0	7点	50
雑 誌	43種	447	43種	432
新 聞	8紙	348	8紙	366

東図書館

(金額単位：千円)

区 分	平成25年度		平成24年度	
	数 量	金 額	数 量	金 額
図 書	2,699冊	4,150	2,818冊	4,150
視 聴 覚 資 料	17点	50	16点	50
複 製 絵 画	—	—	—	—
雑 誌	42種	386	44種	397
新 聞	7紙	254	7紙	253

北部分室

(金額単位：千円)

区 分	平成25年度		平成24年度	
	数 量	金 額	数 量	金 額
図 書	80冊	149	91冊	146
雑 誌	9種	31	9種	31

○ 図書館資料の所蔵状況（平成26年3月31日現在）

区 分		中央図書館	東図書館	北部分室
蔵 書	一 般	94,460冊	67,625冊	1,679冊
	児 童	42,794冊	34,480冊	1,064冊
	計	137,254冊	102,105冊	2,743冊
視 聴 覚 資 料	コンパクトディスク	770枚	1,354枚	—
	レーザーディスク	927枚	489枚	—
	ビデオ	187本	1,069本	—
	カセット	304本	—	—
	デジタル多用途ディスク	466枚	335枚	—
	複 製 絵 画	—	195点	—

○ 図書館利用登録者数（団体登録を含む・平成26年3月31日現在）

(単位：人)

区 分	登録者総数	25年度新規登録者	24年度新規登録者
中央図書館	20,718人	696人	624人
東 図 書 館	16,769人	703人	593人
北 部 分 室	81人	9人	1人
合 計	37,568人	1,408人	1,218人

○ 図書館資料の利用状況

平成25年度開館日数 中央278日 東290日 北部分室 244日（内貸出返却日数35日）
 ・「おひざでごろごろ」毎月第2水曜日(中央)、「おはなしランド」毎週土曜日(中央)、「にじのお

はなし広場」毎週土曜日(東)等、ボランティアの協力により、乳幼児向けの読み聞かせを開催し、親子で本に親しんでもらえるよう努めた。

・洋書の購入拡大を図るとともに、あわせて雑誌も引き続き購入して魅力ある図書館になるよう努めた。
詳細は以下のとおり。

区 分		中央図書館		東図書館		北部分室	
		平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度
入 館 者 数		81,774 人	83,910 人	116,642 人	113,873 人	1,025 人	785 人
図 書 貸 出 数		116,863 冊	120,355 冊	164,063 冊	156,746 冊	2,281 冊	1,858 冊
館内利用	コンパクトディスク	153 件	143 件	467 件	341 件	—	—
	レーザーディスク	872 件	949 件	653 件	763 件	—	—
	ビデオ	0 件	0 件	760 件	752 件	—	—
	カセット	0 件	0 件	—	—	—	—
	デジタル多用ディスク	2,780 件	2,695 件	1,439 件	1,668 件	—	—
貸出	コンパクトディスク	—	—	2,947 枚	3,206 枚	—	—
	ビデオ	—	—	562 本	835 本	—	—
	デジタル多用ディスク	—	—	839 枚	1,041 枚	—	—
	複製絵画	—	—	320 点	380 点	—	—
インターネット		2,413 件	2,804 件	1,841 件	2,333 件	—	—

○ 夏季期間（7月～9月）の開館時間変更による利用状況

開館時間を繰上げて、利用促進を図った。

- ① 開館時間 午前9時30分～午後6時（土日祝日は、午後5時15分）
- ② 節電、ノーテレビデイの読書推進として、土曜日（7月・8月）の視聴覚コーナーの利用を休止
開館時間繰上げ利用状況（7月～9月、午前10時開館を午前9時30分に繰上げ）

区 分	中央図書館		東図書館	
	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
開館延長日数	70 日	73 日	70 日	73 日
午前 10 時までの入館者数	1,183 人	1,132 人	1,533 人	1,511 人
午前 10 時までの一日平均入館者数	17 人	16 人	22 人	21 人
午前 10 時までの利用者数	234 人	185 人	279 人	279 人
午前 10 時までの一日平均利用者数	3 人	3 人	4 人	4 人
午前 10 時までの貸出冊数	707 冊	804 冊	1,101 冊	1,101 冊
午前 10 時までの一日平均貸出冊数	10 冊	11 冊	15 冊	15 冊

○ 東図書館の開館時間2時間延長(平日)による利用状況 [18:00～20:00]

区 分	中央図書館		東図書館	
	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
閉館延長日数	— 日	— 日	178 日	— 日
18 時～20 時までの入館者数	— 人	— 人	7,391 人	— 人
18 時～20 時までの一日平均入館者数	— 人	— 人	42 人	— 人
18 時～20 時までの利用者数	— 人	— 人	2,446 人	— 人
18 時～20 時までの一日平均利用者数	— 人	— 人	14 人	— 人
18 時～20 時までの貸出冊数	— 冊	— 冊	9,988 冊	— 冊
18 時～20 時までの一日平均貸出冊数	— 冊	— 冊	56 冊	— 冊

○ インターネットによる図書予約利用状況（平成14年1月～利用開始）

区 分	平成25年度	平成24年度
新規登録者数	492人	451人
貸出冊数	2,083冊	2,609冊

* 貸出中の図書に限り予約可能

○ 宅配サービス利用状況（毎月第3木曜日宅配）（平成13年1月～利用開始）

年度末登録者35人

区 分	総利用数	平成25年度	平成24年度
利用者数	1,489人	149人	189人
貸出冊数	7,552冊	639冊	871冊

○ 図書館施設利用状況

区 分	中央図書館		東図書館	
	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度
集会室	25件	11件	—	—
視聴覚ホール	—	—	115件	89件
和室	57件	36件	119件	129件
会議室	—	—	160件	172件
利用内容	・絵本の読み聞かせ ・サークル活動 ・図書館まつり等行事 ・図書館ボランティア定例会 ・夏休み学習用に開放		・サークル活動 ・コンサート ・ピアノ発表会 ・映画会 ・各種団体の会議、研修	

○ ブックスタート赤ちゃん絵本事業 763千円

・ブックスタート事業

（平成21年4月から実施）

赤ちゃん絵本を開く楽しい体験とともに、赤ちゃん保護者がゆっくり向き合い、楽しくあたたかい時間をもつきっかけづくりに、市内在住の1歳未満の赤ちゃんに保健センターで行なう「こんにちは赤ちゃん訪問員」が、各家庭を訪問、絵本の読み聞かせと絵本、アドバイス集、絵本リスト等が入ったバックを手渡し、図書館利用を普及する。

月別配布実績

（単位：冊）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
配布冊数	45	53	41	40	45	47	57	40	42	46	35	53	544

・赤ちゃん絵本事業 46千円

（平成17年4月からこども課で実施し、22年度からはブックスタート事業に合わせて図書館が実施）

地域に生まれた赤ちゃんの健やかな成長と安心して子育てのできる地域づくりという目的で赤ちゃんが母さんとのふれあいと心を育てるために、絵本を介して温かく楽しいふれあいのひとときを持つことの大切さを伝えるとともに、子育てに関する相談や親子が集うことのできる場所の紹介を行なう。

* 対象者 保健センターで行なう6～7ヶ月育児相談

* 場 所 保健センター内 育児相談室

* 実施方法 1) 読み聞かせボランティア8名が1対1で対応し、親子に絵本を読み聞かせる。

2) 年齢に合った絵本を紹介する。

3) 子育てに関する相談ができ、親子が集うことができる場所を紹介する。

月別読み聞かせ参加者実績

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
対 象 者	49	49	49	24	40	38	40	44	51	48	53	37	522
相 談 者	37	42	35	24	27	26	39	29	36	38	42	30	405
読み聞かせ参加者	25	37	25	11	24	14	25	17	26	24	35	25	288

・あそびの広場

平成25年度から、カナリヤの家、健康課、図書館共同事業。カナリヤの家が主体となつて、9～10ヶ月児の子どもの遊び(運動)と発達について、親が子にどのようにかわるかをそれぞれの親子の遊びを観察しながら指導。6ヶ月育児相談以降、1歳半までの空白の期間があった。早期に発達の気づきを見つけ指導する。図書館は、絵本の読み聞かせや、わらべうた、手遊びなど子どもとの遊びを実践。

月別参加実績

(単位：人(組))

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者数	17	16	18	9	15	15	11	13	10	15	12	7	158

○ 図書館システム広域利用事業費(定住自立圏) 24,207千円

平成23年4月から美濃加茂市立図書館と坂祝町中央公民館図書室の図書資料及び図書館機器等、図書館運営の全般を共同利用し、事務経費の軽減と、関連する研修やイベントを共同で開催して、利用者が身近なところでいつでも図書館を利用できるよう利便性を図ることでサービスの向上に努めた。

また、図書館システム更新に合わせて、10月からクラウド型による図書館システムを導入し、図書館業務関連機器の経費削減に努めた。

目	05	文化振興費	11,554千円
---	----	-------	----------

○ 文化会館では、「①上質な音楽と文化を広く市民に ②音楽と文化をまちじゅうに ③音楽と文化で人をそしてまちを活性化」を運営理念に掲げ、周辺自治体との個性化を図りつつ美濃加茂オリジナルの事業を展開した。

○ 主な事業の執行状況

1 自主事業費

9,396千円

事業名	実施日	集客数(人)	備考
みのかもダンスフェスタ VOL. 6	25. 05. 18	764名 (出演者含む)	市民参加型の催事で、フラダンスをはじめベリーダンス、ヒップホップやチアダンスなど多彩なダンスグループ出演によるフェスティバルを開催した。 10団体 268名出演
みのかもバンドフェスタ VOL. 6	25. 07. 07	308名 (出演者含む)	市民参加型の軽音楽バンド演奏。音と光が織りなすホールステージ事業で、出演者と来場者が一体となった事業となった。 9バンド 33名出演

ドラえもん「ファミリーステージショー」	25. 08. 03	595 名	映画やテレビでおなじみの人気キャラクター「ドラえもん」が登場する親子で楽しめるファミリーステージショーで、1 部では劇を、2 部では来場者も一緒に参加する場面もあり、親子で楽しめるステージショーとなった。
名古屋フィルハーモニー交響楽団「水辺のコンサート」	25. 08. 10	428 名 (中高校生招待を含む)	「上下水道開通 55 周年」を記念して、市（上下水道課）が主催した名フィルによる「水辺のコンサート」を実施。このコンサート本番前には、市内中高校生にリハーサル風景を見ていただく機会も設けた。また、市茶華道連盟による冷茶サービスも来場者に提供された。
業者との共催 小椋佳「歌紡ぎの会」	25. 09. 14	557 名	当会館と業者との共催で、一流アーティストを招聘し、コンサートを実施。（招聘費用以外は、当会館で負担）
ピアノ一般開放	25. 10. 27	20 名	普段はなかなか利用できないホールピアノ（有料 1 時間 500 円）とグランドピアノ（無料）を個人などに利用してもらうことを目的に実施した。
まちかどライブ in 日本昭和村 出演：CRIKET QUARTET	25. 11. 09	180 名	日本昭和村において市民まつりが開催されるのに併せ、「音楽等をまちじゅうに広げる」ことを目的に、会館を飛び出して多くの市民に音楽を聞いてもらう機会を設けた。
桂文珍独演会	25. 11. 23	423 名	一流の芸能を市民の皆さんに味わっていただこうと、上方落語の重鎮である「桂文珍」氏を招いて独演会を開催した。
第 2 回ミノカモ学生演劇祭	26. 03. 08～ 09	のべ 350 名 (2 日間合計)	若い人たちに演劇の場を提供しようと文化振興課との共催事業。学生が見たミノカモを題材にした戯曲をミノカモの地で発表する演劇を開催した。5 大学が参加し、来場者も審査に加わり、今年度は、「名古屋学芸大」がグランプリに輝いた。
まちかどライブ in 東図書館 視聴覚ホール 出演：Flying Doctor, hocco	26. 03. 15	40 名	11 月に続き、市内の各施設などで行う「まちかどライブ」の第 2 弾として、東図書館の視聴覚ホールにて開催。上質な音楽を市民へ提供した。
ドリームコンサート	DC…毎月第 2 金曜日の 午後 7 時～	のべ 634 名	「良質な音楽を身近に感じてもらおう」と企画しているもので、これまでに 14 年以上実施している。(Vol. 157～166)さまざまなジャンルで活躍する方々を招いて演奏していただいた。

2 展示等事業費

2, 158千円

(1) 第15回美濃加茂市文芸祭 展 示 (平成25年10月22日～26日)

表彰式・講評会 (台風接近により中止)

部 門	応募人数	応募点数	入賞・入選点数	部 門	応募人数	応募点数	入賞・入選点数
短 歌	94	187	28	俳 句	187	374	44
川 柳	108	214	34	狂 俳	108	215	15
俚 謡	58	116	23	現代詩	24	32	9

(2) 市民書初め展 平成26年1月24日～26日

応募点数 370点 (入選点数 86点)

(3) その他主な事業

○文化団体まつり (文化団体連盟主催)	平成25年11月3日～11日
第62回芸能祭、第62回茶華道祭	(11月 3日)
「こども俳句・写生大会」作品展示	(11月3日～11日)
「こども俳句・写生大会」優秀作品表彰	(11月 4日)
記念講演会「夢をかなえる」堀江耕太氏	(11月 4日)
逍遙座・みのかも「声のドラマ」の会 朗読劇	(11月 4日)
第26回市民音楽祭(子ども呈茶席)	(11月11日)
○文化団体フォーラム (文化団体連盟)	平成26年 3月16日

目	06	文化会館費	128, 970千円
---	----	-------	------------

○ 市民の芸術文化や生涯学習の向上を図り、市民のみなさんが利用しやすい施設環境を整えた。

○ 文化会館利用状況 (単位：件)

区 分	利用件数	区 分	利用件数	区 分	利用件数
ホール	134	会議室	142	音楽スタジオ	129
練習室	989	和室	173	リハーサル室他	300
展示室	300	合 計	2, 167		

延べ利用団体数 1, 615団体

延べ利用者数 71, 055人

○ 主な歳出

燃料費	1, 695千円	光熱水費	6, 612千円
委託料	15, 789千円		
工事請負費	78, 858千円		
・ 舞台吊物改修工事	27, 237千円		
・ 調光器盤更新工事	49, 878千円		
・ 楽屋入口改修工事	1, 113千円		

* 主な不用額

需用費 1, 391千円

需用費 (電気料) の支出が少なかったため。

委託料 1, 161千円

業者による舞台管理費をはじめ施設管理業務等の支出が少なかったため。

目	07	文化の森費	154,908千円
---	----	-------	-----------

○ 文化の森は、「地域に根ざした森」をキーワードに、様々な体験を通して地域の歴史、文化、自然とのふれあい、学習する場となるよう活動を行った。

・文化の森施設の利用状況

(単位：人)

	常設展	企画展	学校活用	講座イベント等	情報学習室	市民活動	貸館	教育センター等	視察	その他	合計
4月	1,478	951	245	535		229	2,181	187	0	581	6,387
5月	1,989	2,462	1,158	427		231	1,324	361	0	795	8,747
6月	1,930	186	985	284		284	3,813	338	0	782	8,602
7月	1,899	530	503	455		136	2,439	359	4	632	6,957
8月	2,149	750	197	753		92	1,548	187	0	568	6,244
9月	2,314	564	391	575		194	4,608	272	0	892	9,810
10月	2,178	1,292	1,890	965		247	1,707	349	52	868	9,548
11月	2,553	2,130	1,683	254		324	2,781	300	12	1,004	11,041
12月	1,460	633	652	711		205	2,502	335	0	650	7,148
1月	1,153	804	760	196		208	1,629	197	20	497	5,464
2月	1,455	1,243	885	230		234	2,413	237	31	672	7,400
3月	1,212	863	265	113		190	2,286	216	11	515	5,671
合計	21,770	12,408	9,614	5,498	0	2,574	29,231	3,338	130	8,456	93,019
前年度	20,926	8,269	9,724	4,835	1,957	2,653	29,622	2,769	63	8,083	88,901

* 講座・イベント等の人数は□催し物・コンサート等、□定期講座・行事、□博学連携フォーラムの合計

・報道関係に掲載・紹介された状況

(単位：件)

	新聞	雑誌等	テレビ	ラジオ	その他
展覧会	46	56	2	3	20
講座	19	32	4	0	24
イベント	29	20	2	5	10
その他	6	2	9	0	2

○ 学習活用事業

6,214千円

文化の森では、学校の授業の一環としてボランティアの方と共に活動（学校活用）を行っている。文化の森と学校間を結ぶバスは、博学連携事業の運用に不可欠な要素となっている。児童が休日や長期の休暇を使って自ら博物館を訪れ、生涯にわたって博物館と関わっていける子どもを育むため、F-Oプランの具現の場として「文化の森こどもわくわくプログラム」を行っている。

・活動実施日総数

平成25年度 計130日 活動可能日 計158日 利用率82.28%

(平成24年度 計125日 活動可能日 計153日 利用率81.70%)

△＝減

	利用者(人)	団体数	学級数	学年数	ボランティア(人)
25年度	9,614	173	353	250	344
24年度	9,724	173	345	247	380
比較	△110	0	8	3	△36

・第10回博学連携フォーラム

名 称	期 日	時 間	内 容	会 場	参加者
～博物館と子ども、ふたつをつなぐ「人」～	10月25日	9:40～17:00	・公開授業：山手小学校4年生 ・フォーラム 基調講演他	生活体験館他、 緑のホール他	180人

・需用費 印刷費 280千円

印刷物『活用の手引き・活用実践集 平成25年度版』（2014年3月）A4判 140頁

・使賃料 バス借上料（学習活用） 5,496千円

○ 資料調査整理事業 5,681千円

文化の森で収集する数々の「モノ」「コト」を整理・研究し、資料として台帳登録、教育普及に活用する。調査・整理・研究と保存・管理・台帳化、デジタルアーカイブ化し一般公開を行った。地域関連資料を収集することにより、この地域の歴史研究を進めることができた。美濃加茂市で滞在制作をした押江千衣子の作品「萬葉」を購入した。

・印刷費：美濃加茂市民ミュージアム紀要第13集 A4判 32頁 200千円

・委託料：美濃加茂市の自然研究事業 150千円

・委託料：古民家調査事業（旧小松屋調査） 200千円

・委託料：資料燻蒸事業等 292千円

・委託料：民俗調査事業、資料整理等事業 561千円

文化の森ホームページの公開状況

（単位：件）

	歴史	民俗	図書	美術	歴史写真	広報写真	植物	動物	考古	合計
H25年度	18,737	5,115	22,380	913	1,543	512	4,557	4,714	3,566	62,037
H24年度	18,487	5,058	21,640	884	1,543	512	4,557	4,714	3,320	60,715
比較	250	57	740	29	0	0	0	0	246	1,322

・資料調査購入 押江千衣子作品 2,856千円

○ 埋蔵文化財調査・整理事業 1,066千円

遺跡等からの出土遺物を整理、保存を行った。これらの遺物を調査・研究することにより、太古の美濃加茂の様子を明らかにしていく。遺物は、必要に応じて適切な保存処理を行い、調査結果とともに一般公開、又は小中学校の学習に活用することで教育普及を図った。

内 容	件数
開発審査会	14
砂利採取	6
包蔵地等に関する問い合わせ	118
計	138

○ 文化財保護管理事業 5,852千円

文化財の保護、活用を図ることにより、市民の文化意識の向上につなげることを目的とする。また、地域住民による自主的な文化財保護と啓発活動に対し助成を行うことにより、地域における文化継承活動がより活性化することを目的とする。

□補助金等の交付 1,018千円

・重文旧太田脇本陣林家住宅管理費補助金【防災設備保守点検（年2回実施）】

・山之上のサクラ保護事業補助金

・三和のゲンジボタル保存会への補助金

・民俗芸能保存団体への補助金

山之上の獅子芝居保存会(市指定文化財)、米田の祭りばやし保存会(市指定文化財)ほか

□普及・啓発・防災事業

・旧太田脇本陣林家住宅管理委託料 1, 556千円

旧太田脇本陣隠居家見学者数

△＝減

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	708	1,493	767	480	591	803	883	940	627	609	565	1,106	9,572
24年度	1,031	1,582	800	645	561	833	1,549	958	578	431	1,349	1,078	11,395
比較	△ 323	△ 89	△ 33	△ 165	30	△ 30	△ 666	△ 18	49	178	△ 784	28	△ 1,823

津田左右吉博士記念館利用者数

△＝減

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	155	148	161	162	166	165	163	234	204	297	153	163	2,171
24年度	178	178	284	108	149	131	72	140	65	103	94	109	1,611
比較	△23	△30	△123	54	17	34	91	94	139	194	59	54	560

○人物顕彰事業 4, 739千円

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館正面には、ラテン語の格言「世界はすべて劇場である」という坪内逍遙が理想としていた言葉が掲げられている。この言葉のもとにさまざまな市民活動がつながり、市全てが劇場となり、市民の人生が物語となり、市民が主役としてそれぞれの舞台上で活躍できるまちづくりをすすめる事業を行っていく。

委託料

- ・第14回逍遙フォーラム 平成25年5月18日 文化のみち二葉館(名古屋市) 50千円
- ・早稲田大学学生演劇「ペレストロイカ」平成25年9月7日、8日 文化の森 146千円
- ・木立に響く逍遙Vol.4 平成25年10月5日 文化の森 404千円
- ・第2回ミノカモ学生演劇祭 平成26年3月8日、9日 文化会館 2,100千円

○市民ミュージアム活動事業 1, 850千円

市民ミュージアム活動事業は市民の魅力ある文化活動が活発に行われることを願い、市民と協働で事業を行っている。市民の自ら進んで行う創造的な文化・芸術活動を推進するものである。市民講座は、ボランティアとの協働で事業メニューを開発する。また、ボランティアが講師役を務める講座を設けて、市民が主体となる事業を開催した。

- ・アートな一日講座等 136千円
- ・朗読講座の開催 800千円
- ・伝承料理の調査研究 60千円
- ・春朗読の一日 60千円
- ・まゆの家まつり事業 55千円
- ・森のコンサート 110千円

ボランティア活動状況

(単位：人)(延べ人数)

名 称	登録者数	主 な 活 動 内 容
展示ガイドボランティア	11	展示室で解説に加え、地域の調査・ミニ展示などを行う
アートボランティア	17	展示会関連企画や講座のサポートなどを行う
生活体験ボランティア	35	生活体験館で昔の遊びや暮らし体験などを行う
学習支援ボランティア	26	学校活用での子どもたちの指導や支援などを行う
伝承料理ボランティア	39	四季を食べる講座の開催や伝統的な食べ物の記録などを行う
イベントボランティア	25	文化の森で行うコンサートや演劇のサポートなどを行う
合 計	153	

平成26年3月末

○ 展示事業 5, 409千円

展覧会準備段階からの資料の調査・研究の推進、関係機関の発掘と連携により、さらに広く深く調査、研究をすすめ、その成果を展示や図録・関連資料としてまとめた結果、多くの展覧会を開催することができた。

展示委託料 3, 384千円

・主な企画展

	名 称	会期／会場	日数	観覧料	入場者
1	堀江良一展 版画・油彩	4月20日（土）～6月2日（日） 企画展示室、美術工芸展示室	38	無料	3534人
	版画を中心に1960年代から現在に至るまで、約40年にわたる制作の歩みを辿りました。美濃加茂市民ミュージアムの収蔵品を含む版画約65点と油彩約15点を展示。				
2	鉱物と化石なぞと美しさ展	7月20日（土）～8月25日（日） 企画展示室	32	200円	1250人
	この地域には、さまざまな鉱物や化石が存在します。その形や色は、産出される場所によっても微妙に違うなど、不思議なことがたくさん。鉱物や化石を美術的な視点で展覧しました。				
3	平川祐樹 眠りにつくまで	9月14日（土）～10月27日（日） 企画展示室・美術工芸展示室	38	無料	1835人
	名古屋市を拠点に現在はドイツで制作活動を展開する平川祐樹を紹介。8月から約2ヶ月の滞在制作で映像作品を撮影するとともに、当館の博物資料の化石を用いた映像インスタレーション、夜間イベントなどを開催しました。				
4	佐野一彦「伊深日記」展	12月7日（土）～2月2日（日） 企画展示室	45	無料	1407人
	佐野一彦（1903～1997）は、1945年（昭和20）、疎開した伊深村（現・美濃加茂市）で農村の暮らしに出会います。やがて定住した佐野は人々の暮らしの様子を克明に観察し、日記に残しました。日記などを中心に展覧。				
5	加茂の遺跡探訪展	2月8日（土）～3月23日（日） 企画展示室	38	無料	1932人
	1万年をさかのぼる歴史が知られる、加茂という地域は、これまでに各時代の遺跡が調査・記録されてきました。発掘調査を通じて、加茂の歴史を振り返ると共に今も現地に残る遺跡を探訪します。				

・収蔵品展他

	名 称	会期／会場	日数	観覧料
1	WOOD LAND GALLERY 2013	4月27日（土）～4月29日（月） みのかも文化の森 敷地内野外	3	無料
	この地域を中心に活動する作家たちが集い、森の中にいくつもギャラリーを開き、作品を展示。			
2	収蔵品展 蚕とまゆ展	4月20日（土）～9月1日（日） 生活体験館、民具展示館	116	無料
	この地域は、古くより養蚕が盛んでした。蚕とまゆの生育とその道具の使われ方を紹介。			
3	収蔵品展 ていねいな暮らしと道具展	9月14日（土）～3月16日（日） 民具展示館	153	無料
	昔の道具から、人々の知恵や生活の苦労などを知ります。学校の学習活動とも連携し、体験しながら学んだ。			
4	収蔵品展（美術工芸展示室）第1期 渡辺泰幸展	6月22日（土）～9月1日（日） 美術工芸展示室	61	無料
	2012年の新収蔵作品の展示。関連イベントとして、風鈴を作り森の中に飾るワークショップを行った。			
5	収蔵品展（美術工芸展示室）第2期 村瀬卓郎展	12月7日（土）～1月26日（日） 美術工芸展示室	40	無料
	美濃加茂市蜂屋町出身の洋画家・村瀬卓郎。2012年の新収蔵作品を展示。			

6	収蔵品展（美術工芸展示室）第3期 美術工芸資料アラカルト	2月8日（土）～4月中旬 美術工芸展示室	56	無料
	当館所蔵の美術工芸資料の中から約10点の作品を展示。			

○ 市美術展事業 834千円

美濃加茂市美術展は、地域の文化振興と自己の技術向上を期して毎年開催している。募集内容は、日本画、洋画、彫刻・彫塑・工芸、書、写真の5部門があり、創造性あふれる力作が寄せられ、展覧会を開催した。

第58回美濃加茂市美術展 各部門入賞数

（単位：点数）

部 門		日本画	洋画	彫刻・彫塑・工芸	書	写真	計
出展作品数		25	71	34	23	85	238
入 賞	市展大賞			1		1	1
	市展賞	1	1	1	1	5	5
	市長賞	1	1	1	1	5	5
	教育長賞	1	1	1	1	5	5
	優秀賞	6	3	2	6	19	19
	奨励賞	15	7	5	17	49	50
入 選		15	46	18	11	55	145
合 計		25	70	31	22	81	229

- ・賞賜金 402千円
- ・印刷費（要項・目録・賞状） 197千円

定住自立圏構想事業

○ 地域まると博物館 771千円

圏域にある博物館や資料館への入館、また、各事業に参加した場合にスタンプをもらうポイントラリー形式の事業を開催した。圏域が全て博物館と位置づけ、それぞれのまちの特徴や文化を知ってもらうためのもの。各施設や催しの会場にオリジナルのスタンプを設け、専用のポストカードに参加圏域のスタンプを1つずつ獲得し、すべてそろったらポストカードを事務局まで送ってもらい、抽選で地域の特産品を前期後期合わせて200名に贈呈した。（前期応募総数：462枚、後期応募総数：390枚）

主な歳出

- ・報償費（記念品） 390千円
- ・印刷費（チラシ・ポストカード） 190千円
- ・郵便料 112千円

○ 加茂の遺跡探訪展 961千円

1万年をさかのぼる歴史が知られる、加茂という地域は、これまでに各時代の遺跡が発掘調査・記録されてきた。展覧会を通じて、加茂の歴史や現地に残る遺跡を紹介した。また、伝えられてきた文化遺産と関わり合う市民の姿について報告した。

- ・印刷費 262千円
- ・監視業務委託料 267千円
- ・輸送展示委託業務 296千円

名称	会期／会場	日数（実）	入場者
加茂の遺跡探訪展	2月8日（土）～3月23日（日） 企画展示室	38	1,932人

○ 加茂の祈り展 415千円

加茂地域では、各時代の遺跡をはじめ、文化財、歴史・文化的資源とされるような文化遺産が自然環境とともに守り伝えられてきた。このたび、美濃加茂市民ミュージアム常設展示室に「みのかも定住自立圏」展示コーナーを開設し、圏域で育まれてきた歴史・文化的なつながりなどを紹介した。併せて、各市町村が所蔵する文化財等の燻蒸作業を実施した。

- ・ 燻蒸委託料 267千円
- ・ 展示パネル制作委託料 148千円

名称	会期／会場	日数（実）	入場者
加茂の祈り展	年間を通じて 常設展示室	307	21,770人

○ 地域の文化遺産活用事業 1,210千円

文化遺産に関心を寄せる市民が、その価値を再発見するとともに、身近な地域に住む住民同士が文化遺産を通じて、そのつながりに気づき、楽しみながら交流し合うことで絆を深める機会とした。本事業を通じて、岐阜県下及び他府県において活動する市町村や市民団体などとネットワークをつくることができ、情報の共有化が進んだ。文部科学省よりの委託事業（平成25年度公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム）として実施した。

- ・ 報償費 165千円
- ・ 旅費 299千円
- ・ 需用費（印刷費） 608千円

事業名	日程、会場	内容
ミュージアムイベント 堀江武史ワークショップ 「花びらはやがて狩りをする」	2月16日（日） 工芸室、企画展示室、遺跡の森	縄文土器などの出土品に手でふれたり、森にある遺跡を体感したりする「さわるツアー」を開催した。ツアーで見つけた石から石器を作り、出土品の石鏃などとともに、ガラスケースへ展示した。参加者16名。
ミュージアムフォーラム 「文化遺産・市民・まちーその関わり合いを考える」	2月23日（日） 緑のホール	ゲストスピーカー（長野県、岐阜県、大阪府、愛知県で文化遺産に関わる市民や団体及び行政担当者）による事例報告、討議を行った。資料集(49頁)を刊行。参加者80名。

○ 文化の森事務 5,156千円

博物館や美術館及び学習施設としての運営に伴う、一般事務を行った。

○ 文化の森施設管理事業 43,031千円

施設を快適かつ安全に利用していただくために、適切な維持管理を行った。

主な事業

- 緑のホール音響・映像設備機器更新委託業務 2,399千円
- マルチパッケージ型空調機フィルター 1,102千円

○ 文化の森施設整備事業 1,668千円

運営上、工事が必要な施設や設備の整備を行った。

主な事業

談話室ロールスクリーン取替え工事

754円

○ 緊急雇用創出事業（文化の森森林整備） 2, 125千円

みのかも文化の森において、受託者の新規雇用者2名が森林整備を行いながら、知識・技術を習得する緊急雇用促進事業（重点分野雇用創出事業）を行なった。

項	06	保健体育費	674, 147千円
目	01	保健体育総務費	45, 709千円

○ 市民大会の開催 1, 204千円

社会体育の振興と自治会及び市民相互の親睦を深めるため各種大会を開催し、体育振興に努めた。

大会名	参加人数(人)	チーム数
第40回自治会親善レディースソフトボール大会	180	12チーム
第35回市民卓球大会	164	
第23回市民ソフトバレーボール大会（女子の部）	188	26チーム
第30回市民水泳大会	中止	
第46回自治会親善野球大会	1, 686	81チーム
第30回市民陸上競技大会	雨天中止	
第28回市民バドミントン大会	96	
第35回市民バレーボール大会	419	31チーム
第24回市民ソフトバレーボール大会（混合の部）	364	48チーム
第2回市民ミニテニス交流大会	95	

○ 中体クラブ・スポーツ教室の開催 2, 174千円

市民のスポーツ振興を図るため、各種教室（中体クラブ及びスポーツ教室）を実施し、スポーツの普及推進に努めた。

	教室名	参加人数(人)
1 中体クラブ (1, 806千円)	寿卓球教室	8, 747
	卓球教室	1, 007
	軽体操教室	1, 082
	バドミントン教室	1, 702
	ソフトバレーボール教室	288
	硬式テニス教室	1, 217
	ジュニアバドミントン教室	655
	健康体操	2, 397
2 スポーツ教室 (368千円)	ウォーキング教室	465
	スキー教室	30

○ ぎふ清流国体1周年記念事業 1, 248千円

美濃加茂市Vチャレンジリーグ女子大会観戦とバレーボール教室（H26.3.1・3.2）

・来場者数 3月1日 824人 3月2日 1, 003人

・元オリンピック選手によるバレーボール教室（太田小学校）

3月1日 52人 3月2日 50人 スポ少バレー団員対象

・キッズエスコート（大会開催時）

3月1日 57人 3月2日 65人 スポ少バレー団員

・広報・啓発

広報掲載、HP更新、のぼり旗・懸垂幕等の設置、チラシ・ポスターの設置

体育館の外では、市民ボランティアによる、「かも丸鍋」や「美濃加茂やきそば」の無料提供と特産品の販売及び観光案内所を設置し、花飾りをして来場者におもてなしをした。

○ 主な歳出

スポーツ推進委員・体育委員活動事業	1, 874千円
体協・スポ少関係補助事業	1, 912千円
地区体育振興会補助事業	1, 117千円
MT夢クラブ21活動推進事業	285千円
全国大会出場サポート事業	520千円

目	02	保健体育施設費	112, 371千円
---	----	---------	------------

○ 体育施設の利用状況

体育施設の有効利用と利用者の増大に努めた。

施設名	利用件数		利用者数(人)	
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度
プラザちゅうたい	3, 422	3, 976	92, 016	81, 426
西体育館	1, 076	880	24, 826	21, 004
前平総合運動場	194	238	13, 038	12, 682
東総合運動場	679	391	17, 847	18, 218
西総合運動場(ソフト場合む)	340	343	17, 667	14, 957
下米田グラウンド	138	126	5, 978	5, 574
市橋グラウンド	163	116	3, 606	2, 990
サン・スポーツランド	262	216	12, 892	9, 315
前平テニスコート	3, 303	3, 533	32, 848	35, 740
東総合テニスコート	632	738	9, 907	13, 543
市民プール	—	—	3, 017	2, 062
計	10, 209	10, 557	233, 642	217, 511

○ 学校開放の利用状況

小・中学校の体育館を夜間、利用者に開放し施設の有効利用を図った。

学校開放数	利用件数		利用者数(人)	
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度
11校	2, 846	3, 029	45, 214	47, 385

○ 体育施設の改修事業

安全で快適なスポーツ施設にするため、改修工事を実施した。

工事名	事業費(千円)
前平グラウンドスコアボード更新工事	16, 884
西総合グラウンドソフトボール場防球ネット新設工事	7, 791
前平グラウンドブルペン新設工事	7, 560
サン・スポーツランドグラウンド改修工事	4, 945

中央体育館空調設備修繕工事	798
サン・スポーツランド浄化槽配管取替工事	787

○ 事業別歳出

細 目 名	金額（千円）
体育館管理事業	26,434
市民プール管理事業	11,820
学校開放管理事業	2,840
グラウンド管理事業	19,342
前平・東総合運動場事業	29,216

○ 主な不用額

（単位：千円）

科目名	予算額	決算額	不用額	理 由
体育館管理事業 11 需用費 05 光熱水費	9,012	7,890	1,121	冷暖房使用頻度の減少と電気需給委託により光熱水費が不用となった

目	03	学校給食センター費	516,067千円
---	----	-----------	-----------

○美濃加茂市及び富加町の小中学校、可茂特別支援学校の児童・生徒に安全な給食を提供するため、食中毒の防止に万全を期するとともに、平成24年度からは食材の放射性物質検査を実施するなど、安心して食べられる学校給食づくりに努めた。

○ 学校給食費

小学校（1食当り 250円）月額 4,400円

中学校（1食当り 275円）月額 4,900円

○ 学校給食実施状況

6,279食（平成25年4月最多実施数）

○ 給食センター運営委員会

市議会文教民生常任委員長、市小中学校長代表、市地区連合PTA代表、学識経験者等で構成
運営計画、食品管理、収納等の項目について審議（7月、11月、2月に開催）

○ 物資選定委員会

給食センター運営委員会委員の一部と事務局（教育総務課長、栄養士2名）で構成
給食用物資を価格、品質、産地等で選定（7月、11月、2月に開催）

○ 給食主任者会議

市内、富加町の小中学校及び可茂特別支援学校の学校給食主任で構成
食数変更手続、各種調査依頼、食器食缶の取扱い等を協議（4月、10月に開催）

○ 給食会計担当者会議

市内、富加町の小中学校及び可茂特別支援学校の学校給食会計者で構成
給食費の納付方法及び未納者対策について協議（5月に開催）

○ 給食滞納対策

督促状の発送、児童手当からの徴収を実施

○ 夏休み親子料理教室（フロム0歳プラン）

小中学生の親子を対象に簡単な弁当作りを実施し、食の大切さを指導した。

期 日：平成25年7月21日（日） 場所：学校給食センター調理実習室

参加者：11組（親11名 子16名）

○ ふるさと給食会

全国学校給食週間の取組のひとつとして実施。ふるさとにゆかりのある食材を使った給食を市長、市議会文教民生常任委員長、学校給食関係者等と一緒に味わい、学校給食の意義を共有した。

平成25年度は、ご当地グルメの「美濃加茂やきそば」をメニューの一品として初めて提供した。

期 日：平成26年1月23日（木） 場所：太田小学校

○ 主な事業の執行状況

・維持管理事業	191,271千円
・給食材料費	310,531千円

○ 主な不用額

・給食材料費	13,777千円
--------	----------

款	10	災害復旧費	0千円
項	01	農林施設災害復旧費	0千円
目	01	農地農業施設災害復旧費	0千円

○ 農業施設災害復旧事業

事業名	事業費	事業内容
農地農業施設災害復旧事業	0	

目	02	林業施設災害復旧費	0千円
---	----	-----------	-----

○ 林業施設災害復旧事業

事業名	事業費	事業内容
林業施設災害復旧事業	0	

項	02	公共土木施設災害復旧費	0千円
目	01	道路橋りょう災害復旧費	0千円

○ 道路橋りょう災害復旧事業

事業名	事業費	事業内容
道路橋りょう災害復旧事業	0	

目	02	河川災害復旧費	0千円
---	----	---------	-----

○ 河川災害復旧事業

事業名	事業費	事業内容
河川災害復旧事業	0	

目	03	都市計画施設災害復旧費	0千円
---	----	-------------	-----

○ 都市計画施設災害復旧事業

事業名	事業費	事業内容
都市計画施設災害復旧事業	0	

款	11	公債費	2,096,797千円
項	01	公債費	2,096,797千円
目	01	元金	1,877,688千円
目	02	利子	219,109千円

○ 市債現在高の状況と元利償還金の内訳

(単位：千円)

借入先	24年度末 現在高	25年度 起債額	25年度償還額		25年度末 現在高
			元金	利子	
財政融資資金	6,425,224	525,300	471,204	88,158	6,479,320
旧郵政公社資金	388,636	0	68,237	7,547	320,399
地方公共団体金融機構	3,741,454	459,700	342,728	52,855	3,858,426
銀行等縁故債	5,404,882	37,600	991,005	70,465	4,451,477
共済組合等	8,549	0	4,514	84	4,035
合計	15,968,745	1,022,600	1,877,688	219,109	15,113,657

○ 市債の利率見直しと繰上償還

起債名	借入日	借入額(千円)	残元金(千円)	当初利率	利率見直し後
臨時財政対策債	H16.4.30	300,000	131,566	1.5%	0.4%
臨時財政対策債	H16.4.30	100,000	43,855	1.5%	0.4%
臨時財政対策債	H16.4.30	180,000	78,940	1.5%	0.4%
臨時財政対策債	H16.4.30	208,100	91,263	1.5%	繰上償還

款	12	予備費	(予算充用 1,769千円)
項	01	予備費	(予算充用 1,769千円)
目	01	予備費	(予算充用 1,769千円)

○ 緊急を要する支出に、予備費を充用した。

(単位：千円)

充用先科目	充用額	理 由
災害対策費	1,769	落雷により故障した水位計の修繕

特別会計

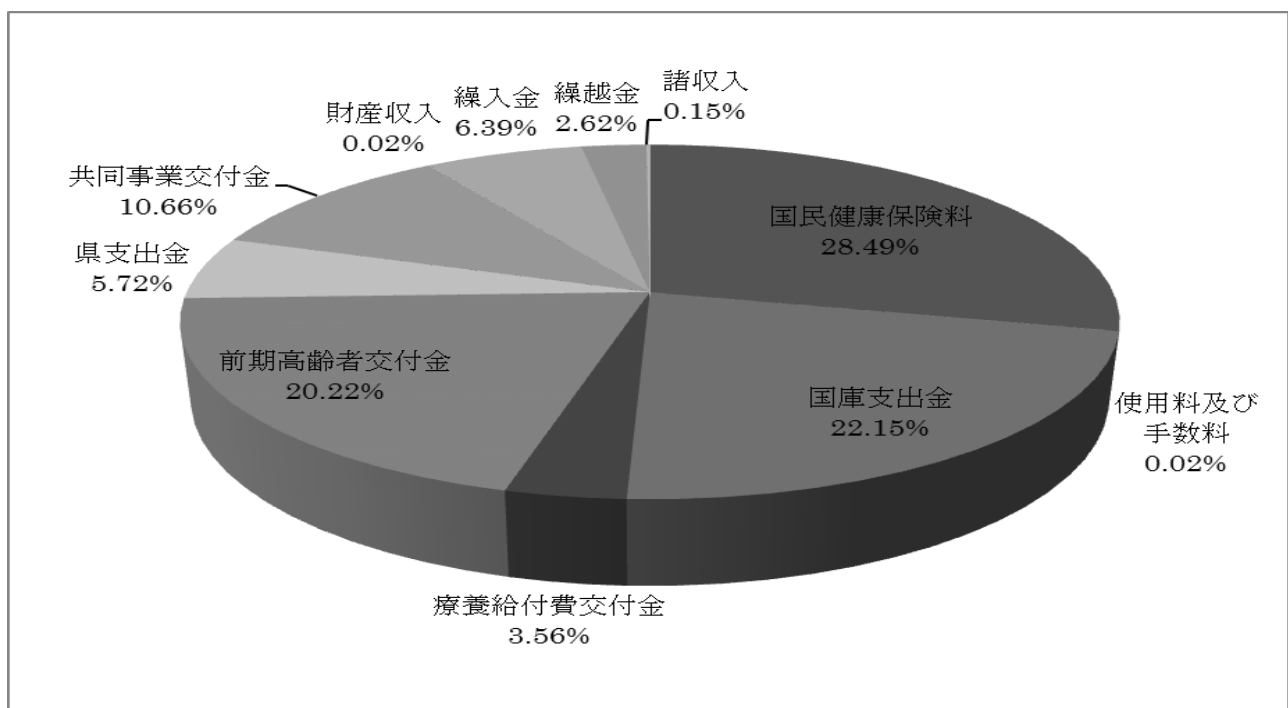
国民健康保険会計

歳入款別内訳

(単位：千円)

科 目	平 成 2 5 年 度			平成 2 4 年度		比 較	
	予算現額	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
国民健康保険料	1,579,743	1,515,330	28.49%	1,491,893	27.84%	23,437	1.57%
使用料及び手数料	505	1,006	0.02%	1,045	0.02%	-39	-3.73%
国 庫 支 出 金	1,153,088	1,178,178	22.15%	1,071,223	19.99%	106,955	9.98%
療養給付費交付金	246,740	189,620	3.56%	247,043	4.61%	-57,423	-23.24%
前期高齢者交付金	1,053,439	1,075,782	20.22%	1,049,138	19.57%	26,644	2.54%
県 支 出 金	262,821	304,301	5.72%	281,711	5.26%	22,590	8.02%
共同事業交付金	482,137	567,189	10.66%	524,123	9.78%	43,065	8.22%
財 産 収 入	1,127	1,126	0.02%	528	0.01%	598	113.26%
繰 入 金	589,995	339,995	6.39%	306,055	5.71%	33,940	11.09%
繰 越 金	34,422	139,240	2.62%	382,010	7.13%	-242,770	-63.55%
諸 収 入	3,504	7,713	0.15%	4,316	0.08%	3,397	78.71%
合 計	5,407,521	5,319,480	100.00%	5,359,085	100.00%	-39,606	-0.74%

平成 2 5 年度歳入決算内訳

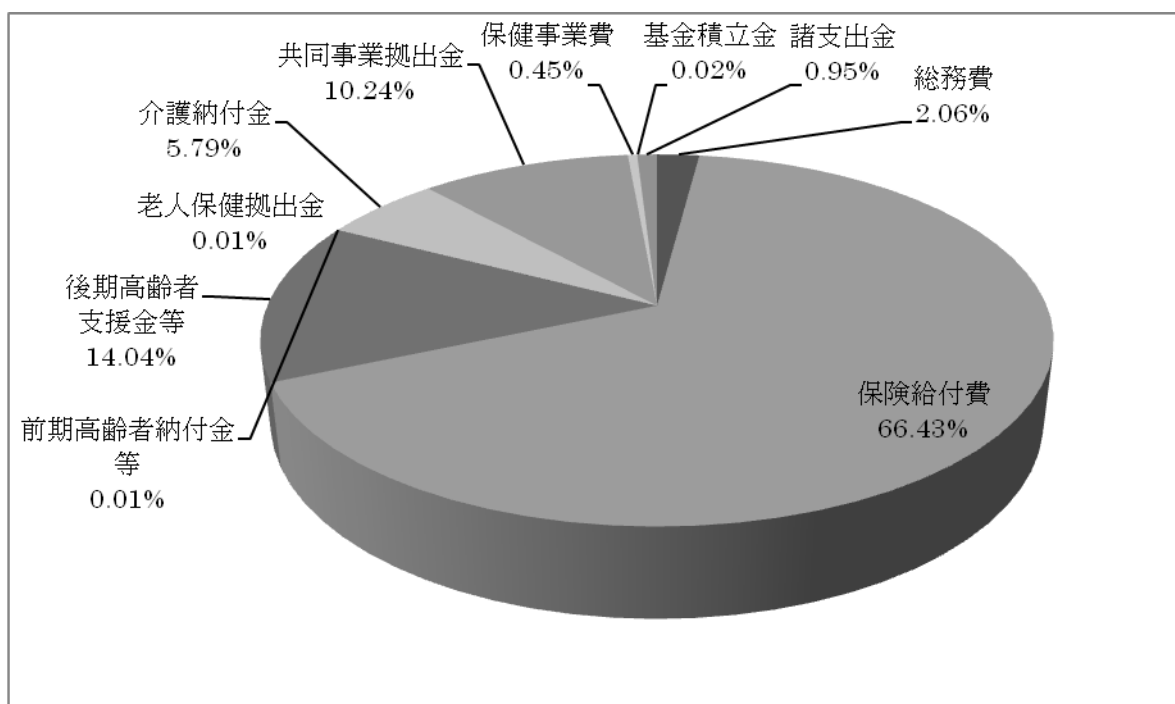


歳出目的別内訳

(単位：千円)

科 目	平 成 2 5 年 度			平成 2 4 年度		比 較	
	予算現額	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総務費	128,419	106,136	2.06%	109,580	2.10%	-3,444	-3.14%
保険給付費	3,576,093	3,417,389	66.43%	3,344,788	64.08%	72,601	2.17%
後期高齢者支援金等	743,584	722,365	14.04%	682,686	13.08%	39,679	5.81%
前期高齢者納付金等	926	728	0.01%	696	0.01%	32	4.60%
老人保健拠出金	40	29	0.01%	0	0.00%	29	皆増
介護納付金	299,291	297,972	5.79%	285,612	5.47%	12,359	4.33%
共同事業拠出金	567,281	526,469	10.24%	518,133	9.93%	8,336	1.61%
保健事業費	31,094	23,175	0.45%	22,918	0.44%	257	1.12%
基金積立金	1,127	1,126	0.02%	191,528	3.67%	-190,402	-99.41%
諸支出金 (含公債費)	49,666	48,956	0.95%	63,904	1.22%	-14,947	-23.39%
予備費	10,000	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
合 計	5,407,521	5,144,345	100.00%	5,219,845	100.00%	-75,500	-1.45%

平成 2 5 年度歳出決算内訳



歳入の決算状況

国民健康保険の被保険者、保険料率及び保険料収納状況

1 国民健康保険の被保険者の状況（年間平均値）

区 分	平成25年度	平成24年度
世 帯 数（世帯）	7, 6 3 0	7, 6 1 1
被 保 険 者 数（人）	1 4, 0 2 2	1 4, 1 8 7
うち 一般被保険者数	1 3, 4 1 2	1 3, 3 8 9
退職被保険者数	6 1 0	7 9 8

2 国民健康保険料の賦課割合と保険料率の状況

賦 課 割 合		応 能 割		応 益 割		賦課 限度額
		5 5 %		4 5 %		
		所 得 割	資 産 割	被保険者均等 割	世帯平等割	
		4 5 %	1 0 %	3 0 %	1 5 %	
保 険 料 率	医療分	6. 5 0 %	2 6. 0 0 %	2 5, 2 0 0 円	2 7, 6 0 0 円	5 1 万円
	支援分	2. 0 0 %	8. 5 0 %	8, 4 0 0 円	8, 0 0 0 円	1 4 万円
	介護分	1. 5 0 %	7. 9 0 %	8, 2 0 0 円	5, 8 0 0 円	1 2 万円

3 国民健康保険料の収納状況

【 現 年 度 分 】	調定額（千円）	収納額（千円）	収納率（％）
平成21年度	1, 6 3 4, 0 4 1	1, 4 1 2, 9 2 0	8 6. 4 7
平成22年度	1, 5 6 9, 1 5 2	1, 3 9 4, 0 2 1	8 8. 8 4
平成23年度	1, 5 9 1, 2 8 7	1, 4 2 9, 6 2 2	8 9. 8 4
平成24年度	1, 5 8 3, 5 1 5	1, 4 2 7, 7 1 7	9 0. 1 6
平成25年度	1, 5 8 1, 8 4 3	1, 4 5 7, 0 5 4	9 2. 1 1

【 過 年 度 分 】	調定額（千円）	収納額（千円）	収納率（％）
平成21年度	4 6 1, 1 6 5	6 2, 7 3 6	1 3. 6 0
平成22年度	4 5 6, 1 6 4	6 6, 6 0 5	1 4. 6 0
平成23年度	4 8 7, 7 9 0	6 0, 3 1 6	1 2. 3 7
平成24年度	5 2 0, 0 5 6	6 4, 1 7 6	1 2. 3 4
平成25年度	4 7 3, 4 1 8	5 8, 2 7 6	1 2. 3 1

歳出の決算状況

款	01	総務費	106,136千円
項	01	総務管理費	86,486千円
目	01	一般管理費	85,197千円

○ 主な事業の執行状況

人件費（職員8人、嘱託職員1人、臨時職員1人）	55,354千円
保険証発送郵便料及び一般通信費	4,775千円
国保共同処理等事務委託料（国保連合会）	7,514千円
総合行政システム利用料（日立情報システムズ）	4,597千円
総合行政システム情報処理委託料（日立情報システムズ）	10,302千円
その他	2,655千円

目	02	連合会負担金	1,289千円
---	----	--------	---------

○ 主な事業の執行状況

岐阜県国民健康保険団体連合会負担金	1,289千円
-------------------	---------

項	02	徴収費	19,189千円
目	01	賦課徴収費	19,189千円

○ 主な事業の執行状況

人件費（嘱託職員3人、臨時職員2人）	9,288千円
保険料賦課、徴収関係郵便料	2,989千円
総合行政情報システム構築委託料（日立情報システムズ）	2,397千円
口座振替及びコンビニ納付手数料	2,376千円
その他	2,139千円

項	03	運営協議会費	63千円
目	01	運営協議会費	63千円

○ 主な事業の執行状況

国民健康保険運営協議会開催費（H25.7/1 H26.2/20）	63千円
----------------------------------	------

項	04	趣旨普及費	398千円
目	01	趣旨普及費	398千円

○ 主な事業の執行状況

国保制度PRチラシ印刷	398千円
-------------	-------

款	02	保険給付費	3, 4 1 7, 3 8 9千円
項	01	療養諸費	3, 0 2 5, 7 6 7千円
目	01	一般被保険者療養給付費	2, 8 2 0, 4 5 2千円
目	02	退職被保険者等療養給付費	1 4 8, 7 7 1千円
目	03	一般被保険者療養費	4 3, 9 3 7千円
目	04	退職被保険者等療養費	1, 3 8 3千円
目	05	審査支払手数料	1 1, 2 2 4千円

項	02	高額療養費	3 5 1, 1 0 4千円
目	01	一般被保険者高額療養費	3 3 4, 6 6 5千円
目	02	退職被保険者等高額療養費	1 6, 2 0 3千円
目	03	一般被保険者高額介護合算療養費	2 3 6千円
目	04	退職被保険者等高額介護合算療養費	0千円

項	03	出産育児諸費	3 6, 9 6 8千円
目	01	出産育児一時金	3 6, 9 6 8千円

項	04	葬祭諸費	3, 5 5 0千円
目	01	葬祭費	3, 5 5 0千円

項	05	移送費	0千円
目	01	一般被保険者移送費	0千円
目	02	退職被保険者等移送費	0千円

○ 主な事業の執行状況

区 分	平成24年度 (千円)	平成25年度 (千円)	前年度比(%)
一般被保険者療養給付費	2, 7 0 7, 6 9 7	2, 8 2 0, 4 5 2	1 0 4. 2
退職被保険者等療養給付費	1 9 6, 3 9 4	1 4 8, 7 7 1	7 5. 8
一般被保険者療養費	4 4, 6 7 6	4 3, 9 3 7	9 8. 3
退職被保険者等療養費	2, 4 0 9	1, 3 8 3	5 7. 4
審査支払手数料	1 1, 1 4 5	1 1, 2 2 4	1 0 0. 7
一般被保険者高額療養費	3 1 9, 9 4 2	3 3 4, 6 6 5	1 0 4. 6
退職被保険者等高額療養費	2 2, 4 9 2	1 6, 2 0 3	7 2. 0
一般被保険者高額介護合算療養費	2 4 2	2 3 6	9 7. 5
退職被保険者等高額介護合算療養費	0	0	0. 0
出産育児諸費	3 6, 2 4 1	3 6, 9 6 8	1 0 2. 0
葬祭費	3, 5 5 0	3, 5 5 0	1 0 0. 0
移送費	0	0	0. 0
合 計	3, 3 4 4, 7 8 8	3, 4 1 7, 3 8 9	1 0 2. 2

款	03	後期高齢者支援金等	7 2 2, 3 6 5 千円
項	01	後期高齢者支援金等	7 2 2, 3 6 5 千円
目	01	後期高齢者支援金等	7 2 2, 3 0 6 千円
目	02	後期高齢者事務費拠出金	5 9 千円

款	04	前期高齢者納付金等	7 2 8 千円
項	01	前期高齢者納付金等	7 2 8 千円
目	01	前期高齢者納付金等	6 6 9 千円
目	02	前期高齢者事務費拠出金	5 9 千円

款	05	老人保健拠出金	2 9 千円
項	01	老人保健拠出金	2 9 千円
目	01	老人保健医療費拠出金	0 千円
目	02	老人保健事務費拠出金	2 9 千円

款	06	介護納付金	2 9 7, 9 7 2 千円
項	01	介護納付金	2 9 7, 9 7 2 千円
目	01	介護納付金	2 9 7, 9 7 2 千円

款	07	共同事業拠出金	5 2 6, 4 6 9 千円
項	01	共同事業拠出金	5 2 6, 4 6 9 千円
目	01	高額医療費拠出金	1 1 1, 4 0 5 千円
目	02	保険財政共同安定化事業拠出金	4 1 4, 9 5 8 千円
目	03	保険財政共同安定化事業事務費拠出金	1 0 6 千円

○ 主な事業の執行状況

区 分	平成 2 4 年度 (千円)	平成 2 5 年度 (千円)	前年度比 (%)
高額医療費拠出金	1 0 5, 6 3 0	1 1 1, 4 0 5	1 0 5. 5
保険財政共同安定化事業拠出金	4 1 2, 3 9 8	4 1 4, 9 5 8	1 0 0. 6
保険財政共同安定化事業事務費拠出金	1 0 5	1 0 6	1 0 0. 9
合 計	5 1 8, 1 3 3	5 2 6, 4 6 9	1 0 1. 6

款	08	保健事業費	23,175千円
項	01	特定健康診査等事業費	20,758千円
目	01	特定健康診査等事業費	20,758千円

○ 主な事業の執行状況 (単位：人)

年 度	H 2 4			H 2 5		
	対象	参加	率(%)	対象	参加	率(%)
特定健診	8,625	2,337	27.1	8,648	2,516	29.1
特定保健指導積極的支援	55	12	21.8	41	8	19.5
特定保健指導動機付け支援	188	48	25.5	166	39	23.5

項	02	保健事業費	2,417千円
目	01	保健事業費	2,417千円

○ 主な事業の執行状況
医療費通知作成および郵便料

2,308千円

款	09	基金積立金	1,126千円
項	01	基金積立金	1,126千円
目	01	財政調整基金積立金	1,126千円

○ 主な事業の執行状況 (単位：千円)

年 度	期首残高	期中減額	期中増額	期末残高
平成24年度	269,219	0	191,528	460,747
平成25年度	460,747	0	1,126	461,873

款	10	公債費	0千円
項	01	公債費	0千円
目	01	利子	0千円

款	11	諸支出金	48,956千円
項	01	償還金及び還付加算金	48,956千円
目	01	一般被保険者保険料還付金	4,792千円
目	02	退職被保険者等保険料還付金	0千円
目	03	償還金	44,164千円

介護保険会計

介護を社会全体で支える介護保険制度が平成12年4月からスタートし、14年が経過しました。

65歳以上第1号被保険者からの介護保険料の賦課徴収をはじめ、介護が必要な40歳以上の方の介護認定、介護サービスの充実に努めるとともに、介護予防を重視した地域支援事業を実施するなど、平成24年度から26年度までを計画期間とする第5期介護保険事業計画を推進しました。

◇保険事業勘定◇

歳入の決算状況

款別明細

款	予算現額(千円)	収入済額(千円)	構成比(%)
保険料	637,573	646,248	19.63
使用料及び手数料	121	201	0.01
国庫支出金	710,059	685,382	20.82
支払基金交付金	879,053	859,330	26.11
県支出金	463,637	453,199	13.77
財産収入	593	592	0.02
繰入金	529,703	529,883	16.10
繰越金	94,593	109,471	3.33
諸収入	5,182	7,042	0.21
合計	3,320,514	3,291,348	100.00

介護保険料の状況

単位：円

	調定額	収納額	収納率	不能欠損額	収入未済額
現年度分特別徴収	577,084,900	577,084,900	100.00%	0	0
現年度分普通徴収	77,598,080	67,161,446	86.55%	0	10,436,634
現年度分計	654,682,980	644,246,346	98.41%	0	10,436,634
過年度分普通徴収	17,287,340	2,001,760	11.58%	4,973,180	10,312,400
総計	671,970,320	646,248,106	96.17%	4,973,180	20,749,034

第1号被保険者の状況

年齢区分	第1号被保険者数(人)	要介護(要支援)認定者数(人)	認定率(%)
65歳以上75歳未満	5,970(5,590)	167(193)	2.80(3.45)
75歳以上	5,623(5,513)	1,508(1,423)	26.82(25.81)
(再掲)外国人	86(83)	—	—
(再掲)住所地特例	26(25)	—	—
計	11,593(11,103)	1,675(1,616)	14.45(14.55)

平成26年3月末日現在(平成25年3月末日現在)

歳出の決算状況

款別明細

款	予算現額（千円）	支出済額（千円）	構成比（%）
総務費	109,002	97,533	3.05
保険給付費	2,957,162	2,857,590	89.48
地域支援事業費	130,945	116,648	3.65
基金積立金	67,225	67,224	2.11
公債費	1	0	0
予備費	1,000	0	0
諸支出金	55,179	54,640	1.71
合計	3,320,514	3,193,635	100.00

要支援・要介護認定者数（第1号・第2号被保険者）の状況

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号	114	199	337	355	285	232	153	1,675
65歳以上75歳未満	10	26	29	27	22	26	27	167
75歳以上	104	173	308	328	263	206	126	1,508
第2号	5	6	6	12	9	8	10	56
総計	119	205	343	367	294	240	163	1,731

平成26年3月末日現在

○ 介護給付費の状況

介護給付費は、①在宅や施設でサービスを利用した際の本人負担1割を除いた9割分、②利用者の1割負担が一定の上限を超えた場合に支給する高額サービス等費、③国民健康保険団体連合会へ支払うレセプトの審査手数料の合計で、25年度は1年間で2,857,590千円（対前年5.9%増）、月額平均238,132千円となりました。

介護・支援サービス等諸費	2,807,690,463円	（9割負担分）
国保連への審査支払手数料	3,503,360円	（年43,792件/月3,649件）
高額介護サービス等費	46,396,296円	（年4,277件/月356件）
合計	2,857,590,119円	

介護・支援サービス等諸費（在宅・施設サービス）の内訳

サービスの種類別	月平均件数	年間給付費（円）	構成率%
訪問介護（ホームヘルプサービス）	302	143,446,872	5.30
訪問入浴介護	22	16,414,254	0.61
訪問看護	131	58,944,274	2.18
訪問リハビリテーション	2	829,235	0.03
居宅療養管理指導	197	18,017,793	0.67
通所介護（デイサービス）	497	438,533,187	16.19
通所リハビリテーション（デイケア）	293	263,150,007	9.72
短期入所サービス	201	242,158,191	8.94
福祉用具・住宅改修サービス	559	96,028,369	3.55

特定施設入所者生活介護	36	76,658,528	2.83
介護予防支援・居宅介護支援	1,032	149,003,633	5.50
在 宅 計	3,272	1,503,184,343	55.51
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	87	241,372,620	8.91
地域密着型サービス 計	87	241,372,620	8.91
老人保健施設	152	432,790,270	15.98
老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	169	521,641,465	19.26
療養型医療施設	2	8,877,475	0.33
施 設 計	323	963,309,210	35.57
合 計		2,707,866,173	100.00
特定入所者生活介護サービス費	370	99,824,290	
総 計		2,807,690,463	

○ 地域支援事業

１８年度から始まった介護予防を重視した地域支援事業は、要支援・要介護状態になることを予防するための介護予防事業、ひとり暮らし高齢者や高齢夫婦等の実態把握や総合相談などの包括的支援事業（地域包括支援センター運営）、介護費用の適正化や介護者を対象とした支援事業などの任意事業の３事業で、保険課と長寿支援センターで実施しました。

介護予防事業				包括的支援事業（地域包括支援センター）			
2次予防事業 対象者	2次予防事業参加者（実人数）	1次予防事業（介護予防普及啓発事業）参加者（延人数）	1次予防事業（地域介護予防活動支援事業）活動回数	介護予防ケアマネジメント業務（延べ人数）	総合相談支援・権利擁護業務	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務（ネットワーク会議毎月開催）	一人暮らし高齢者等実態把握訪問など
1,637人	55人	7,302人	816回	0人	2,550人	61機関	287人
決算額(千円) 37,358				決算額(千円) 57,360			
任意事業							
介護給付適正化研修会（2回開催）	介護給付費実績通知（3回通知）	介護者のつどい（3回開催）	介護慰労金支給事業（延べ人数）	介護用品支給事業（延べ人数）	高齢者虐待防止啓発事業		
139人	4,631 件	46人	366 人	334 人	78人		
決算額(千円) 21,930							

○ 主な不用額

一次予防事業

- ・ 役務費 1, 564 千円
ウェルネス事業が定員に満たなかったため
- ・ 委託料 2, 977 千円
コミュニティ・サポーター事業の利用者数が減少したため
介護予防事業評価に必要なデータを直接収集する必要から、委託を見送ったため

二次予防事業

- ・ 委託料 1, 468 千円
介護予防事業評価に必要なデータを直接収集する必要から、委託を見送ったため

任意事業

- ・ 扶助費 1, 431 千円
介護者慰労金支給者及び介護用品支給（おむつ給付）の支給対象者が見込みより少なかったため

介護・予防サービス等諸費 99, 452 千円

- ・ 負補交
介護・予防サービス等諸費が見積もりより少額となったため

認定調査等費

- ・ 役務費 2, 472 千円
介護認定のための主治医意見書作成委託料が見積もりより少額となったため

一般管理費

- ・ 委託料 3, 565 千円
高齢者等実態調査委託料 2, 548 千円について、契約期間の延長により次年度へ繰越をしたため。また国保連電算処理委託料が見積額より少額となったため

◇介護サービス事業勘定◇

○ 歳入の状況

款別明細

款	予算現額（千円）	収入済額（千円）	構成比（%）
介護サービス収入	11,358	11,079	100.00
合計	11,358	11,079	100.00

○ 歳出の状況

款別明細

款	予算現額（千円）	支出済額（千円）	構成比（%）
事業費	11,358	11,079	100.00
合計	11,358	11,079	100.00

介護予防サービス支援計画作成実績

		要支援 1	要支援 2	合 計
計画作成実人数		134	235	369
計画作成延件数		880	1,726	2,606
(内訳)	委託分	161	390	551
	包括分	719	1,336	2,055

後期高齢者医療会計

平成 20 年度から始まった後期高齢者医療制度は、岐阜県後期高齢者医療広域連合という県単位の広域組織で事業運営を行っています。保険料の徴収や療養費等の支給申請の受付など、被保険者に直接関わる業務については各市町村で担当し、広域連合とともに業務を推進しています。

歳入の決算状況

款	予算現額（千円）	収入済額（千円）	構成比（%）
後期高齢者医療保険料	348,161	349,112	71.01
使用料及び手数料	11	34	0.01
後期高齢者医療広域連合支出金	9,419	6,739	1.37
繰入金	105,580	105,580	21.47
諸収入	4	672	0.13
繰越金	2,000	29,526	6.01
合 計	465,175	491,663	100.00

○保険料の収納状況

（単位：円）

	調定額	収納額	収納率（%）	収納未済額
特別徴収保険料	226,439,900	226,439,900	100.00	0
普通徴収保険料	121,770,300	121,067,300	99.42	703,000
滞納繰越分	3,362,500	1,605,200	47.74	1,757,300
合 計	351,572,700	349,112,400	99.30	2,460,300

○被保険者の状況

（単位：人）

年度	65 歳～ 69 歳	70 歳～ 74 歳	75 歳～ 79 歳	80 歳～ 84 歳	85 歳～ 89 歳	90 歳～ 94 歳	95 歳～ 99 歳	100 歳 ～	計
24.03 末	56	93	2,132	1,671	1,010	397	122	13	5,494
25.03 末	55	108	2,152	1,704	1,095	408	122	15	5,659
26.03 末	65	96	2,155	1,718	1,124	462	120	22	5,762

歳出の決算状況

款	予算現額（千円）	支出済額（千円）	構成比（%）
総務費	10,210	8,969	1.97
後期高齢者医療広域連合納付金	443,201	439,283	96.39
保健事業費	9,764	6,739	1.48
諸支出金	1,000	744	0.16
予備費	1,000	0	0.00
合 計	465,175	455,735	100.00

○主な不用額

後期高齢者健康診査事業

・委託料 2,481 千円

健診受診者が、見込みより少なかったため

後期高齢者医療広域連合納付金

・負担金補助及び交付金 3,918 千円

後期高齢者広域連合への負担金が、当初より少なかったため

介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計

地方自治法第252条の7に基づき、美濃加茂市及び加茂郡7町村が共同して介護認定審査会、障がい者自立支援認定審査会をそれぞれ設置し、審査判定事務を執行している。

歳入の決算状況

款	01	分担金及び負担金	21,795千円
項	01	介護認定審査会費負担金	19,633千円
項	02	自立支援認定審査会費負担金	2,162千円

款	02	繰入金	11,985千円
項	01	介護認定審査会費繰入金	10,710千円
項	02	自立支援認定審査会費繰入金	1,275千円

款	03	繰越金	1,101千円
項	01	介護認定審査会費繰越金	712千円
項	02	自立支援認定審査会費繰越金	389千円

・経費は8市町村で負担しており、均等割10%、審査件数割90%の負担割合になっている。

・市町村別負担金（美濃加茂市は繰入金）（単位：千円）

市町村名	介護認定審査会負担金（繰入金）	自立支援認定審査会負担金（繰入金）	合計
美濃加茂市	10,710	1,275	11,985
坂祝町	1,948	201	2,149
富加町	1,679	148	1,827
川辺町	3,158	236	3,394
七宗町	2,200	324	2,524
八百津町	4,642	359	5,001
白川町	4,563	781	5,344
東白川村	1,443	113	1,556
合計	30,343	3,437	33,780

歳出の決算状況

款	01	介護認定審査会費	29,032千円
---	----	----------	----------

款	02	自立支援認定審査会費	2,981千円
---	----	------------	---------

○ 主な事業の執行状況

介護認定審査会委員報酬等	11,700千円
自立支援認定審査会委員報酬等	808千円

人件費等（３人）	９，８５９千円
派遣職員給与負担金（２人）	６，３７０千円
認定事務機器リース料及び委託料等	２，４１５千円
その他事務費等	８６１千円

○ 各審査会の状況

・介護認定審査会は、６２人の委員で１０グループ（合議体）を編成し、障がい者自立支援認定審査会は、２１人の委員で４グループ（合議体）を編成している。両審査会は、グループ単位で輪番により審査会を開催している。

・１回あたりの平均審査件数は、介護認定審査会は約２７件、障がい者自立支援認定審査会は約１３件であった。

・委員の構成 (単位：人)

区 分	医 師	歯科医師	保健・福祉	合 計
介護認定審査会	２０	２０	２２	６２
障がい者自立支援認定審査会	７	—	１４	２１
合 計	２７	２０	３６	８３

・審査会開催日数・審査件数

区 分	開 催 日 数（日）	審 査 件 数（件）
介護認定審査会	１９３	５，２１５
障がい者自立支援認定審査会	１４	１７６
合 計	２０７	５，３９１

○ 市町村別申請件数・審査結果

・介護認定審査件数割合は、美濃加茂市が３７．７％、加茂郡７町村が６２．３％であった。

・介護認定申請件数 (単位：件)

	申 請 内 容 区 分			合 計
	新 規	更 新	区分変更	
美濃加茂市	６０３	１，２７３	９２	１，９６８
坂 祝 町	７２	１８２	１０	２６４
富 加 町	７６	１６０	１１	２４７
川 辺 町	１３６	３３６	２２	４９４
七 宗 町	１３６	２２９	９	３７４
八 百 津 町	２３９	５４８	４２	８２９
白 川 町	２２７	５５２	３６	８１５
東白川村	８９	１２６	９	２２４
合 計	１，５７８	３，４０６	２３１	５，２１５

・介護認定審査結果 (単位：件)

	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	合 計
非 該 当	４	０	０	４	２	３	９	０	２２
要支援１	１３５	３１	３４	２３	５４	１３１	１３２	３０	５７０
要支援２	２３４	２７	４２	５１	５７	１１８	１０６	３３	６６８

要介護 1	438	48	36	92	89	158	188	60	1,109
要介護 2	410	49	45	106	62	145	128	39	984
要介護 3	348	46	32	104	45	118	81	16	790
要介護 4	244	37	33	71	37	95	89	29	635
要介護 5	155	26	25	42	28	61	82	17	436
再 調 査	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合 計	1,968	264	247	494	374	829	815	224	5,215

- ・ 障がい者自立支援認定審査件数割合は、美濃加茂市が 40.0%、加茂郡 7 町村が 60.0% であった。

- ・ 障がい者自立支援認定申請件数 (単位：件)

	申 請 内 容 区 分			合 計
	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	
美濃加茂市	12	51	7	70
坂 祝 町	1	6	2	9
富 加 町	0	5	1	6
川 辺 町	1	10	0	11
七 宗 町	3	10	3	16
八 百 津 町	2	15	1	18
白 川 町	3	38	1	42
東 白 川 村	0	4	0	4
合 計	22	139	15	176

- ・ 障がい者自立支援認定審査結果 (単位：件)

	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	合 計
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区 分 1	3	0	0	0	0	0	1	0	4
区 分 2	7	1	0	1	3	1	2	0	15
区 分 3	9	1	1	2	2	2	3	0	20
区 分 4	14	1	1	1	2	3	3	0	25
区 分 5	15	1	3	1	2	5	9	1	37
区 分 6	21	5	1	6	7	7	24	3	74
再調査	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	70	9	6	11	16	18	42	4	176

- 主な不用額 (単位：千円)

事 業 項 目	予 算 額	決 算 額	不 用 額
報酬（介護認定審委員報酬）	12,346	11,700	646
報酬（自立支援認定審査委員報酬）	1,562	808	754
負補交（派遣職員給与負担金）	8,400	6,370	2,030

※報酬は休会による審査会開催日数の減少及び委員の欠席による。

※負補交は町村からの派遣職員の給与減少に伴い、審査会会計から町村への負担金が減額。

美濃加茂市古井財産区会計

地方自治法第296条の2第1項に基づき、古井財産区管理会を設置し、管理を行っている。

歳入の決算状況

款	01	財産収入	793千円
項	01	財産運用収入	793千円
項	02	財産売払収入	0千円

○ 主な事業の執行状況

加茂農林高校実習農場敷地地代	536千円
新池駐車場賃貸料	184千円

款	02	繰入金	2,830千円
項	01	基金繰入金	2,830千円

款	03	繰越金	983千円
項	01	繰越金	983千円

款	04	諸収入	0千円
項	01	雑入	0千円

歳出の決算状況

款	01	管理会費	184千円
項	01	管理会費	184千円

○ 主な事業の執行状況

管理会委員報酬	183千円
---------	-------

款	02	総務費	3,187千円
項	01	総務管理費	3,187千円

○ 主な事業の執行状況

井戸新設工事	2,823千円
土地除草作業日当	56千円
消耗品費	34千円
基金積立金	100千円

款	03	諸支出金	400千円
項	01	諸費	400千円

○ 主な事業の執行状況

地区交付金（上古井・下古井）	400千円
----------------	-------

○ 財産区の状況

○ 実質収支に関する調書

区 分		金 額
1 歳 入 総 額		4,606千円
2 歳 出 総 額		3,771
3 歳 入 歳 出 差 引 額		835
4 翌年度へ繰越すべき財源	(1) 継続費通次繰越額	
	(2) 繰越明許費繰越額	
	(3) 事故繰越し繰越額	
	(4) 計	
5 実 質 収 支 額		835
6 実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額		

○ 財産に関する調書

(1) 土 地

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
山 林	4,973.00m ²	m ²	4,973.00m ²
原 野	1,223.00		1,223.00
溜 池	2,640.91		2,640.91
雑 種 地	5,499.00		5,499.00
合 計	14,335.91		14,335.91

(2) 建 物

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
農業井戸建屋		1.20m ²	1.20m ²

(3) 基 金

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
財産区基金	43,960千円	△2,730千円	41,230千円

美濃加茂市山之上財産区会計

地方自治法第296条の2第1項に基づき、山之上財産区管理会を設置し、管理を行っている。

歳入の決算状況

款	01	財産収入	717千円
項	01	財産運用収入	717千円
項	02	財産売払収入	0千円

○ 主な事業の執行状況

健康の森敷地地代 700千円

款	02	繰入金	0千円
項	01	基金繰入金	0千円

款	03	繰越金	494千円
項	01	繰越金	494千円

款	04	諸収入	494千円
項	01	雑入	494千円

歳出の決算状況

款	01	管理会費	179千円
項	01	管理会費	179千円

○ 主な事業の執行状況

管理会委員報酬 179千円

款	02	総務費	1,038千円
項	01	総務管理費	1,038千円

○ 主な事業の執行状況

土地除草作業日当 63千円
 管理人日当 18千円
 山ノ上のサクラ保護業務 651千円
 積立金 300千円

款	03	諸支出金	50千円
項	01	諸費	50千円

○ 主な事業の執行状況

地区交付金 50千円

○ 財産区の状況

○ 実質収支に関する調書

区 分		金 額
1 歳 入 総 額		1,705千円
2 歳 出 総 額		1,267
3 歳 入 歳 出 差 引 額		438
4 翌年度へ繰越すべき財源	(1) 継続費通次繰越額	
	(2) 繰越明許費繰越額	
	(3) 事故繰越し繰越額	
	(4) 計	
5 実 質 収 支 額		438
6 実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額		

○ 財産に関する調書

(1) 土 地

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
宅 地	138.84m ²	m ²	138.84m ²
山 林	2,024,043.00		2,024,043.00
原 野	1,219.00		1,219.00
合 計	2,025,400.84		2,025,400.84

(2) 山 林

土地権利の 区 分	面 積			立 木 の 推 定 蓄 積 量		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
所 有	2,024,043 m ²		2,024,043 m ²	11,080 m ³	175 m ³	11,255 m ³

(3) 基 金

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
財産区基金	13,489千円	300千円	13,789千円